

自慰のススメ





“自慰”




“オナニー”



“マスターベーション”

“セルフ
プレジャー”

“ひとりえつち”



自己の確認と
慰めの行為であった
それは

数多くの隠語の存在が
指し示す通り本来
隠されるべき行為
であり

しかし隠されるべき
それは

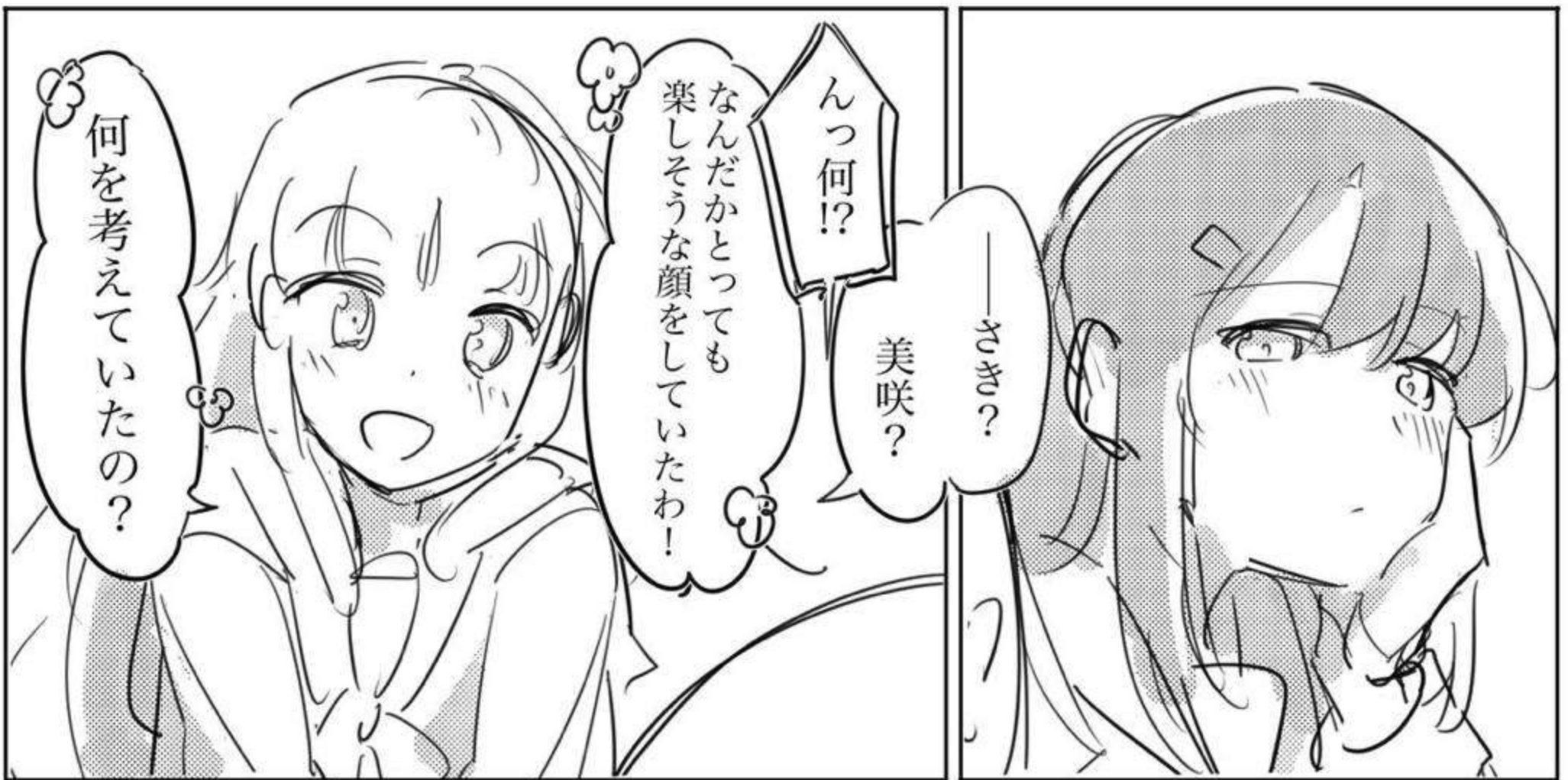
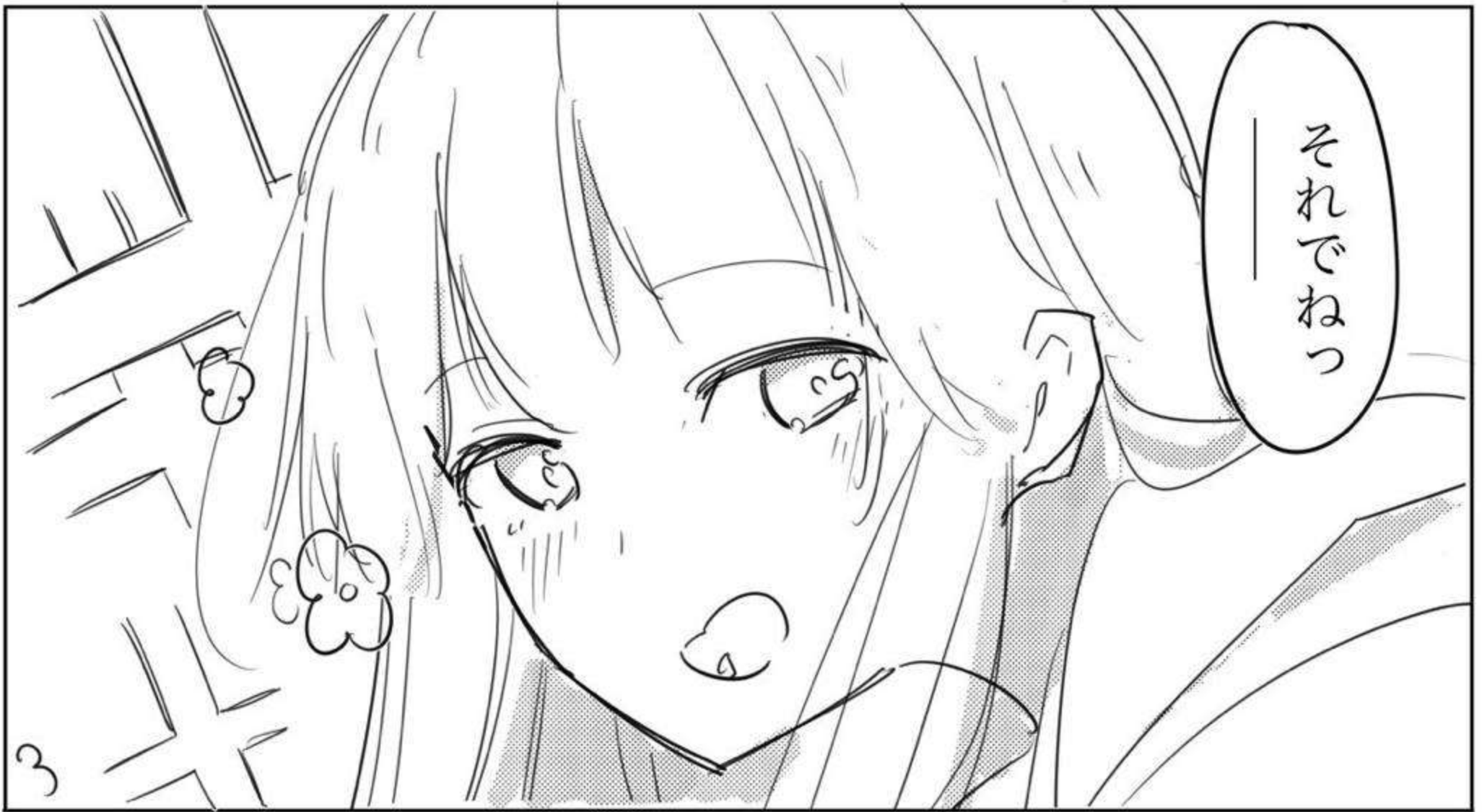
今

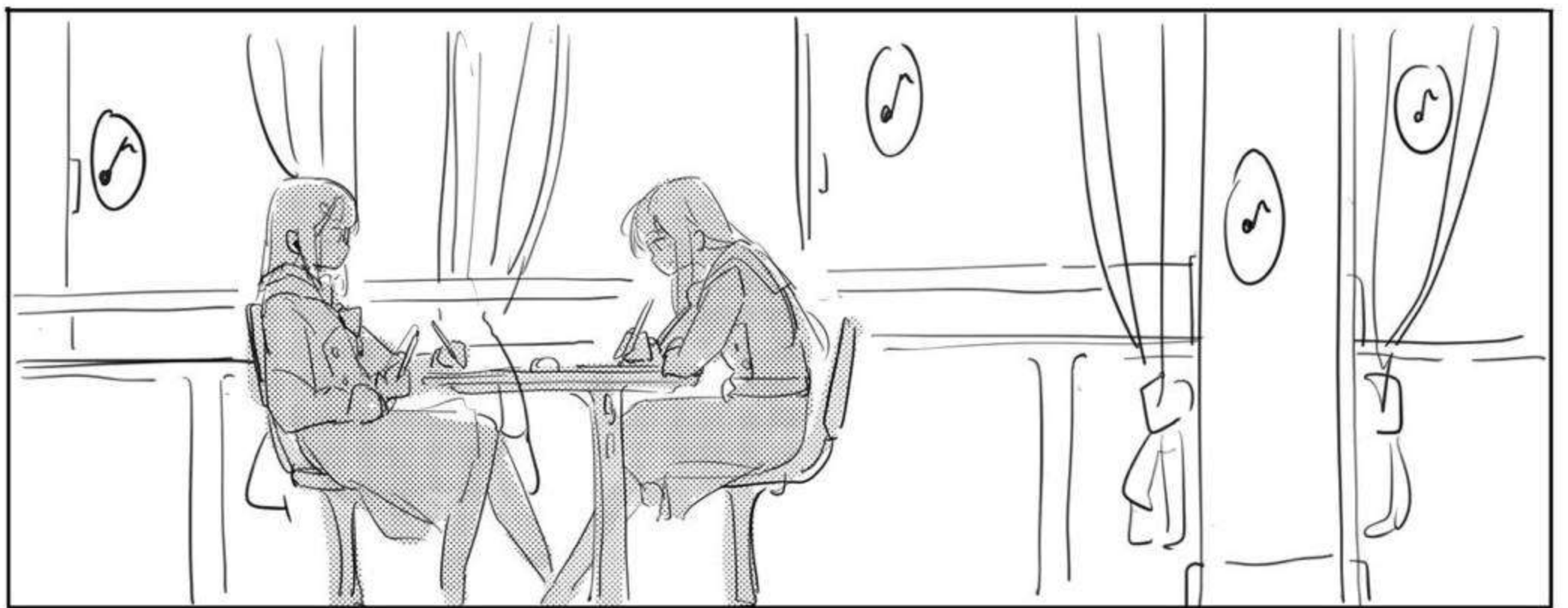
私の目の前で
行われている。

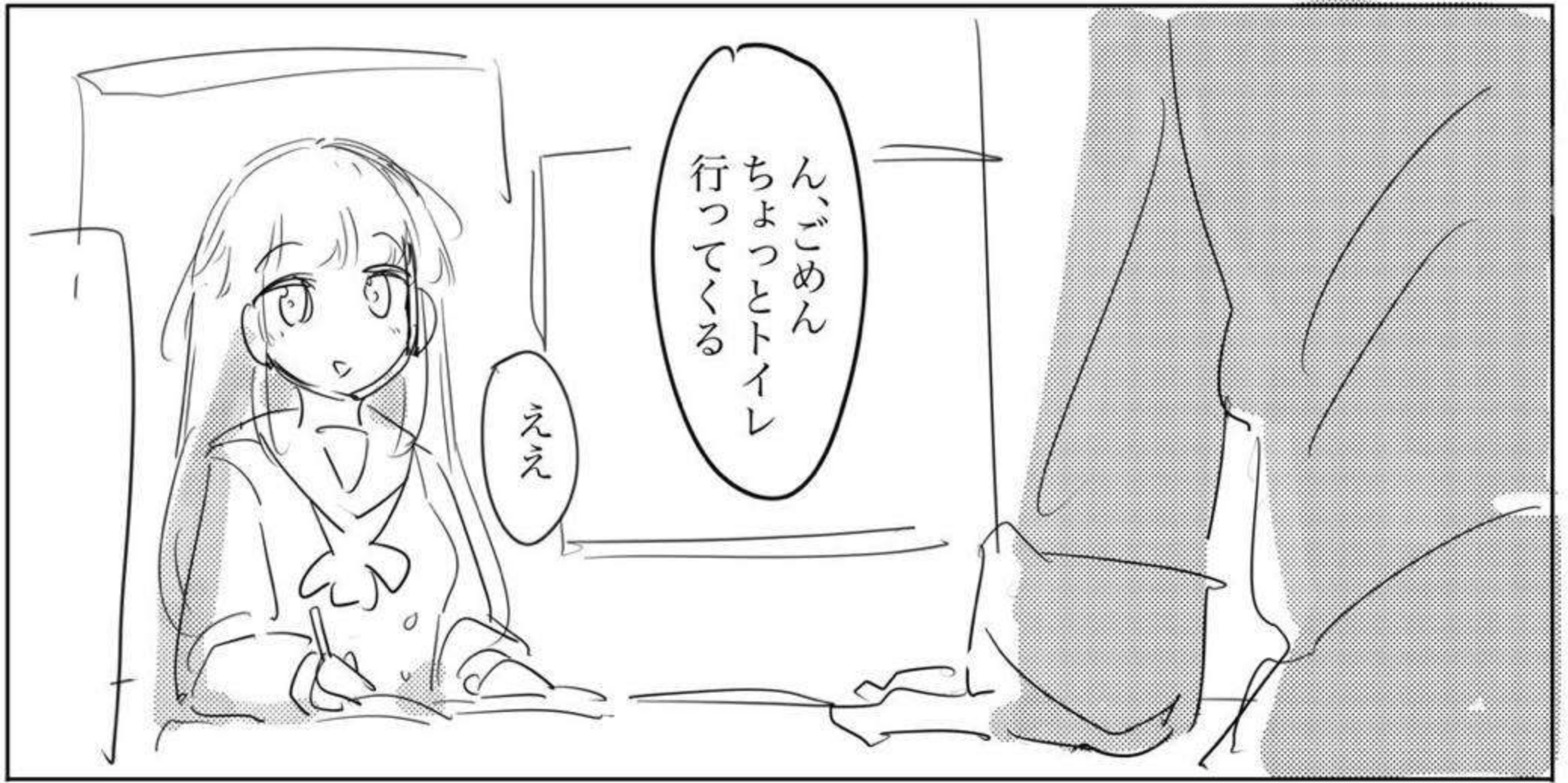
私は考えている。

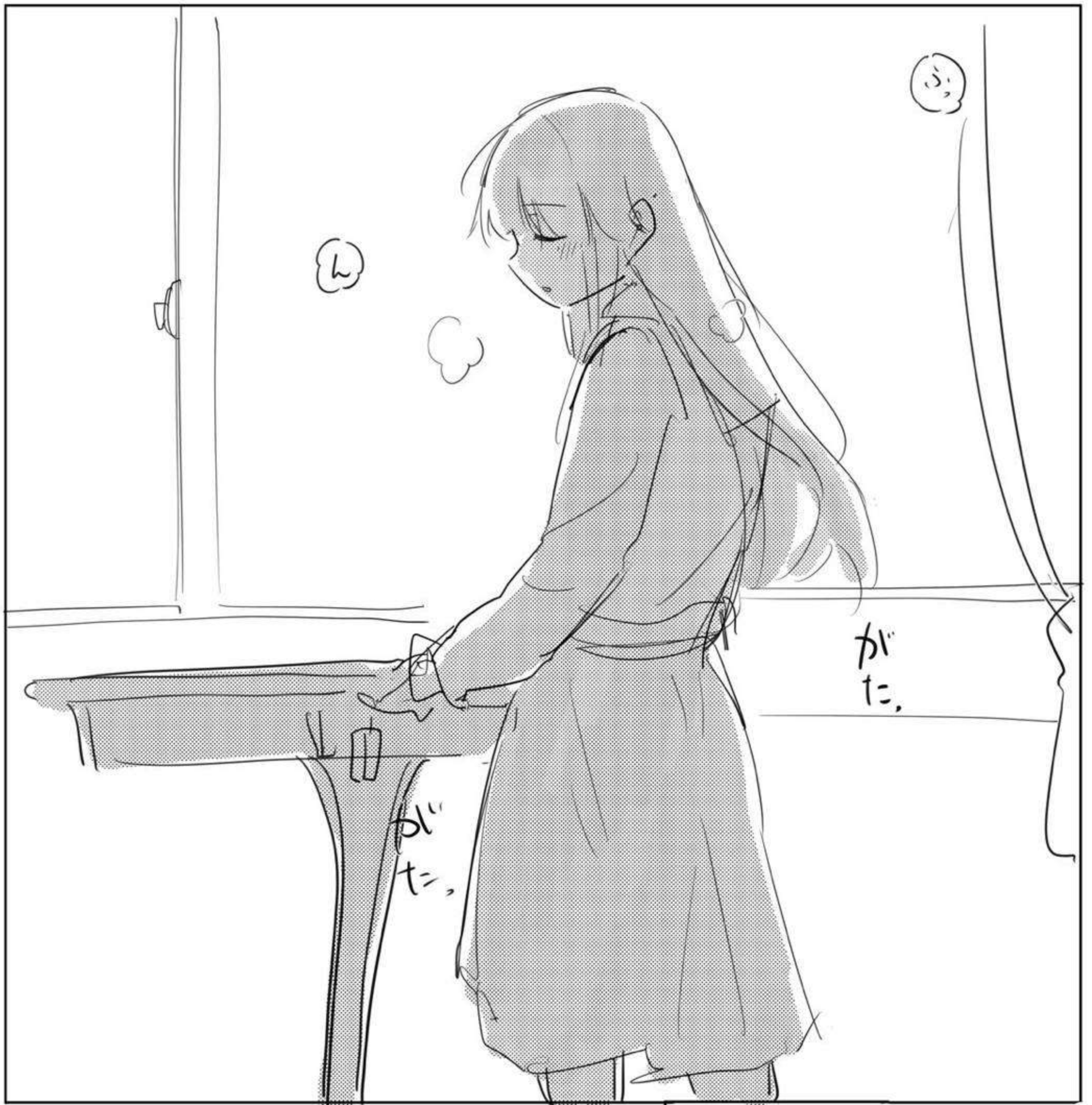
どうしてこうなったのか。













こころもそういうこと
するんだ…



は!? え!? なんでもこころが!?
てかあれ私の机だよね!?

私が帰ってくるの分かってる
状況でする!? 普通!
ていうかていうか



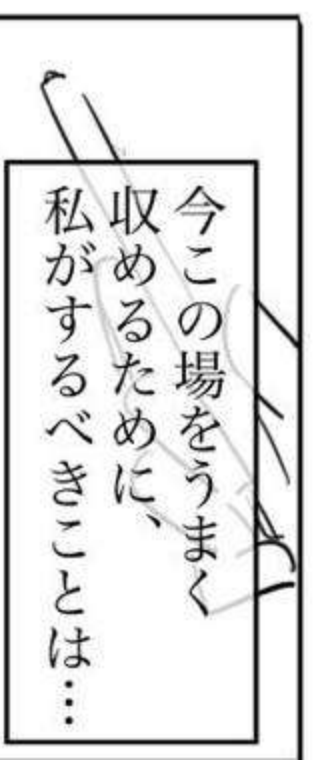
つてそうじゃなくて
~~~~~



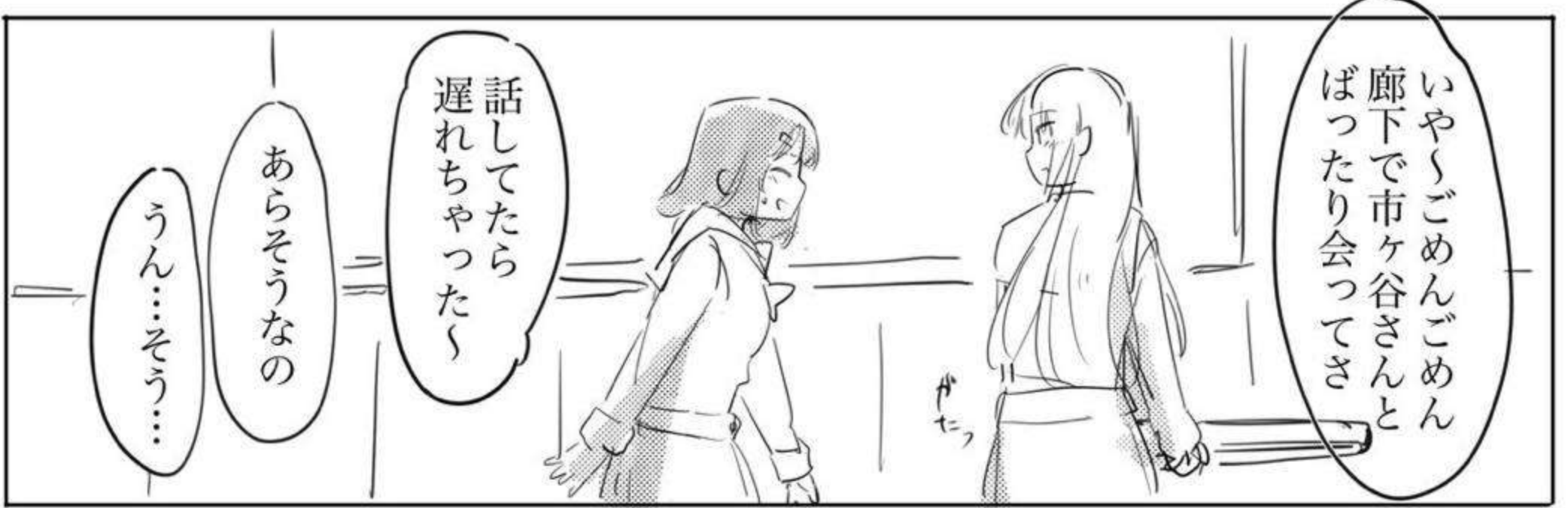
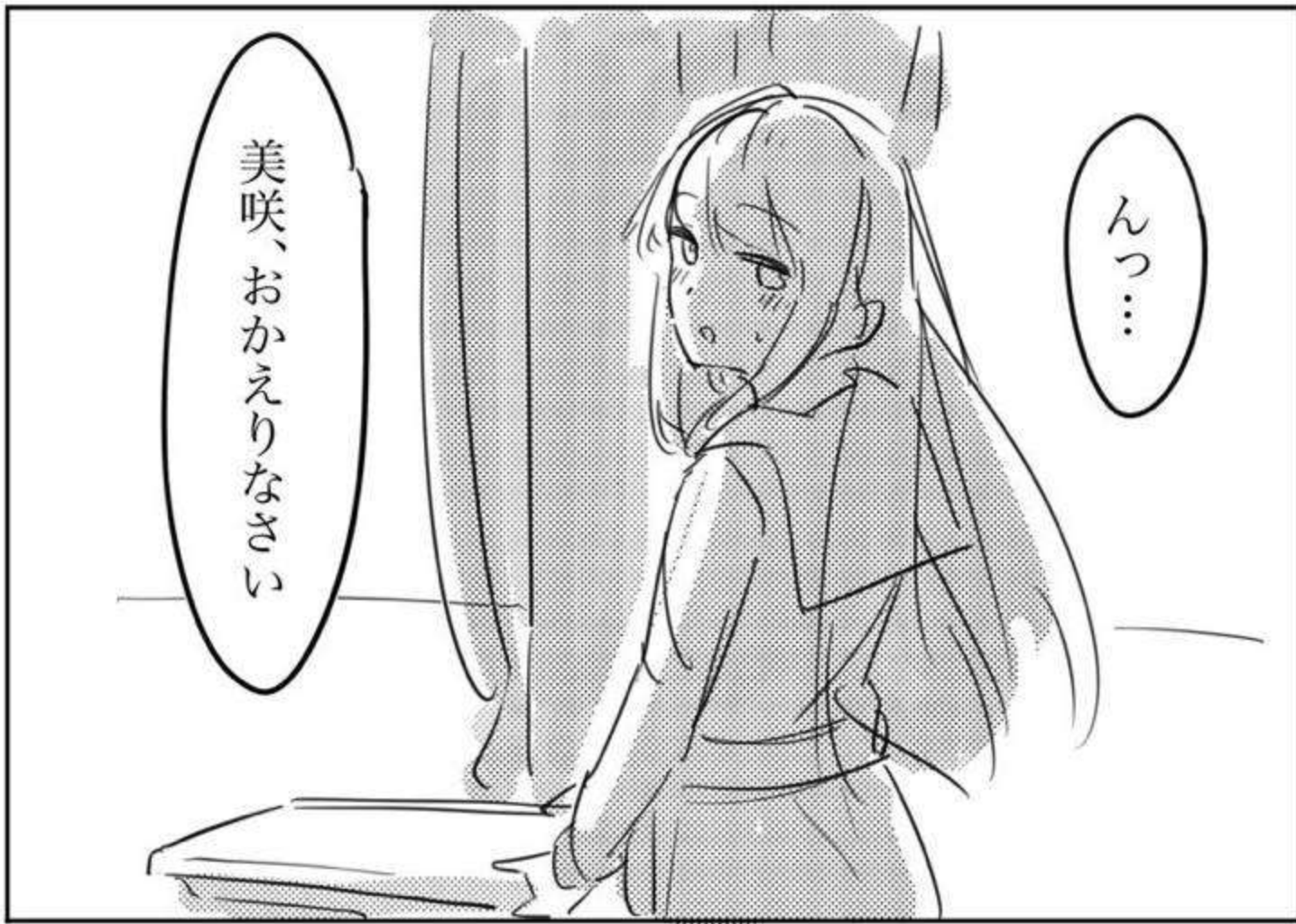
ぐん

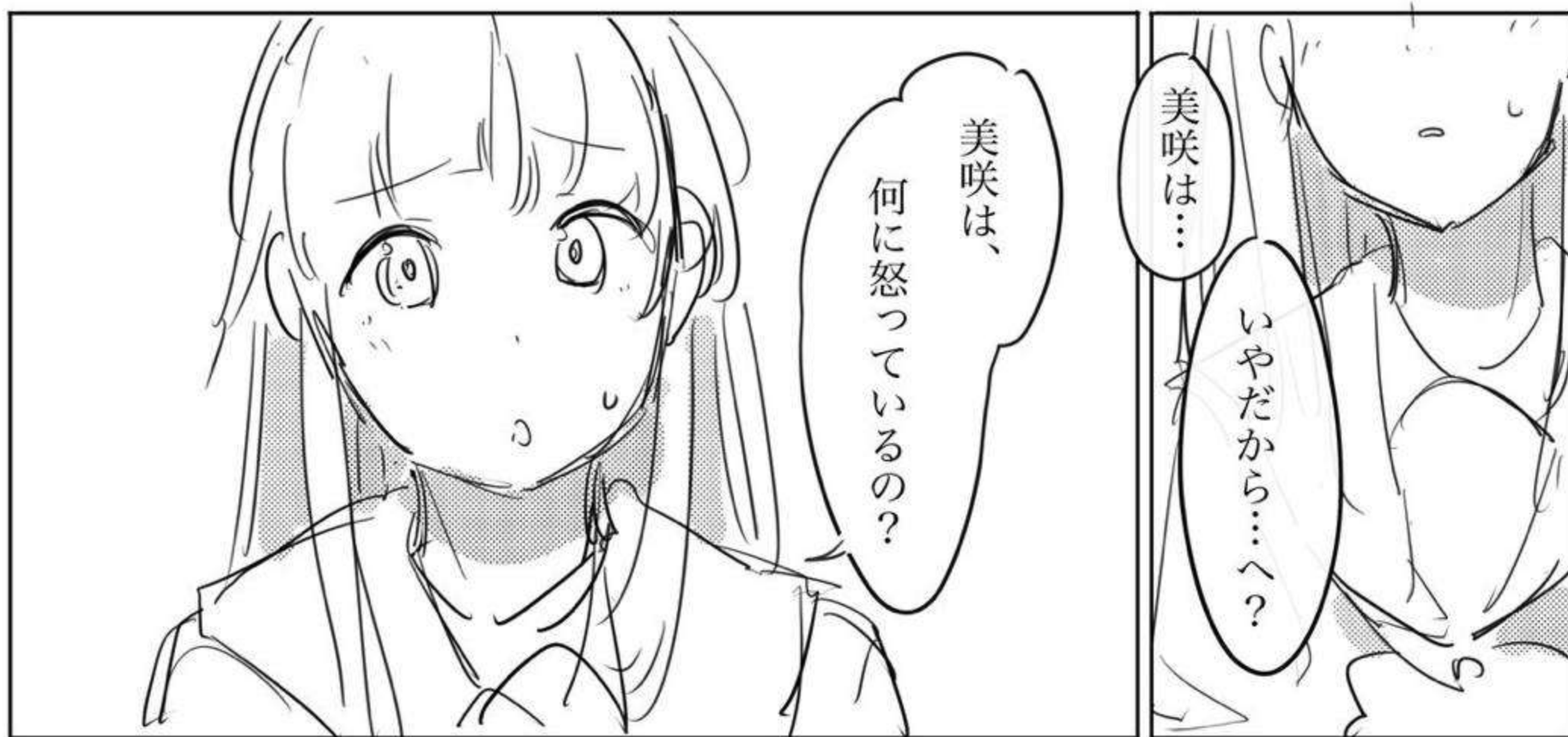


あ、あー市ヶ谷さん奇遇だね、  
生徒会の仕事? お疲れ様、それ  
あたしは教室戻るんで、じゃ!



今この場をうまく  
収めるために、  
私がすべきことは…





私また何かしたかしら？  
でも変な色のキノコは  
食べてないわよね？



他には…うん  
これも違うわよね



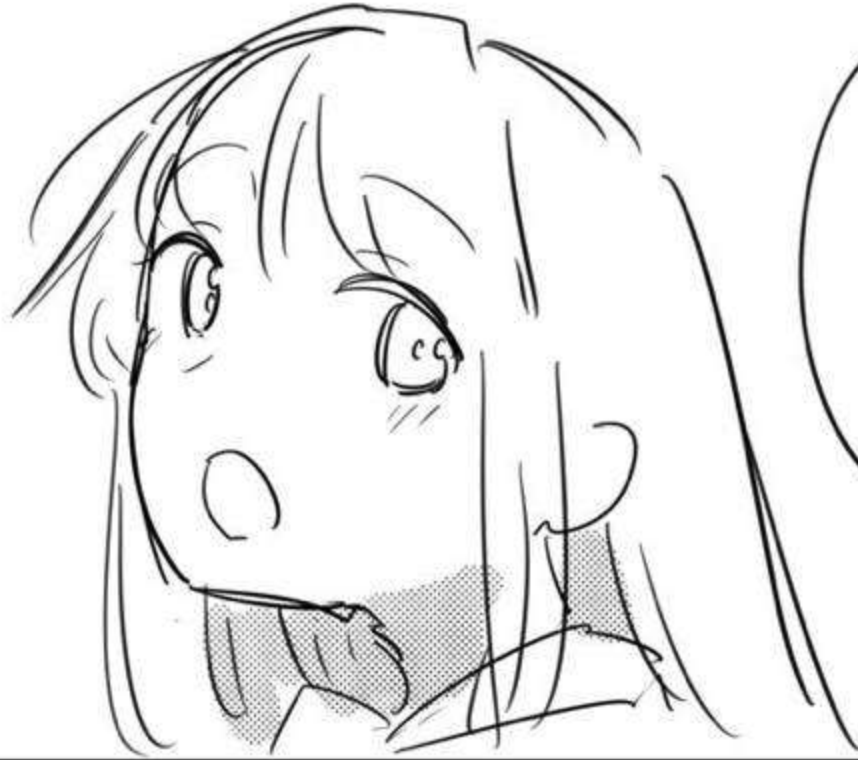
何って…



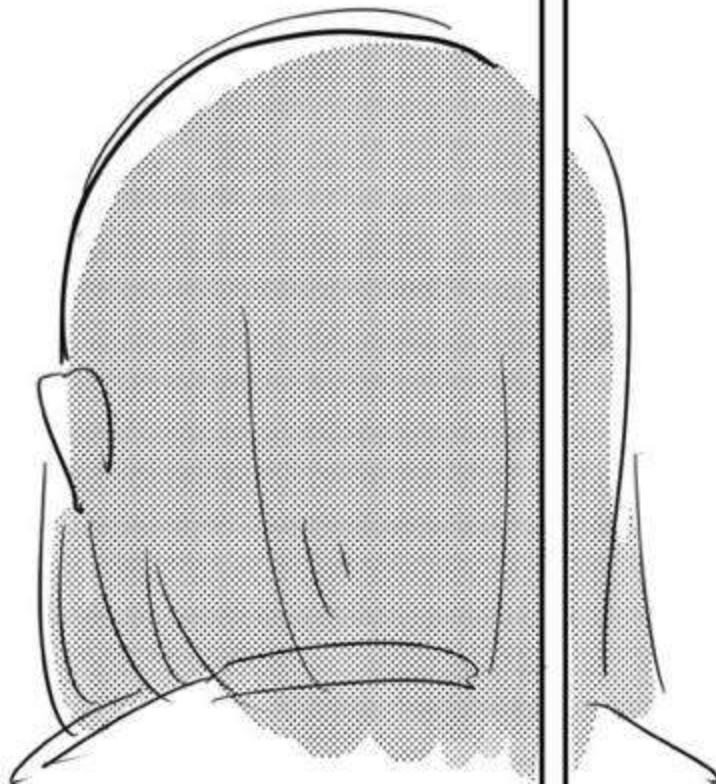
また私には分からない  
ことかしら…

ねえ美咲

美咲は何に怒って  
いたの？



っていったって私だつてなんて  
説明していいのかわかんないのに、  
分かるわけじゃないじゃん…  
私だつて分かんないよ!!!



そっか、こころには  
わかんないのか…いや  
なんで分かんないんだ???

とにかく人前で…そういう、  
股を擦るようなこと  
しちゃダメなの…

どうして？  
こんなに楽しいのに？

ど・う・し・て・も！

そうだわ！

美咲も一緒にしましょう？  
きつと二人ならもつと楽しいわよ！

え？

ホ  
マ

あ

ぜーっつたいダメ……！  
兎に角ダメだから……！

え

ぜ

分かった!?

むう…美咲がそう言うなら…  
分かったわ…

あれ、もしかしてあたしが悪い？  
あたし何もおかしいこと  
言っていないと思うんだけどな…

まあいいわ！  
それじゃ新曲を作りましょ！

あ、え

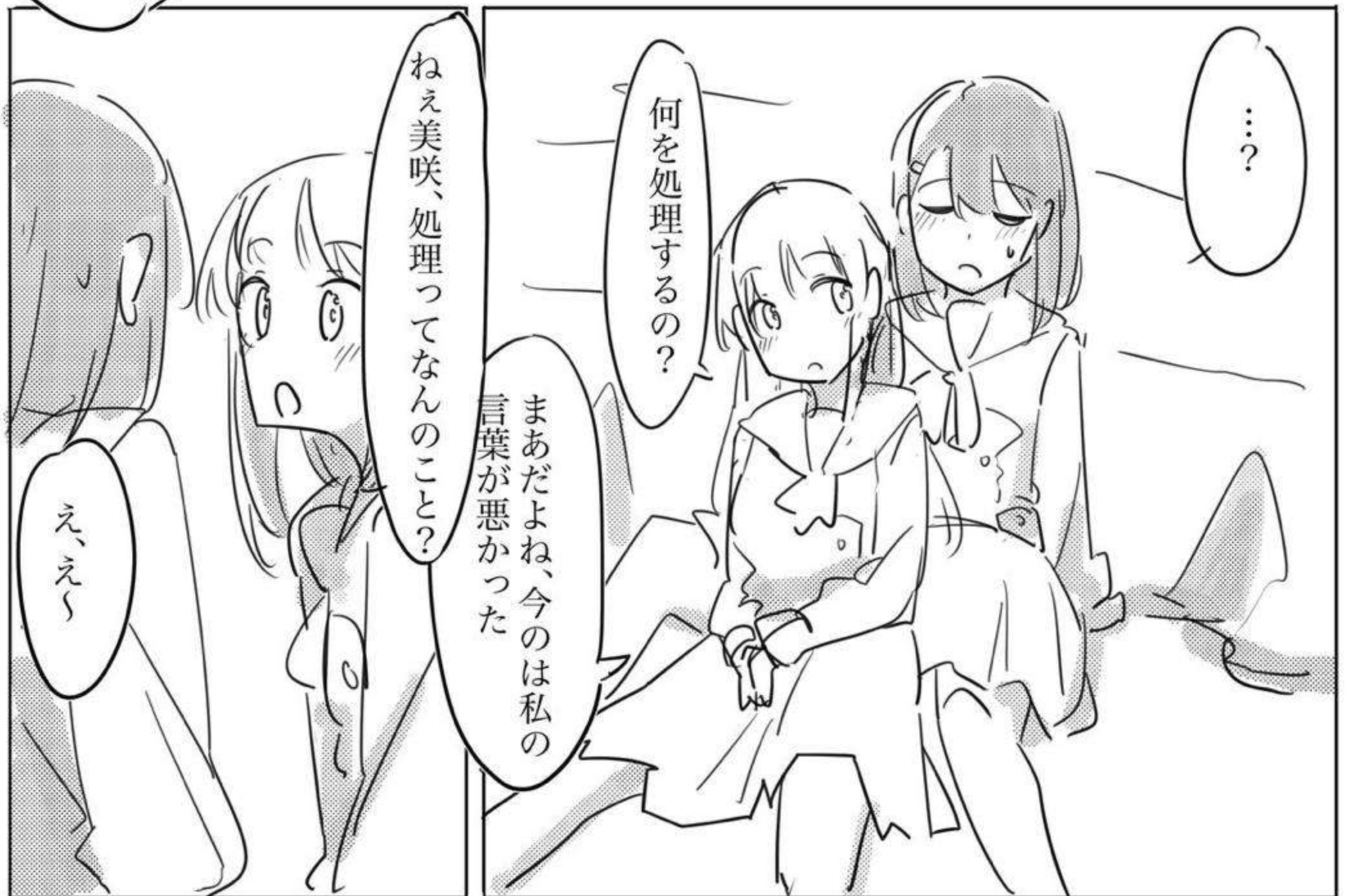
まあこころは聞き分けのない方ではないし  
大丈夫かな…

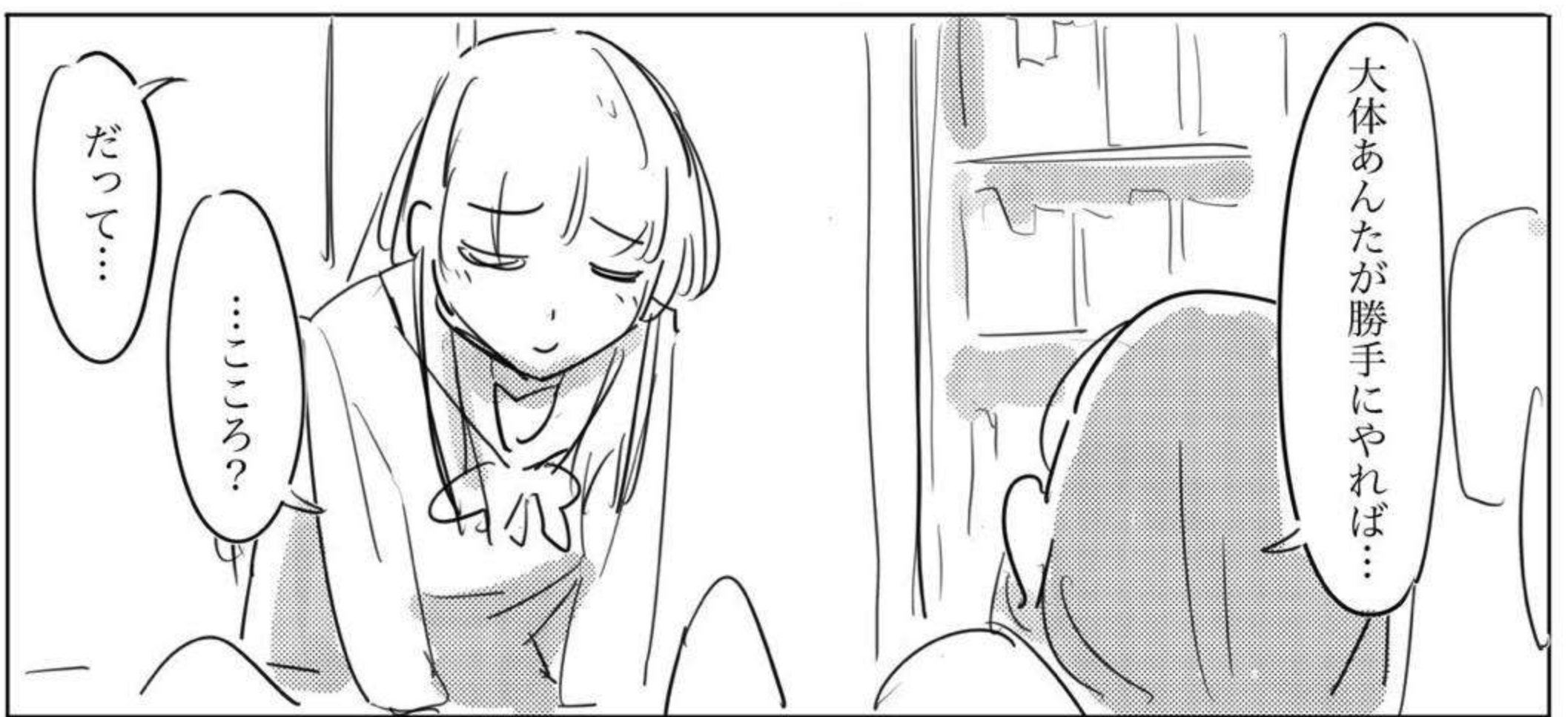
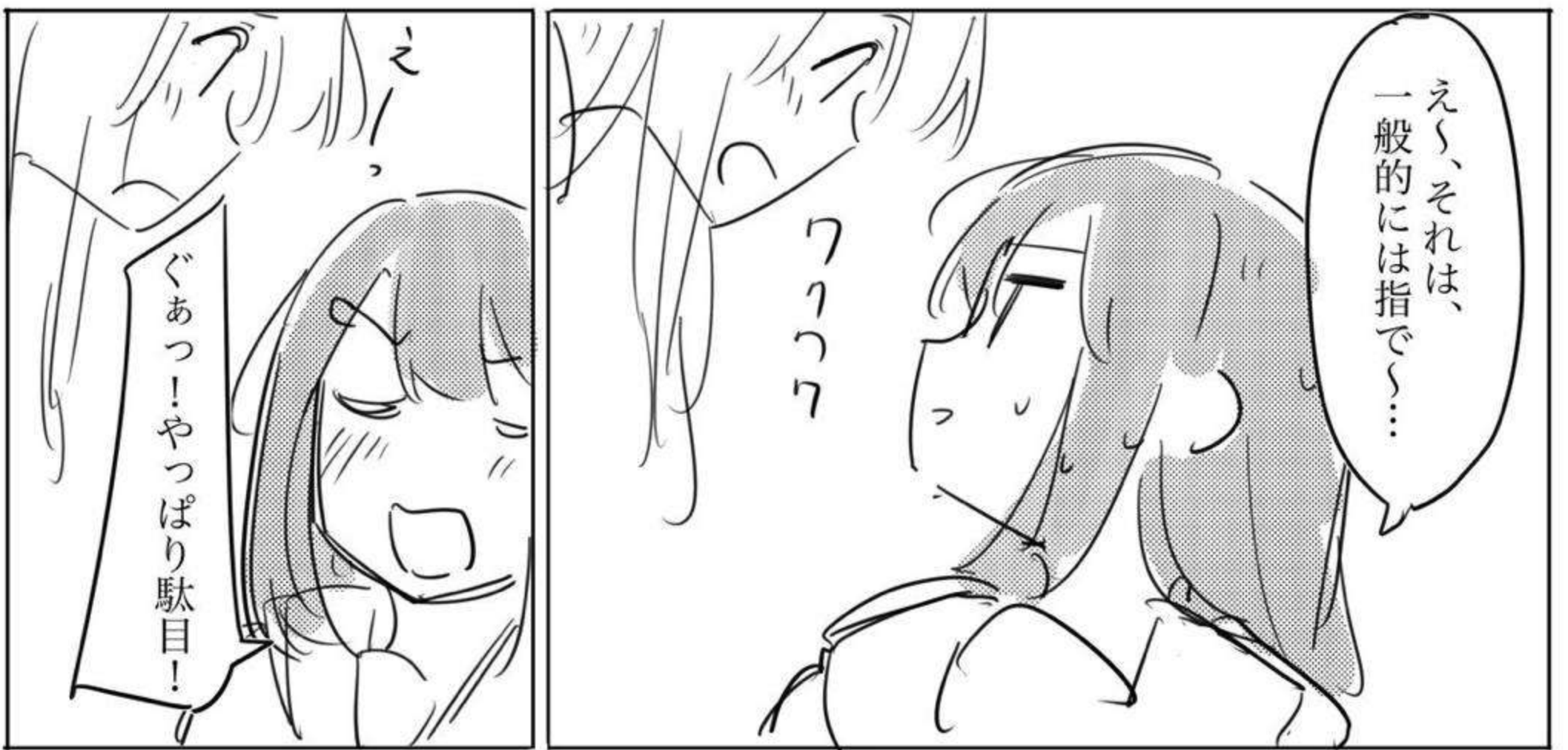


と、思っていたんだけど

しちや駄目って言われてするなんて  
珍しいよね…もともと我慢が出来る  
タイプとは思ってないけど…  
もしかしてこころって  
性欲強かったりするのかな…  
いや何考えてんだあたしは…











きっと私のせいなのでしょう？  
でも私、どうして美咲を  
そんな顔にってしまったのか  
分からないの



だって美咲、あれから難しい顔ばかり  
してるわ



分かった分かったよ  
あと言つとくけど



だから、わからないけれど、  
美咲が笑顔になることなら  
教えて欲しいの

私わあっ…？

あーもう！



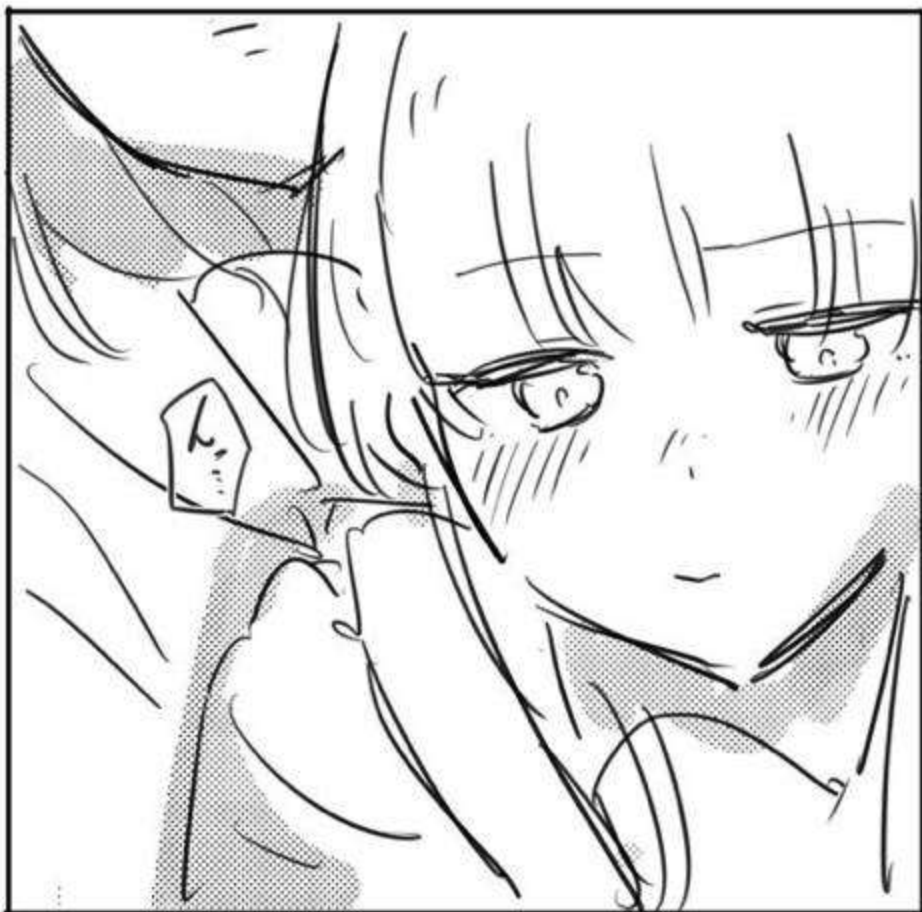
何その感想…

美咲：暖かいわ

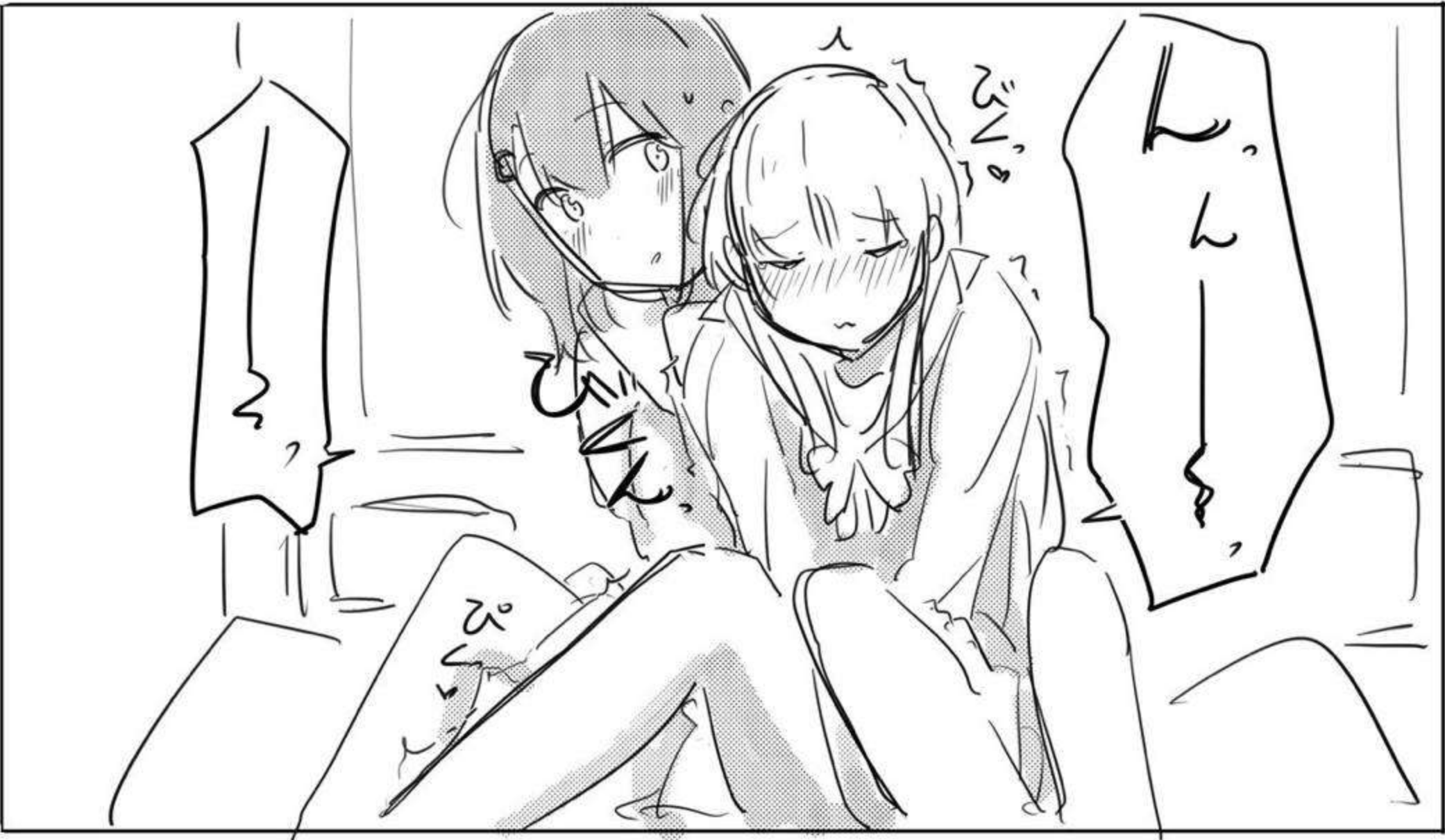


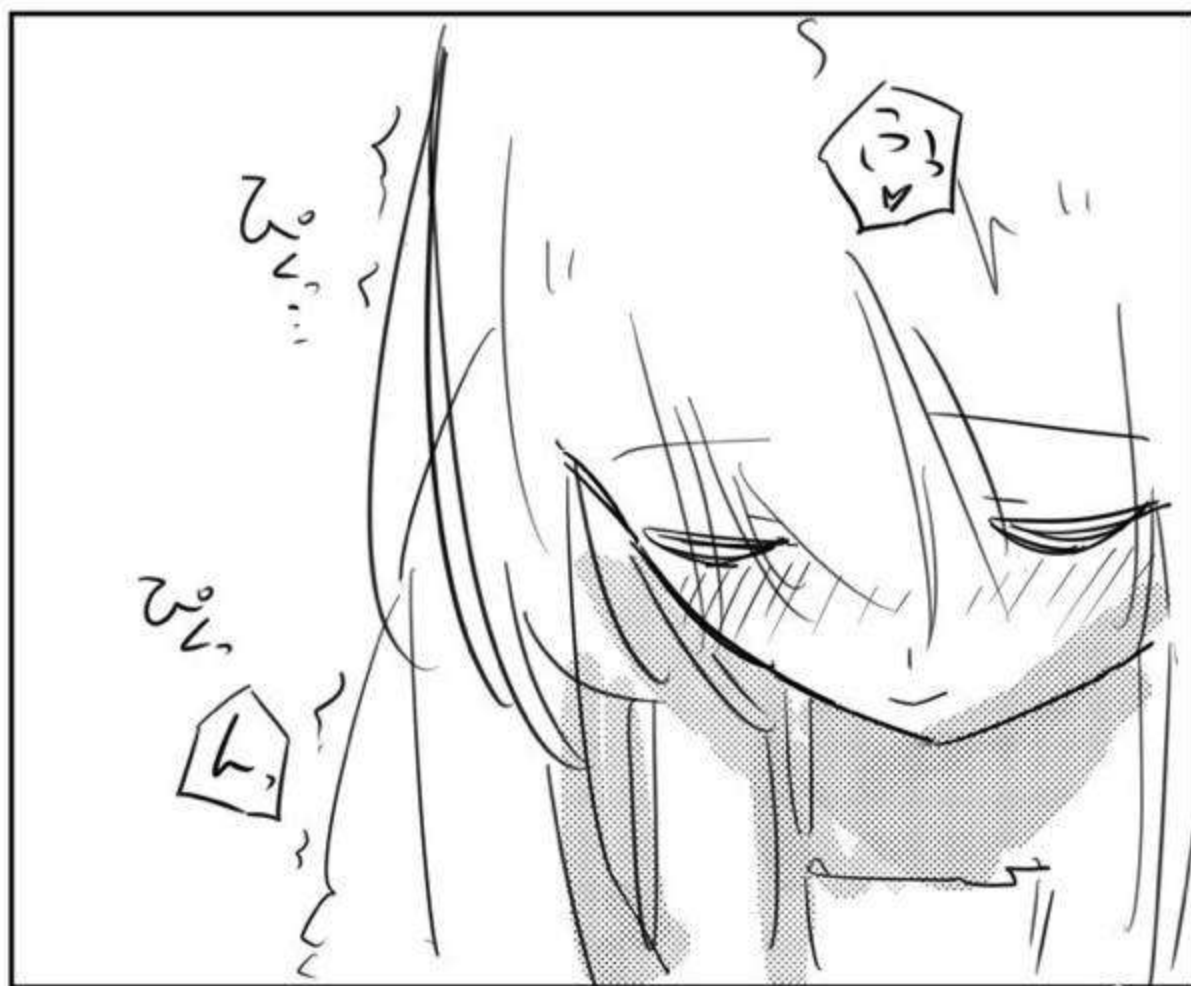
私だってあんたがそんな顔  
すんの嫌なんだからね

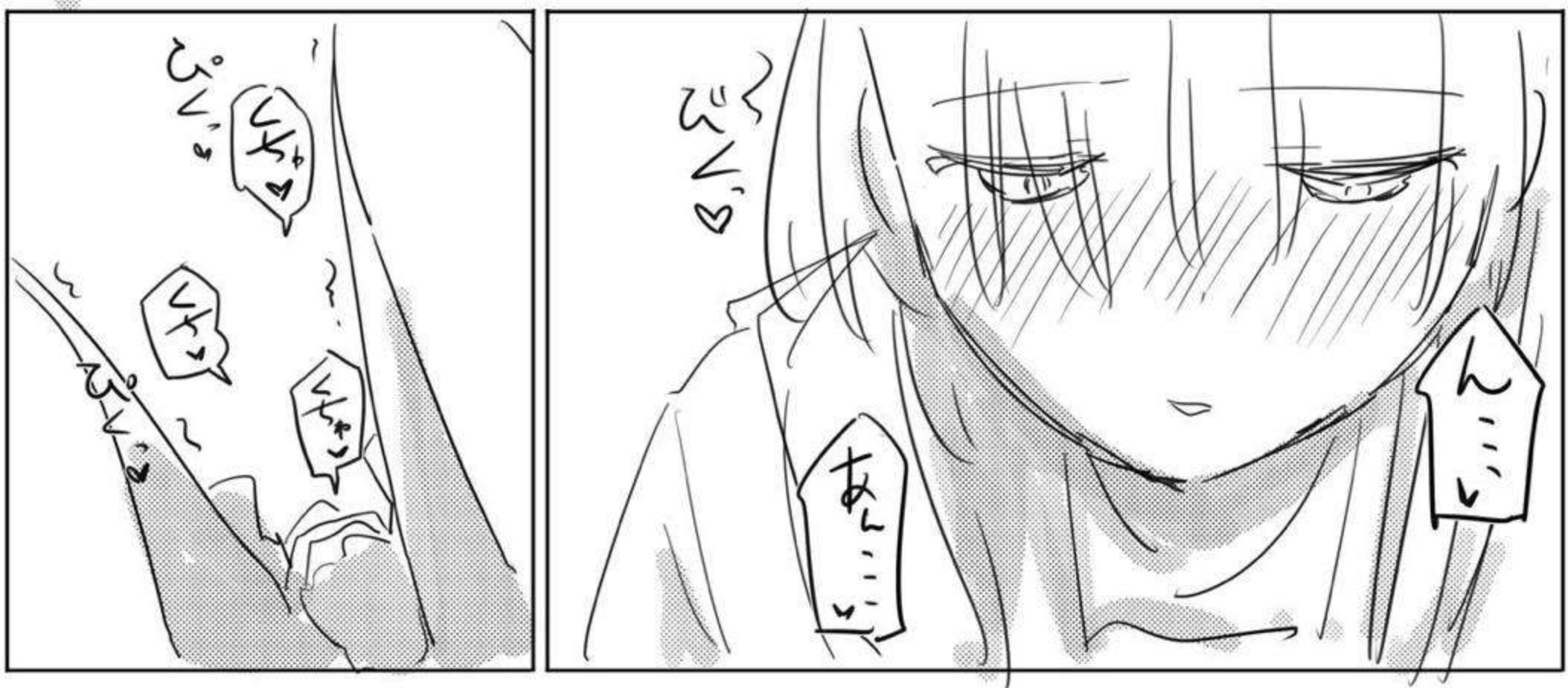


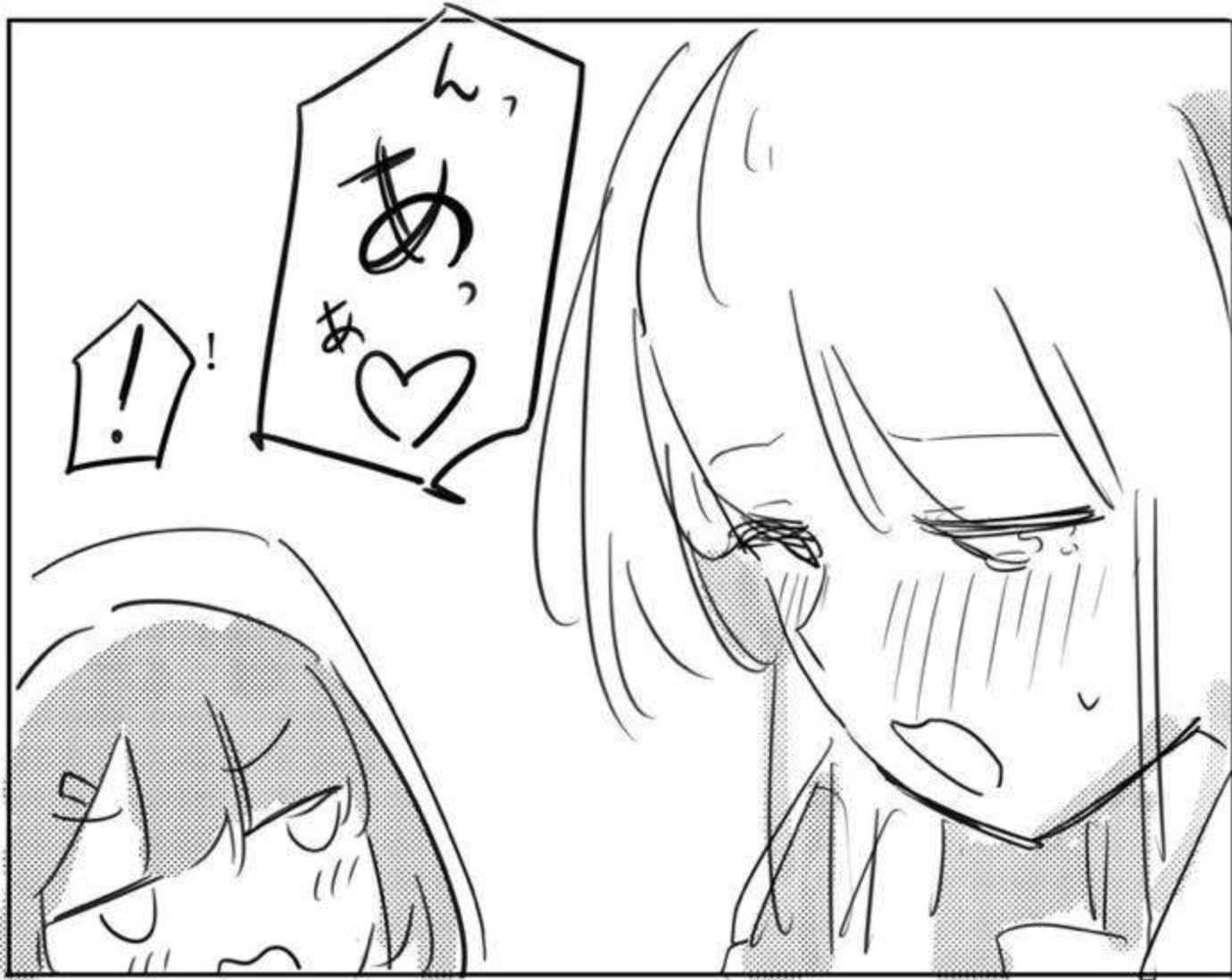




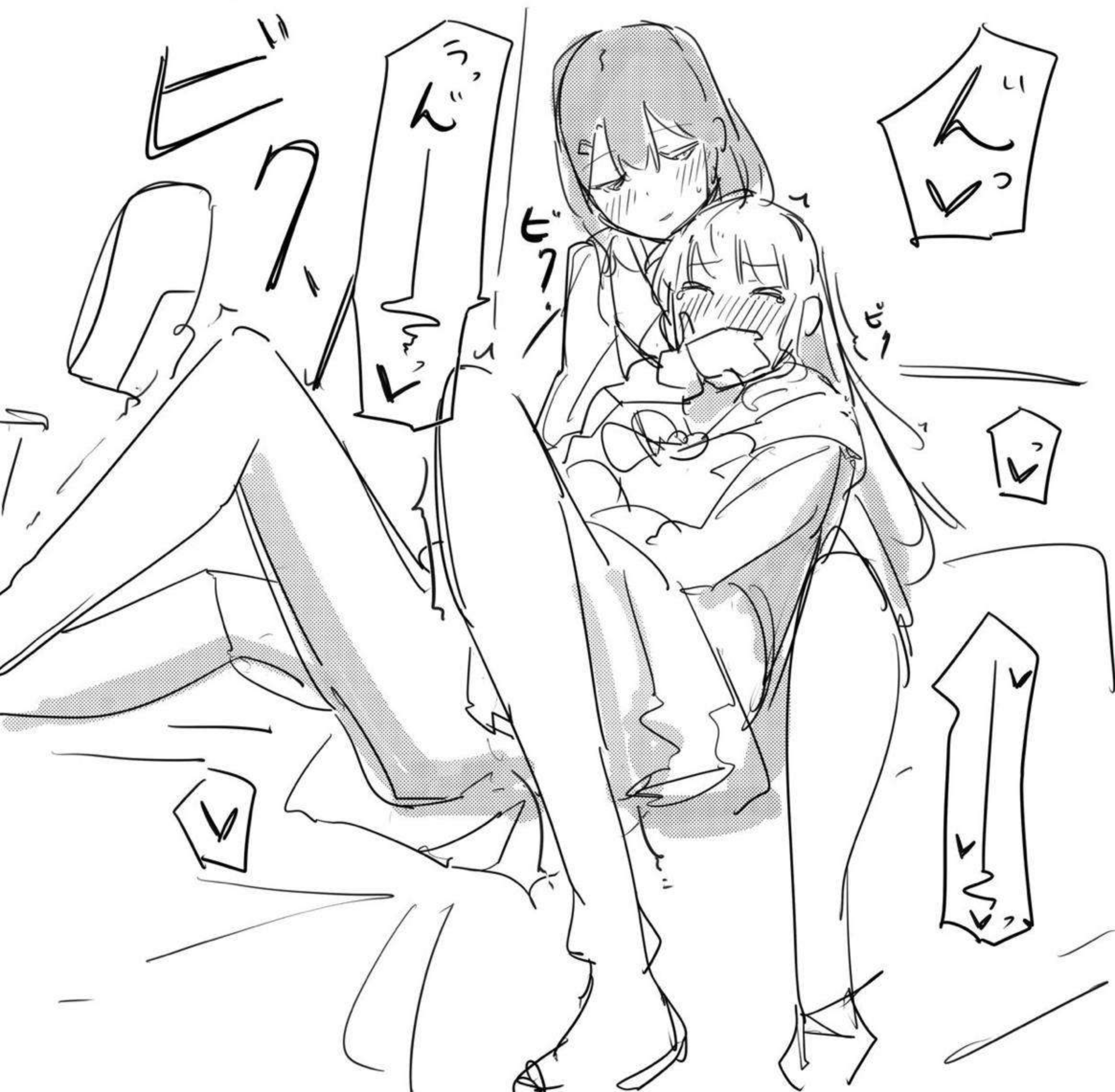
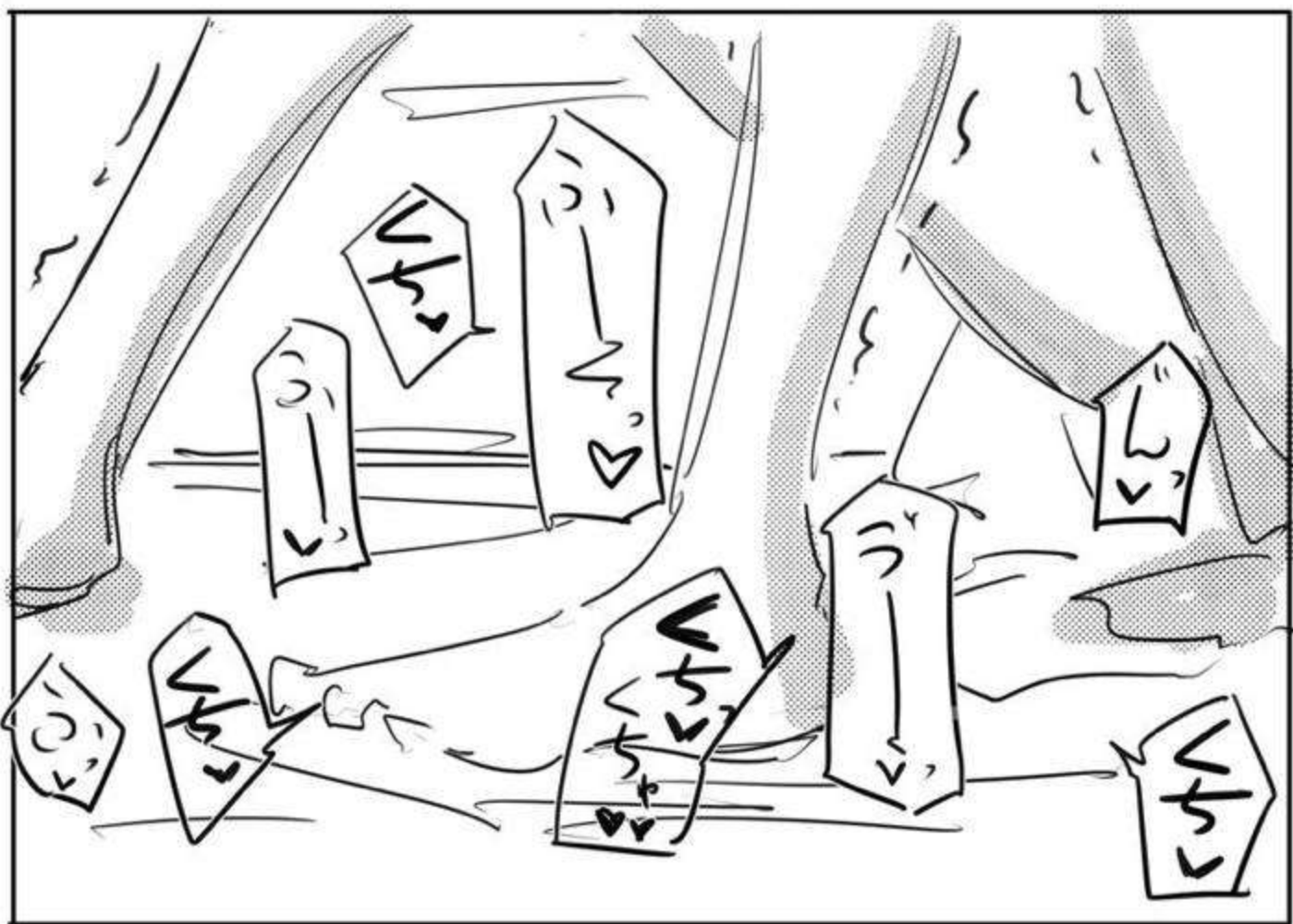




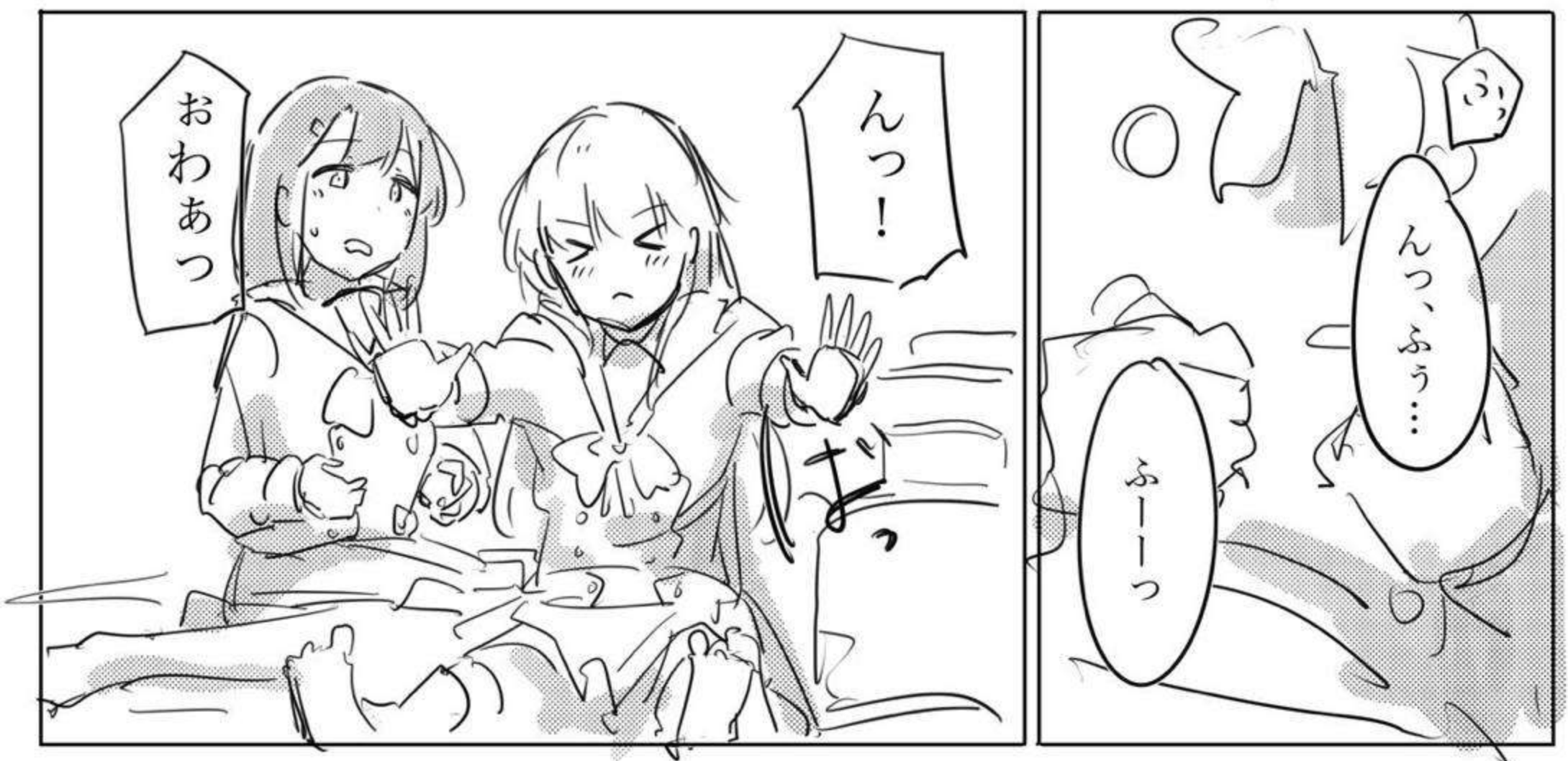
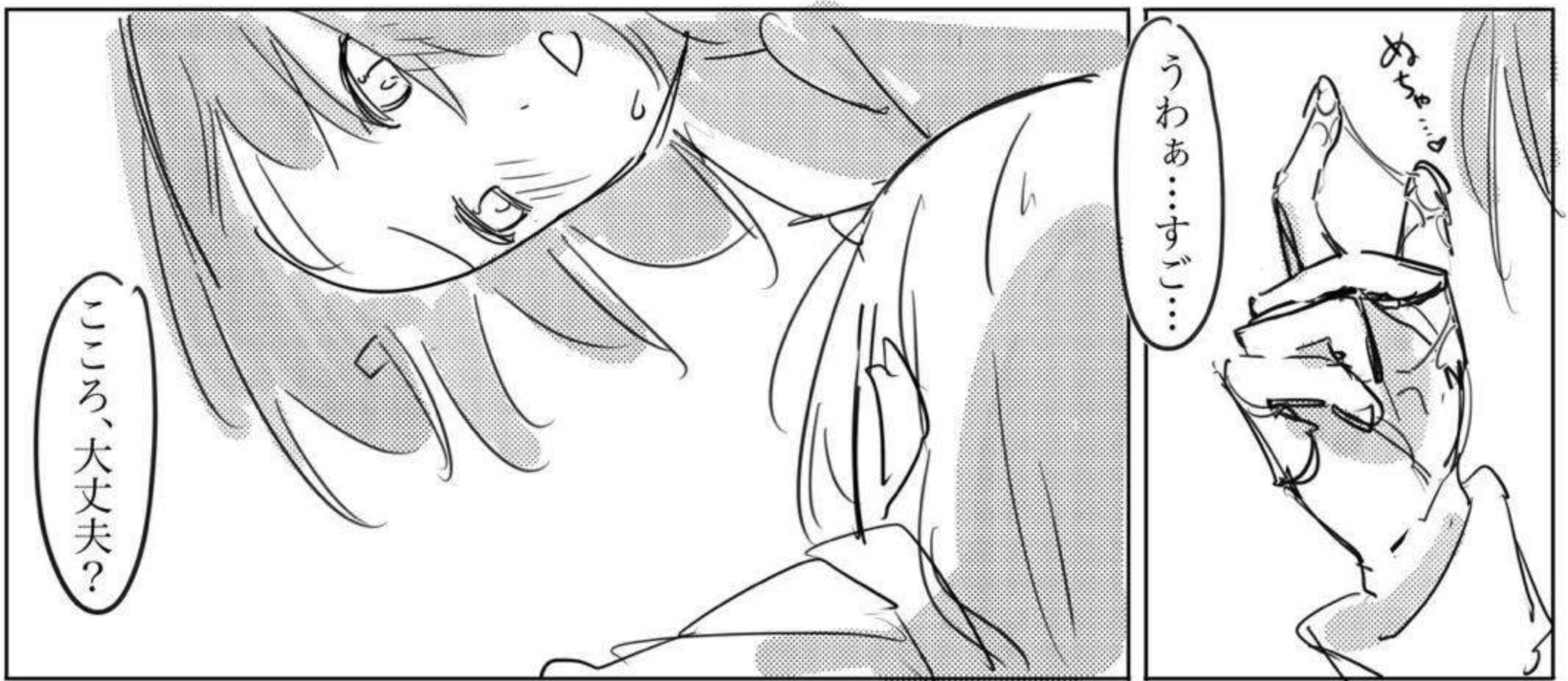


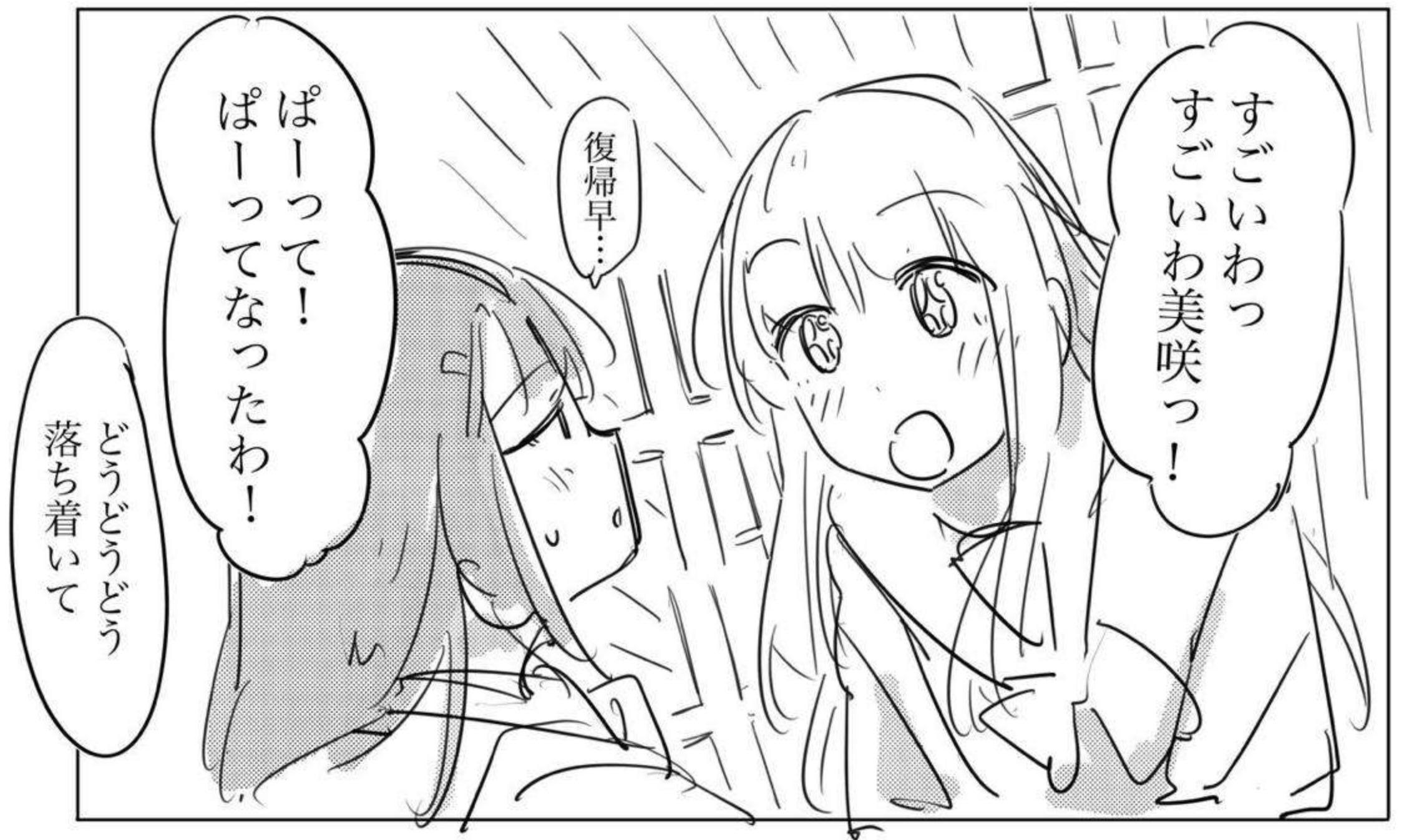














…うん、  
どういたしまして

う



…ああ…

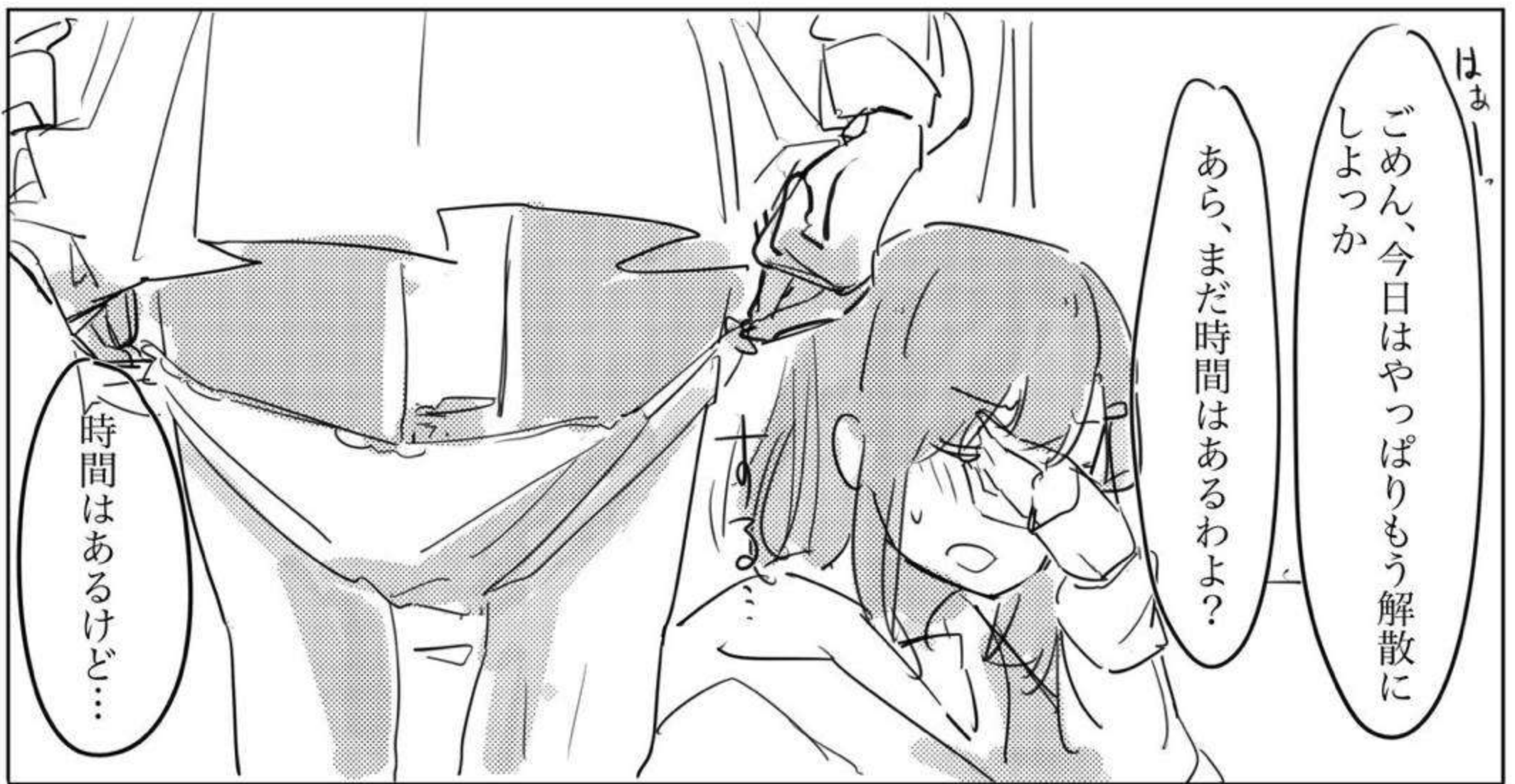
…つてなにこれ…

はい、それじゃ  
とつとと作曲の続きやろっか



あら、私の下着

ごめんこころ、これ履いて



はよー、  
ごめん、今日はやっぱりもう解散に  
しよっか

あら、まだ時間はあるわよ？

時間はあるけど…



私が疲れちゃったんです

それは大変ね！  
どこが痛むの？腕？足？

それはおかしいと思うけど強いて  
言うなら心かな…

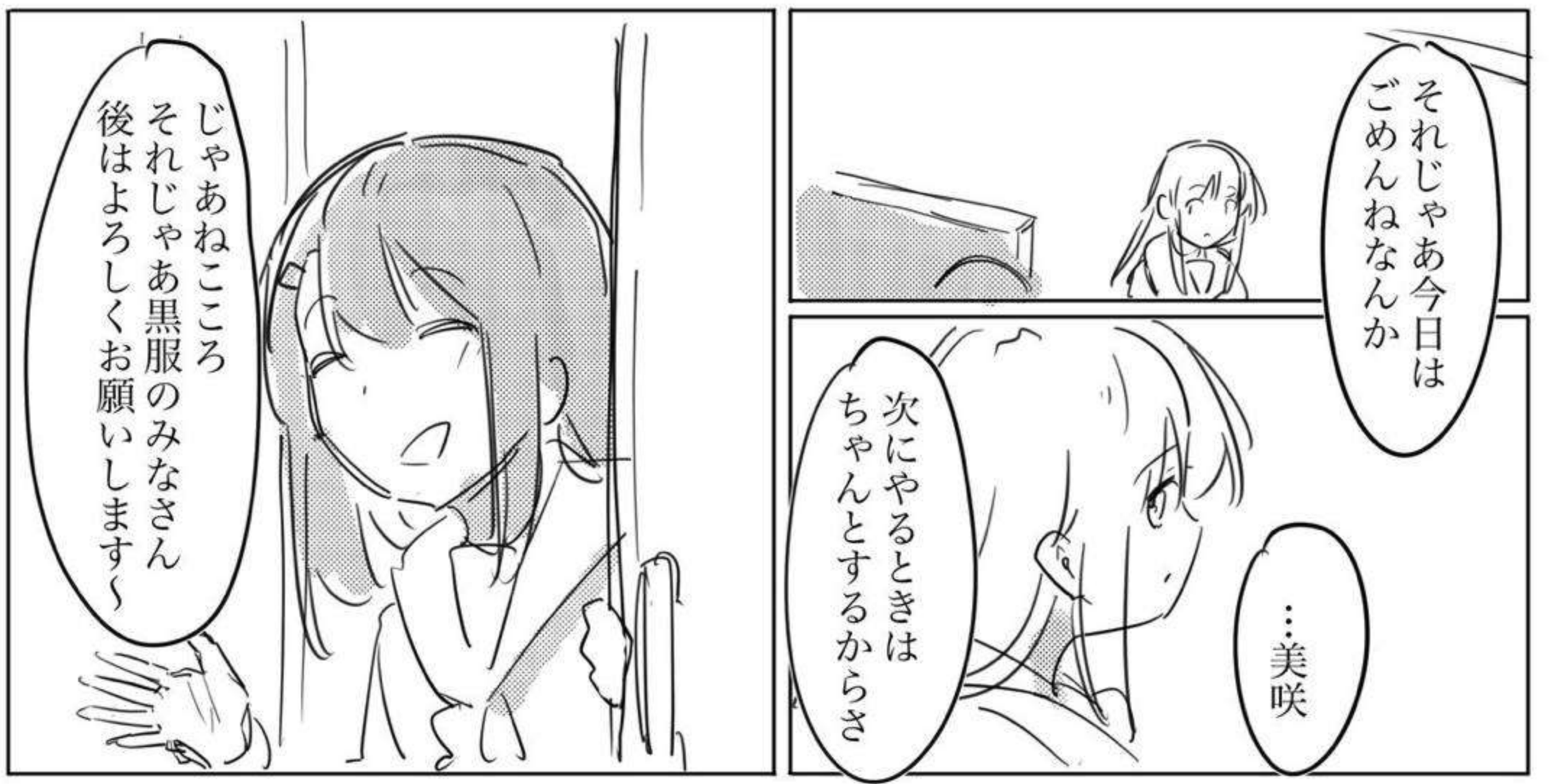
？、私？

あーそうそう

はいそんなことより支度支度

ええ

持ってきたものまとめた？  
はいじゃあ玄関へゴー

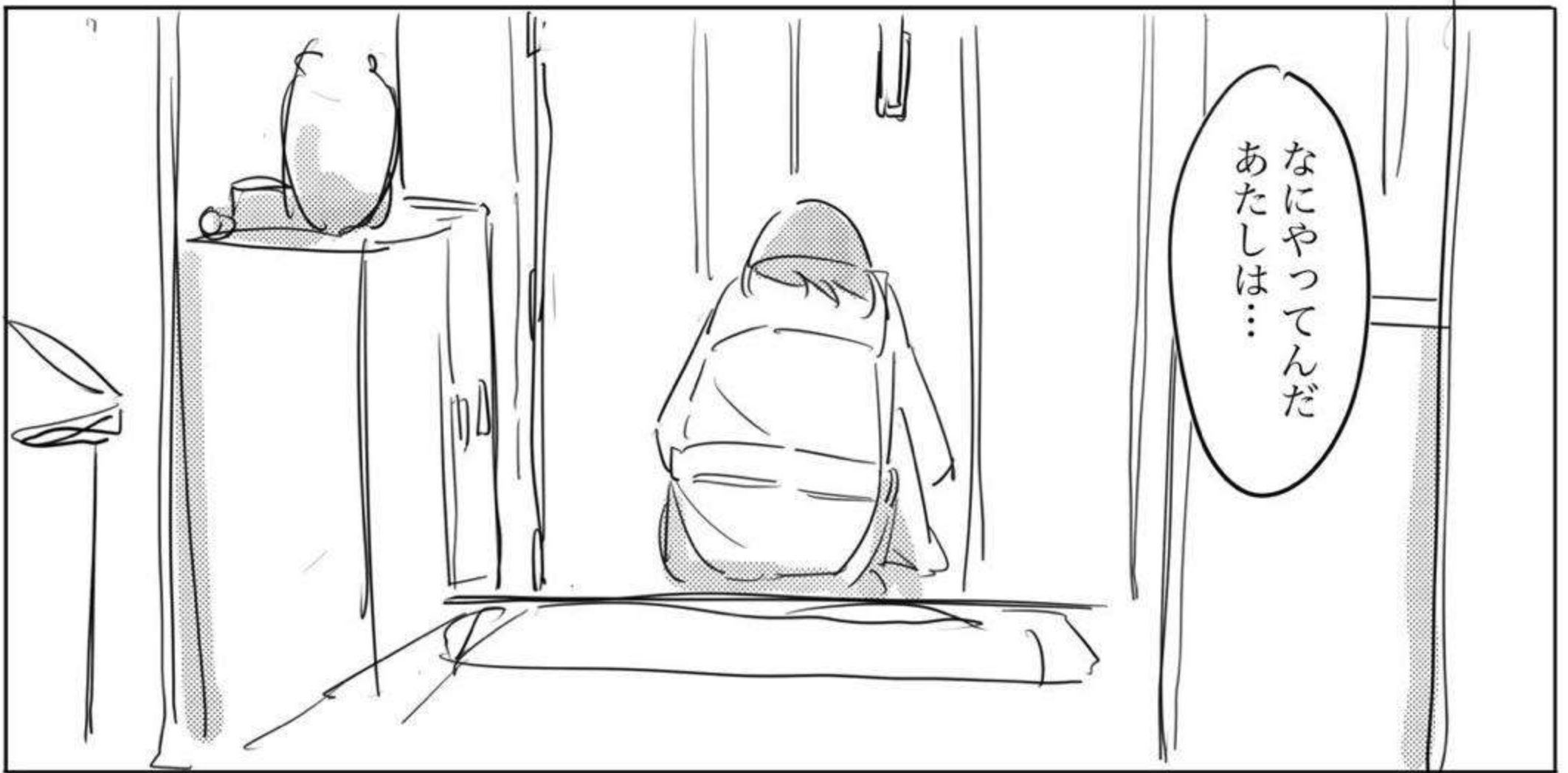


それじゃあ今日は  
ごめんねなんか

…美咲

次にやるときは  
ちゃんとするからさ

じゃあねこころ  
それじゃあ黒服のみなさん  
後はよろしくお願ひします





最中はまるで熱に浮かされた  
ように夢中であつたのに



はあ〜…



ああ、でも



あの笑顔を見たときに  
私は、私が行つた  
ことを自覚した。



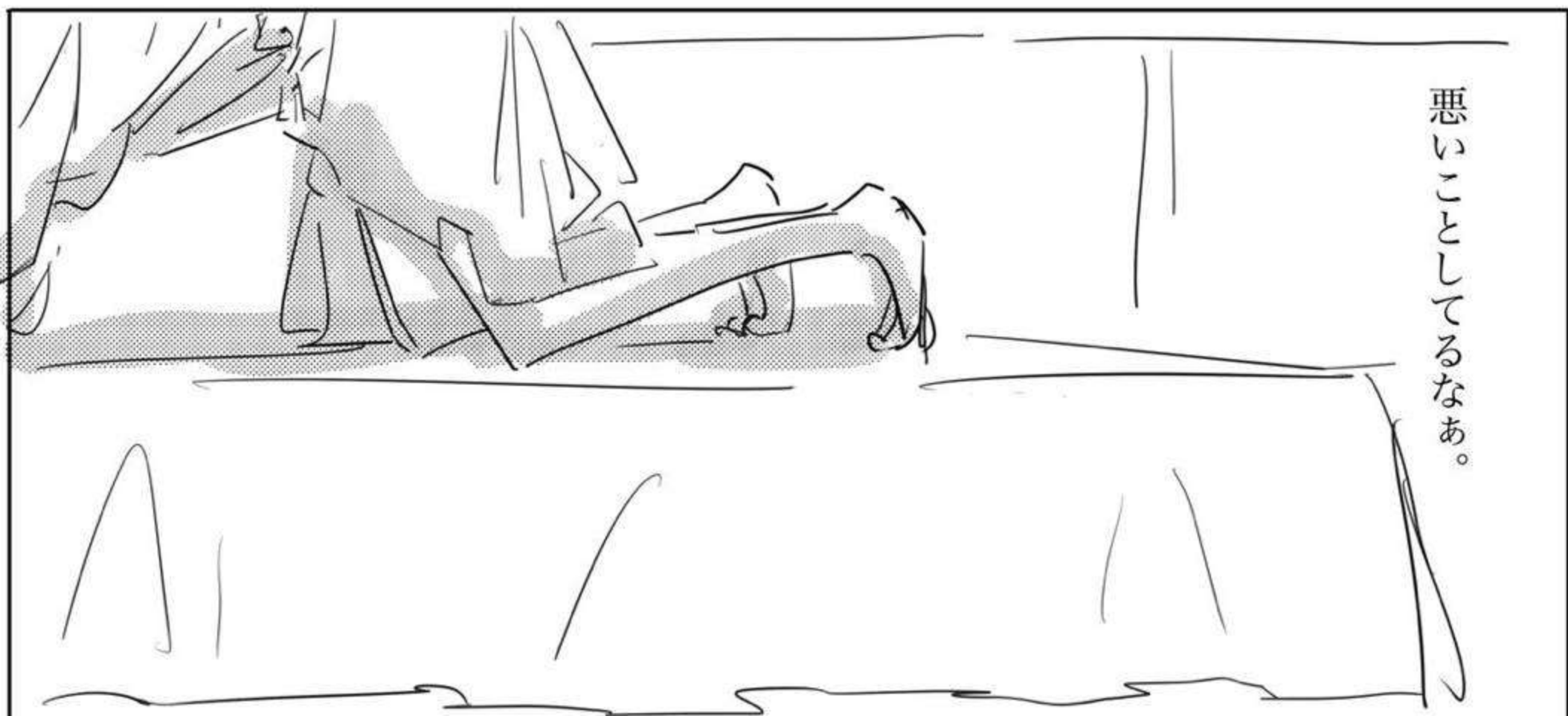




綺麗だったなあ……

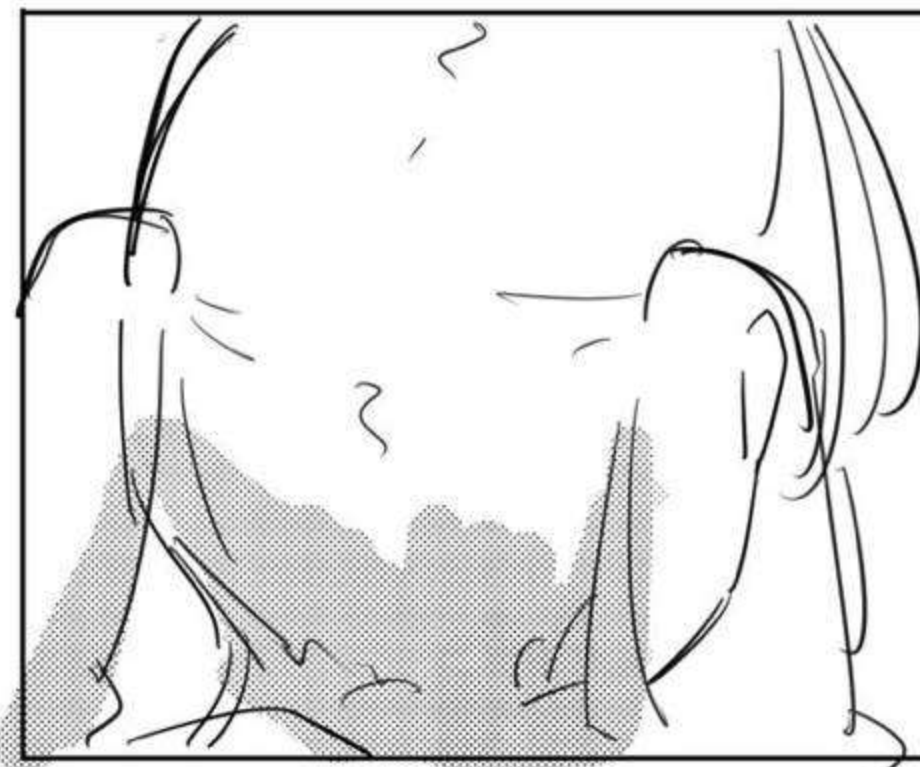


ああ、また私



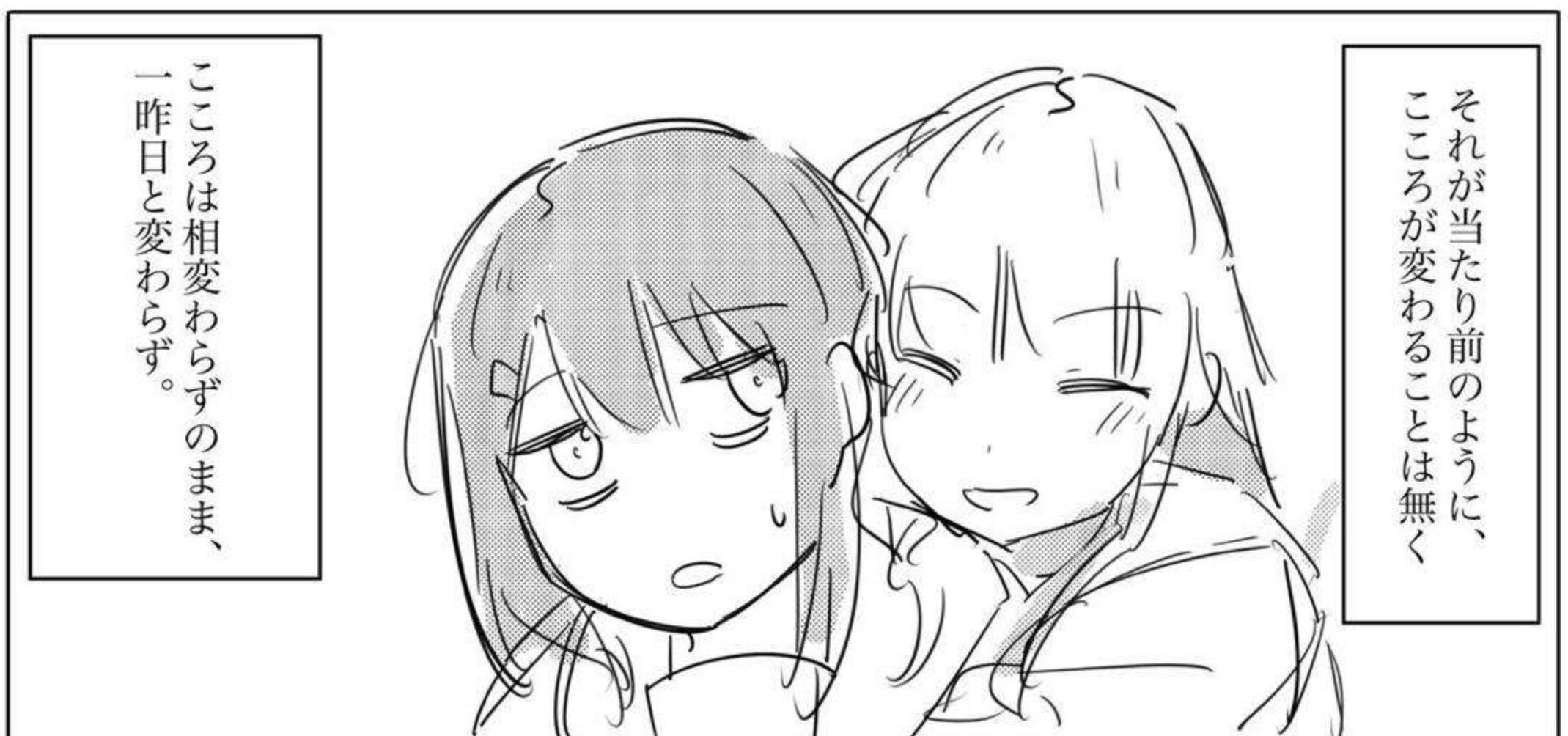
悪いことしてるなあ。

あ、い



言っ  
て  
ね  
え  
だ  
ろ







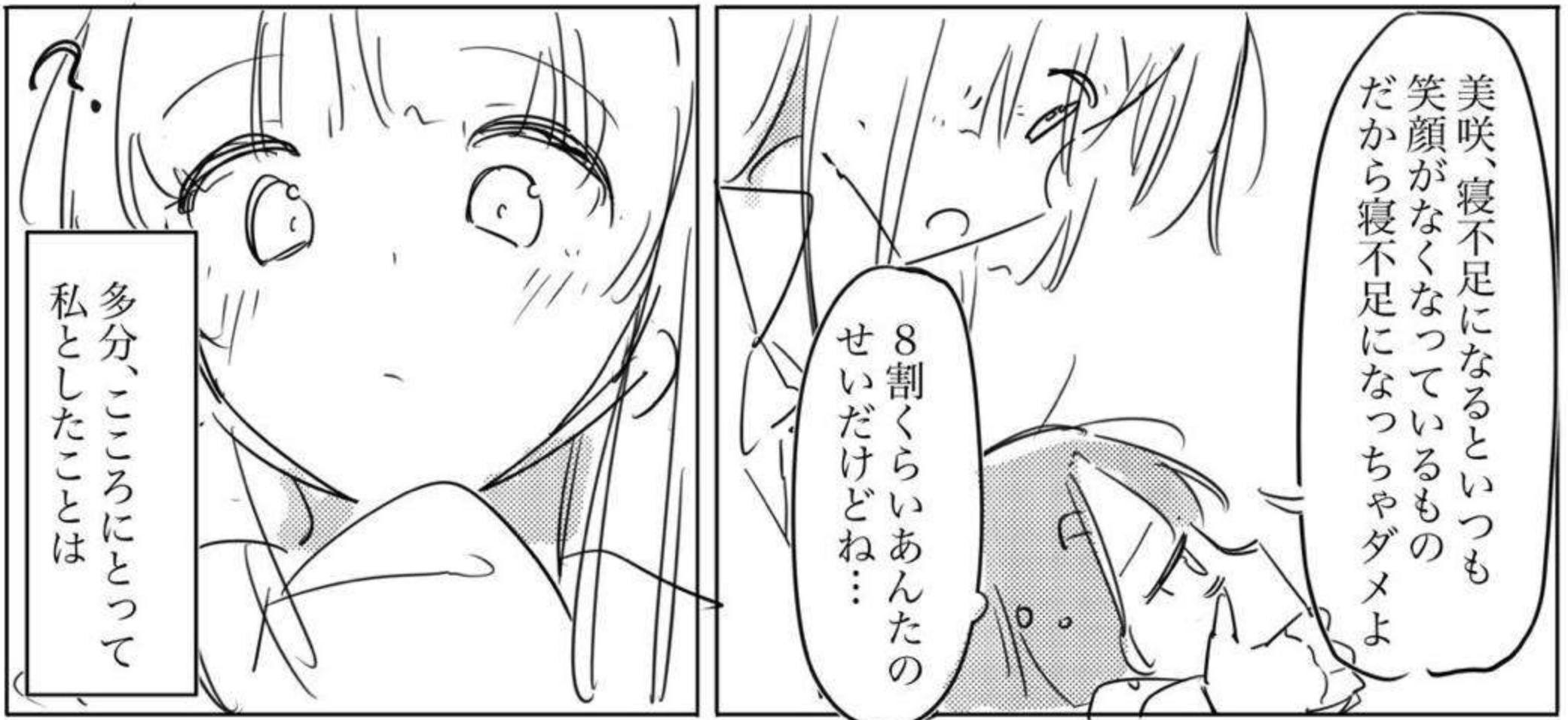
まあ！ダメよ美咲！

ぐえ

ちよつ…市ヶ谷さん

いや〜それが大変で大変で  
奥沢さんが寝不足なんだってさ

美咲と有咲は何を  
話していたの？



多分、ここらにとつて  
私としたことは

8割くらいあんたの  
せいだけどね…

美咲、寝不足になるといつも  
笑顔がなくなっているもの  
だから寝不足になっちゃダメよ



私にとつての特別が  
彼女にとつての特別とは  
なりえなかっただけで。

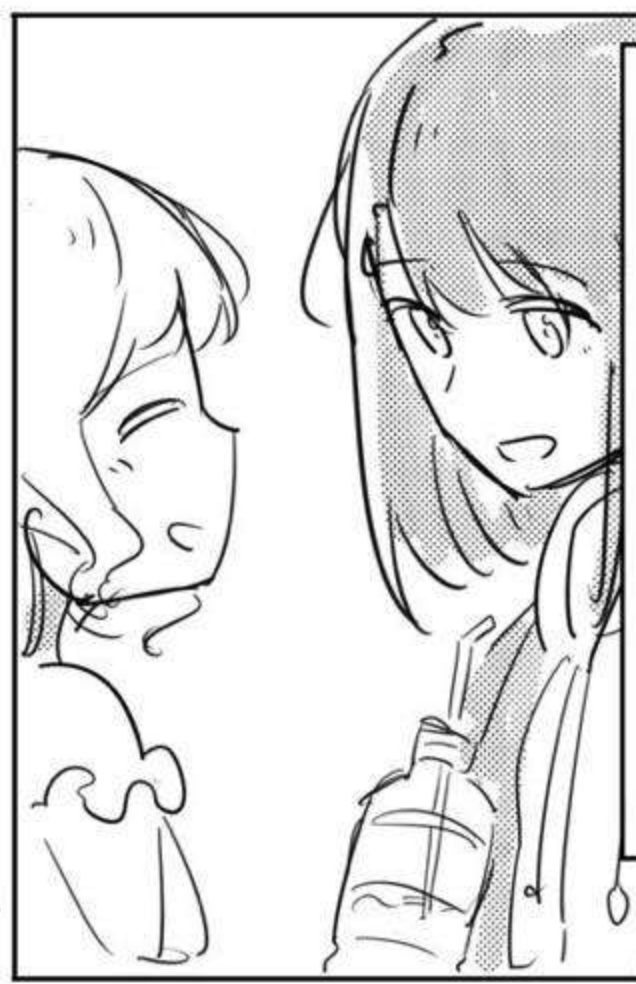
楽しいことの1つでしか  
なかったのかも知れない。

だから、残りの私が  
変わらなければ  
何も変わらない  
いつもの非日常だ。



いつもの非日常は  
私が抱いた馴染まない  
感情もすぐ忘れさせた。

だから、私はこのことは  
もうとつくに終わったことだと  
思っていた。



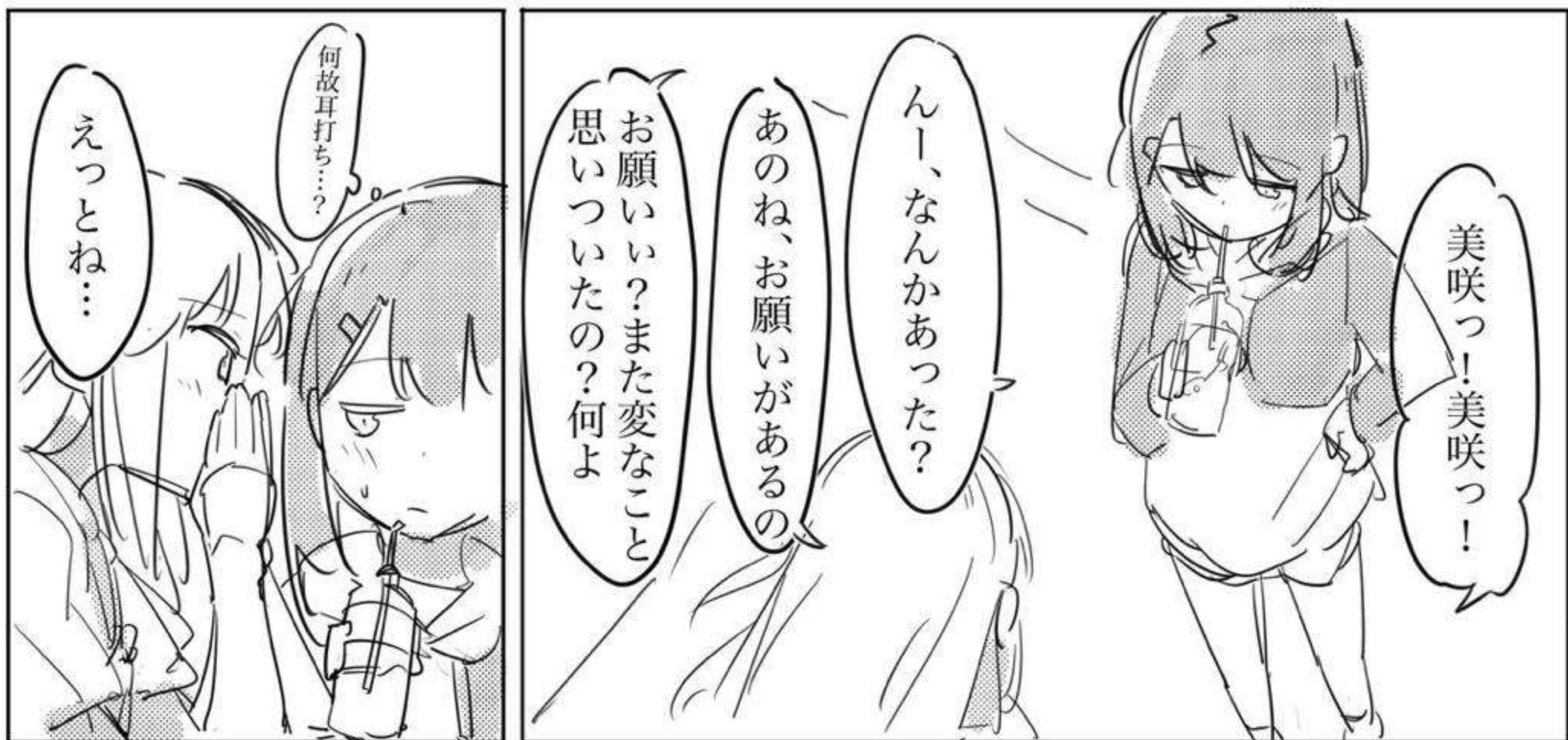
そしてそういう時に限って  
彼女は私に、一番嫌な嫌がらせ  
をしてくるのだ。

私は彼女の行動を分れないし、  
知れない。それと同様に

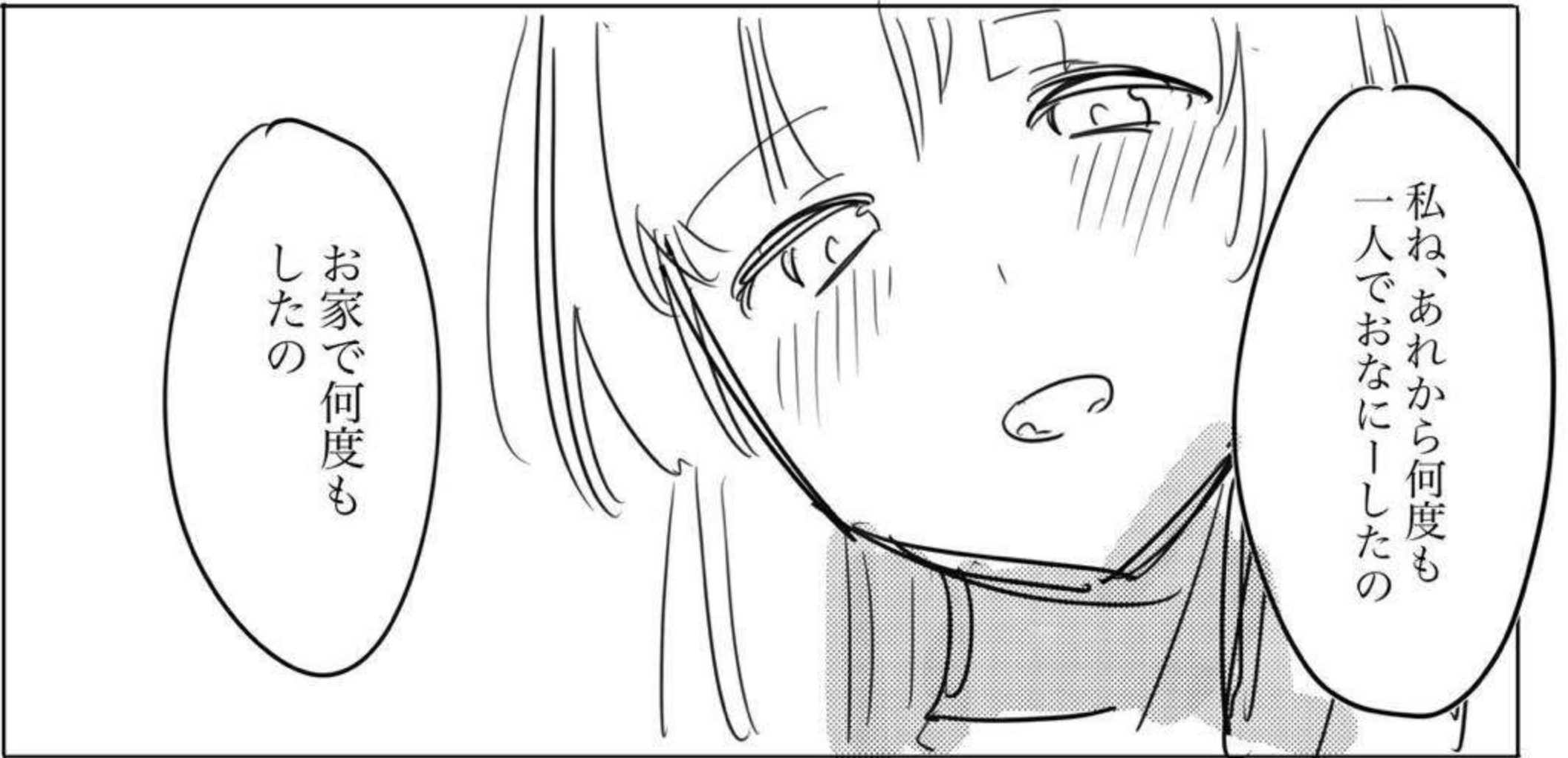


彼女は私の気持ちなんて  
何も知らないし、分からないんだ。





私がおなにーする所  
美咲に見ていて欲しいの



だから一緒に  
しましょう？

断るための理由付けなら  
いくらでも出来た。

むしろ、私は悪いことを  
したのだから謝るべきだった  
んだ。

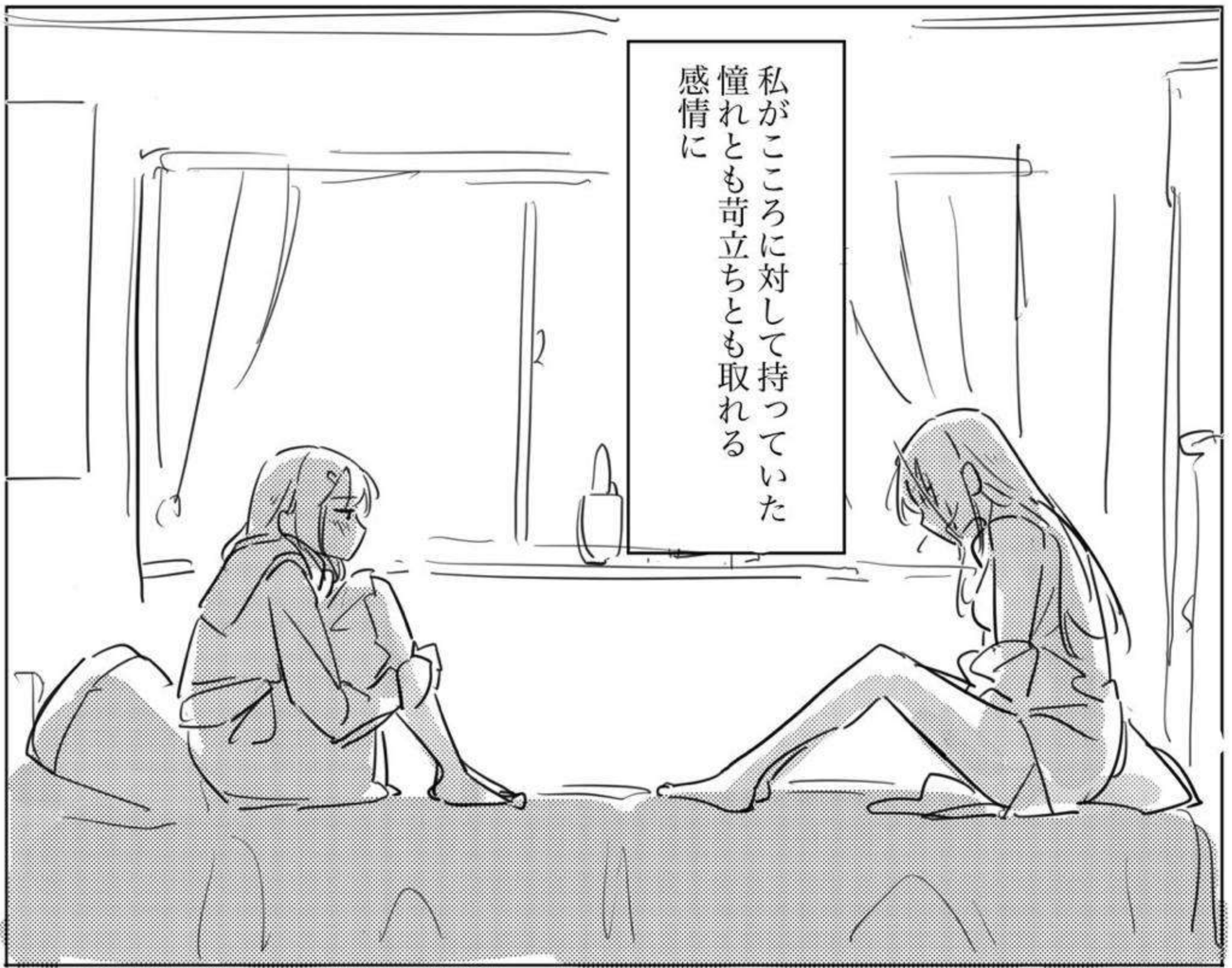
それは出来ないよ、それは  
特別な人とする特別な  
行為だから、とか

それでも分かってもらえなかつたら  
アレはあんまり好きじゃないから  
出来ない：とか

いくらでも言い訳は  
出来たのに

じゃあ今どうしてこうなつて  
いるのかは、多分、というか絶対に



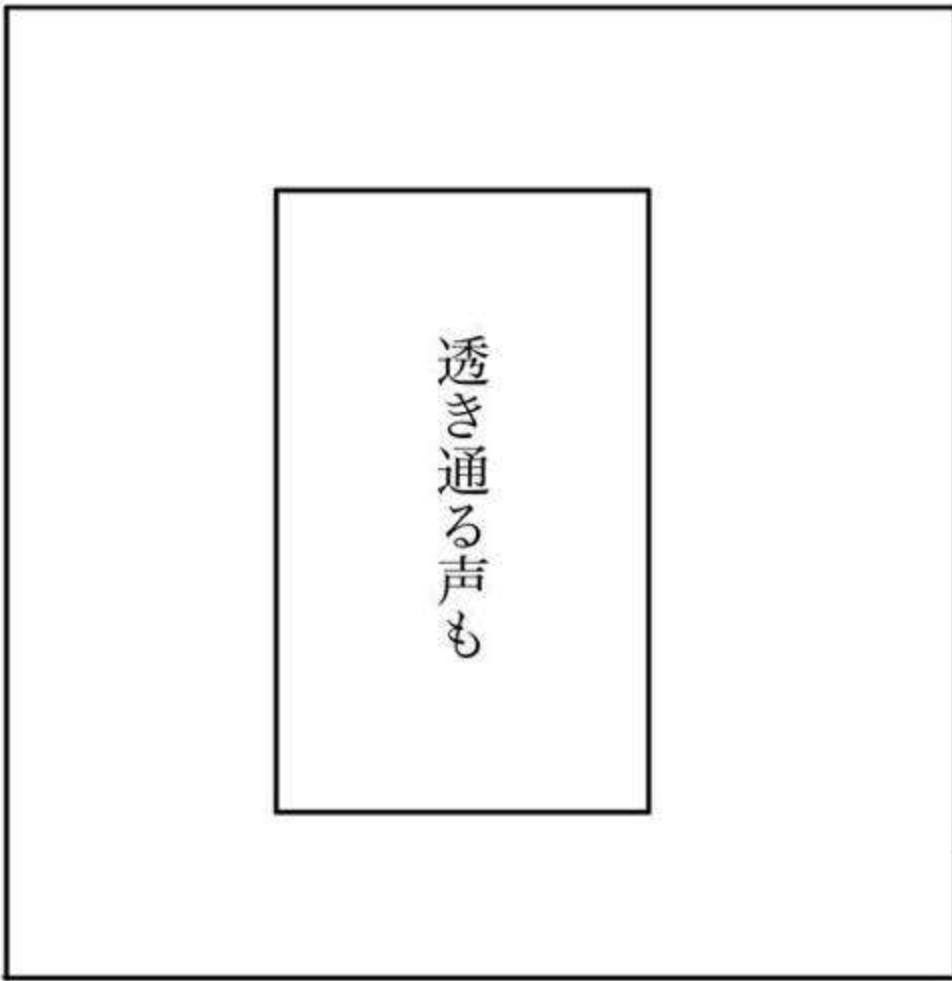




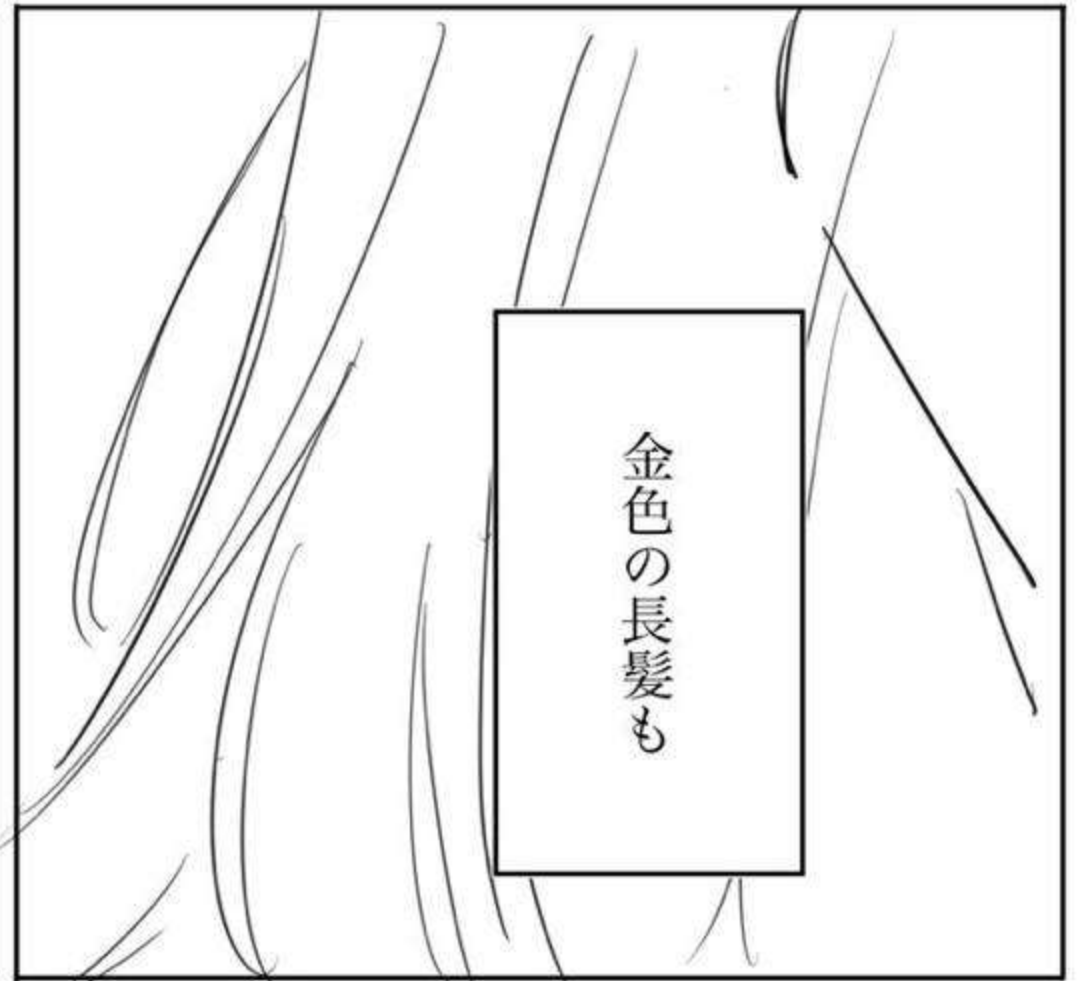
いつも握っていた  
しなやかな指も



一度自覚すれば  
それはとめどなく  
溢れてきて



透き通る声も



金色の長髪も



紡ぐ言葉も



輝く瞳も

何よりその  
笑顔を好きだと



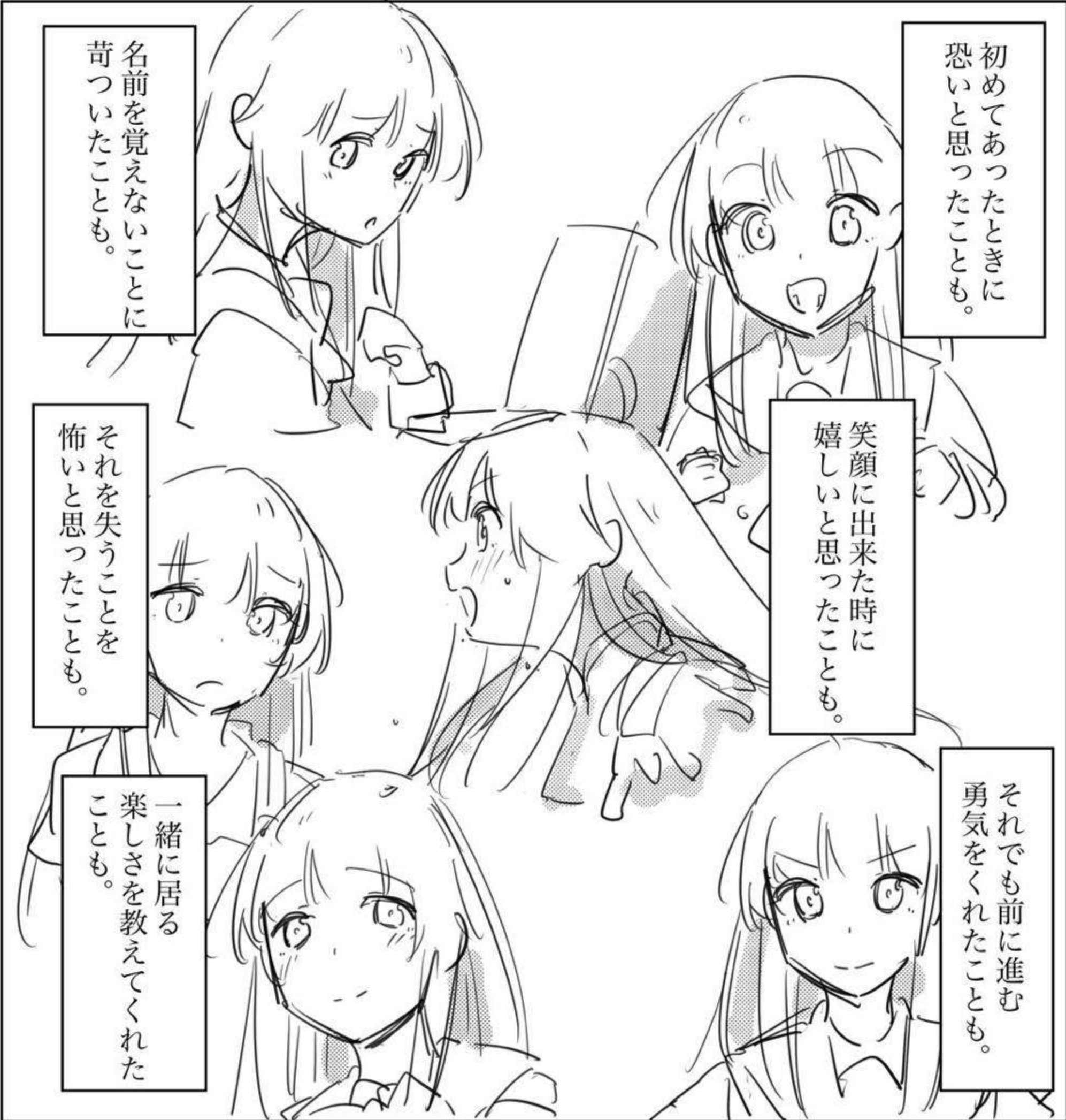
その全てが  
自分にはないもので  
あったから



いつからだろう？  
出会って最初に  
匂いのことを言われた時？

それよりもっと  
出会う前、彼女を  
異質なものとして  
排除していたとき？

多分、最初からだ。  
あの時抱いていた感情から  
地続きの感情が、今の私の  
好きを作っている。



初めてあったときに  
怖いと思ったことも。

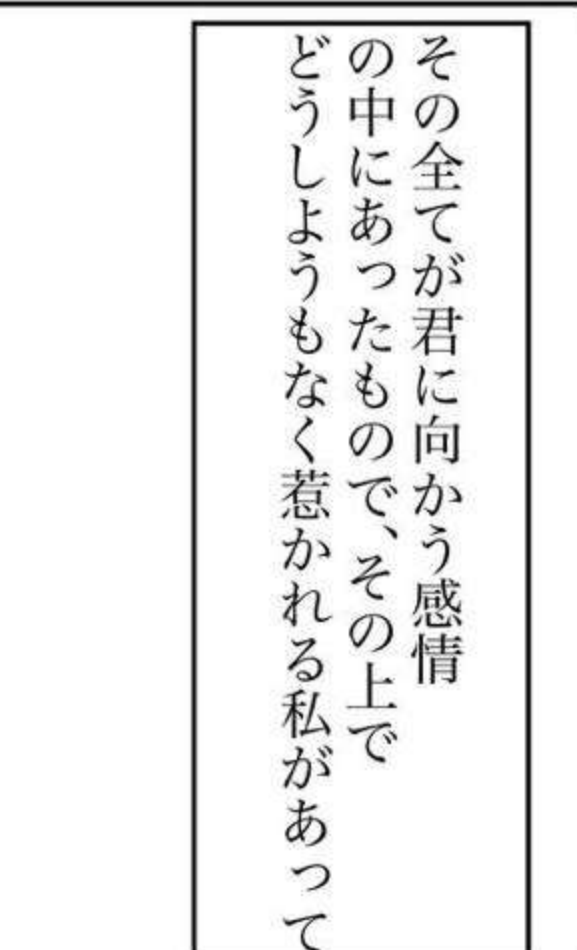
名前を覚えないうちに  
苛ついたことも。

笑顔に出来た時に  
嬉しいと思ったことも。

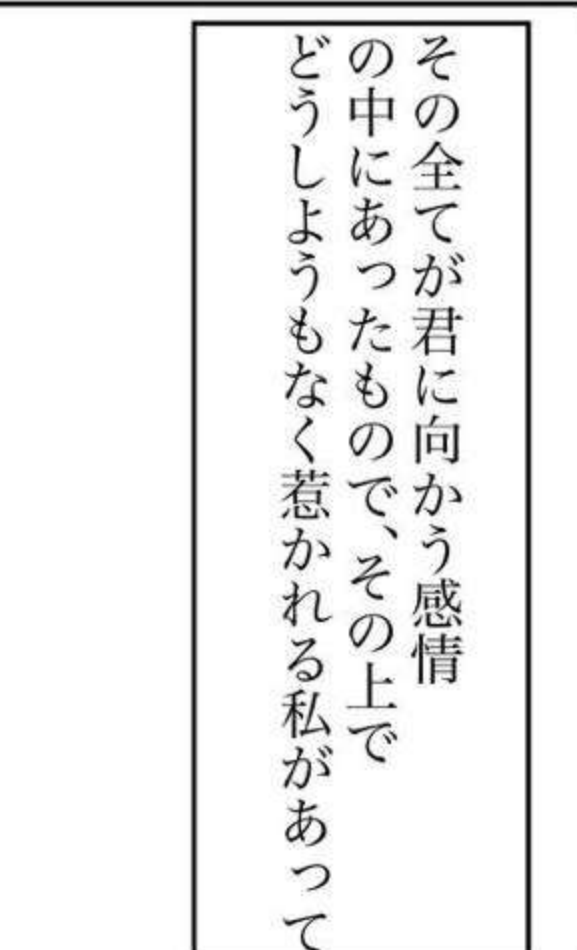
それを失うことを  
怖いと思ったことも。

それでも前に進む  
勇気をくれたことも。

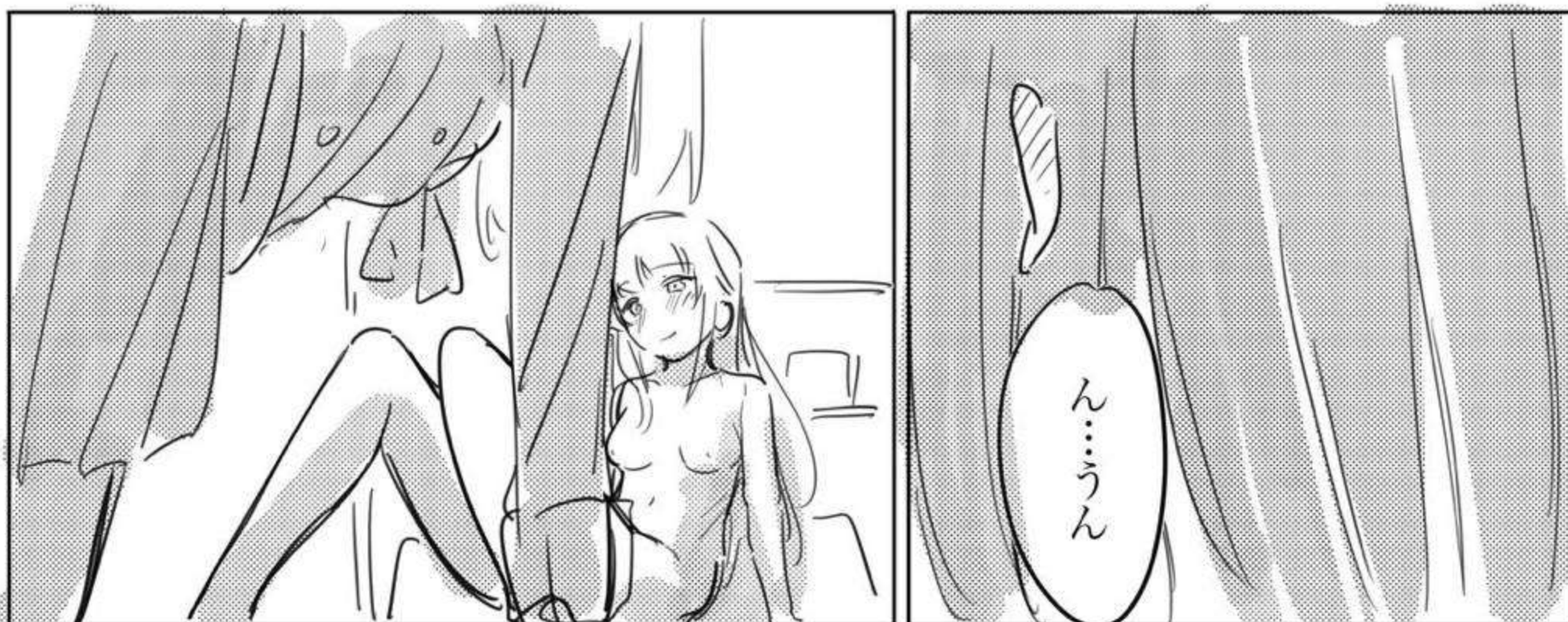
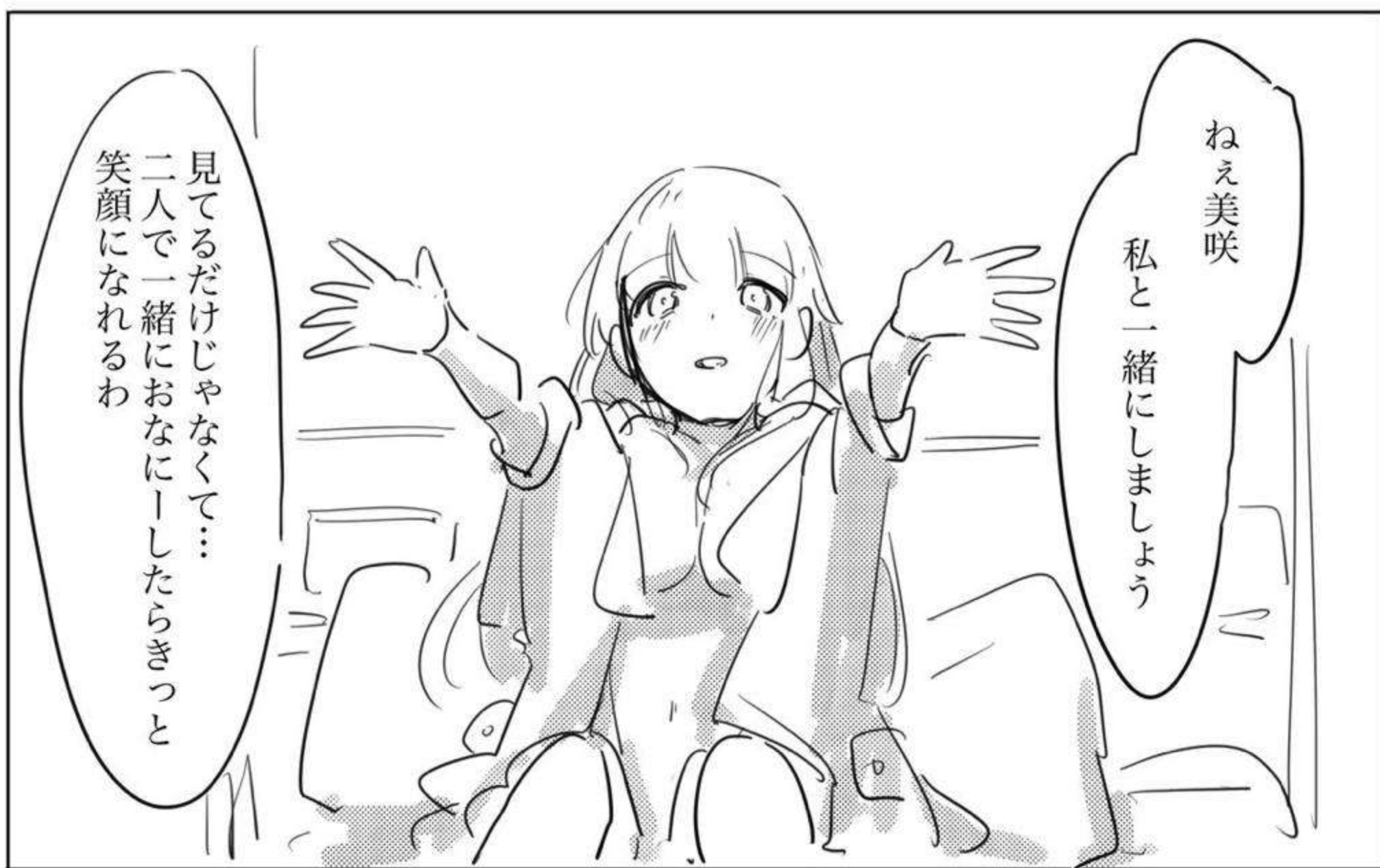
一緒に居る  
楽しさを教えてくれた  
ことも。

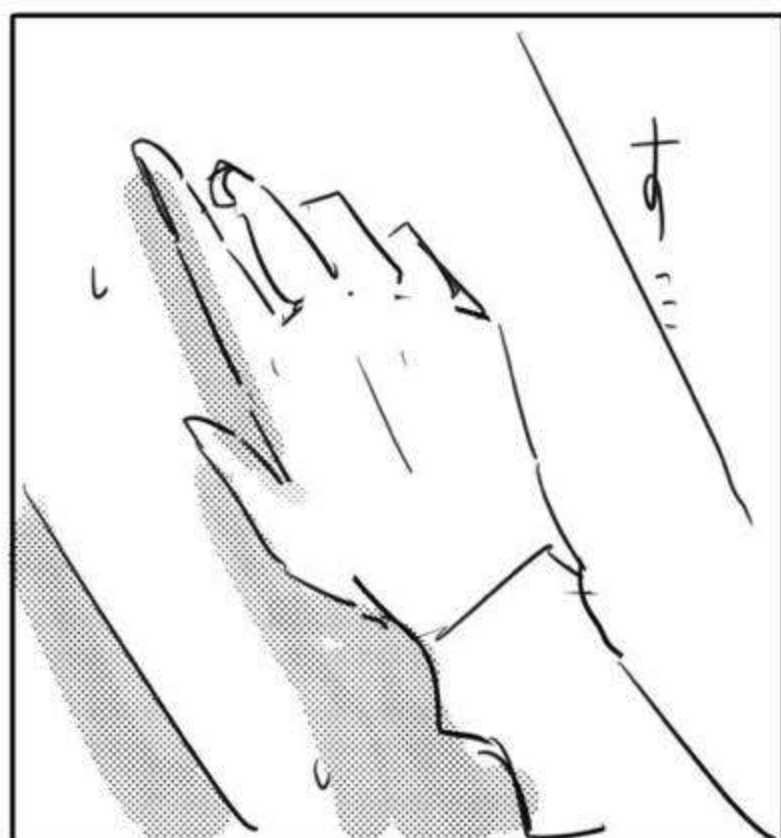
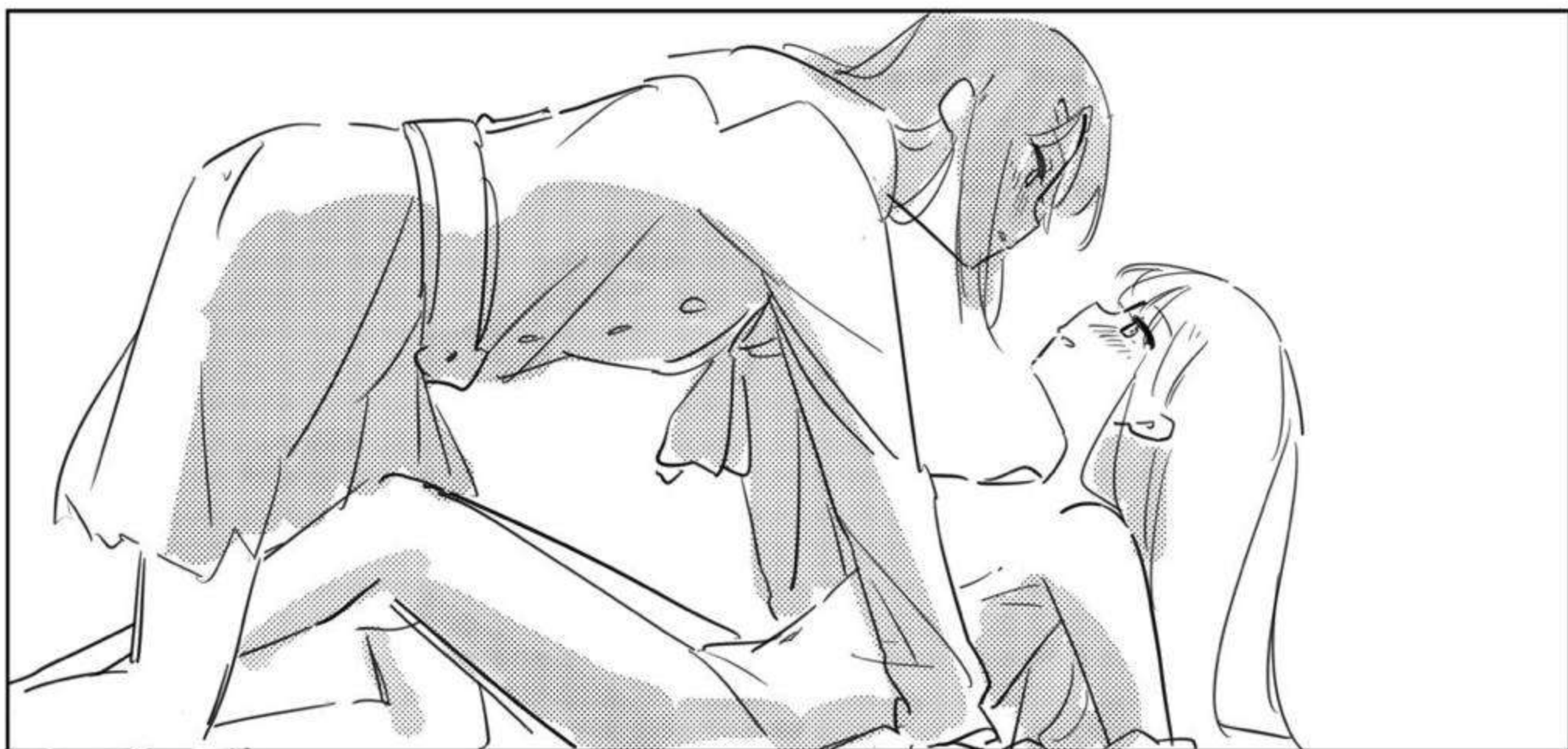


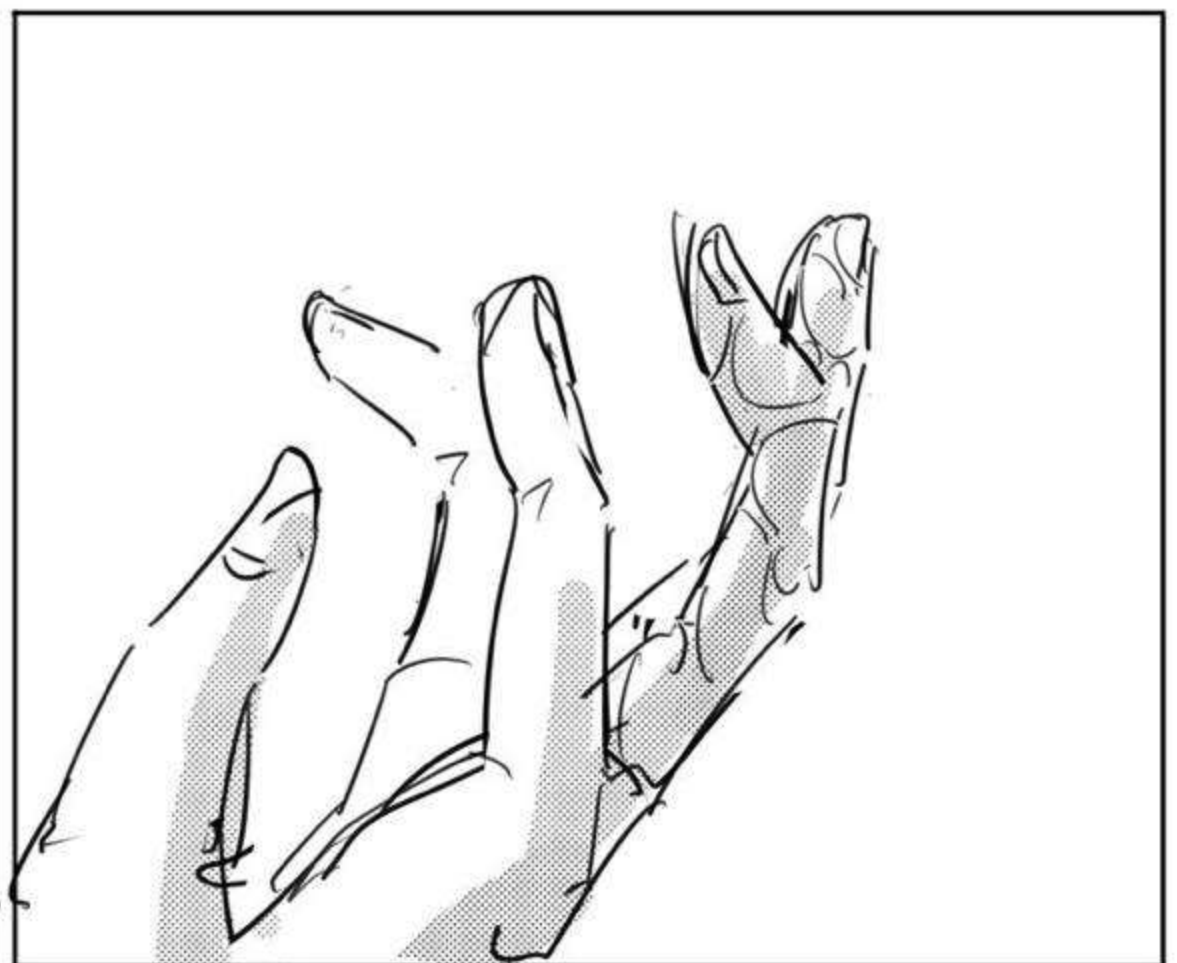
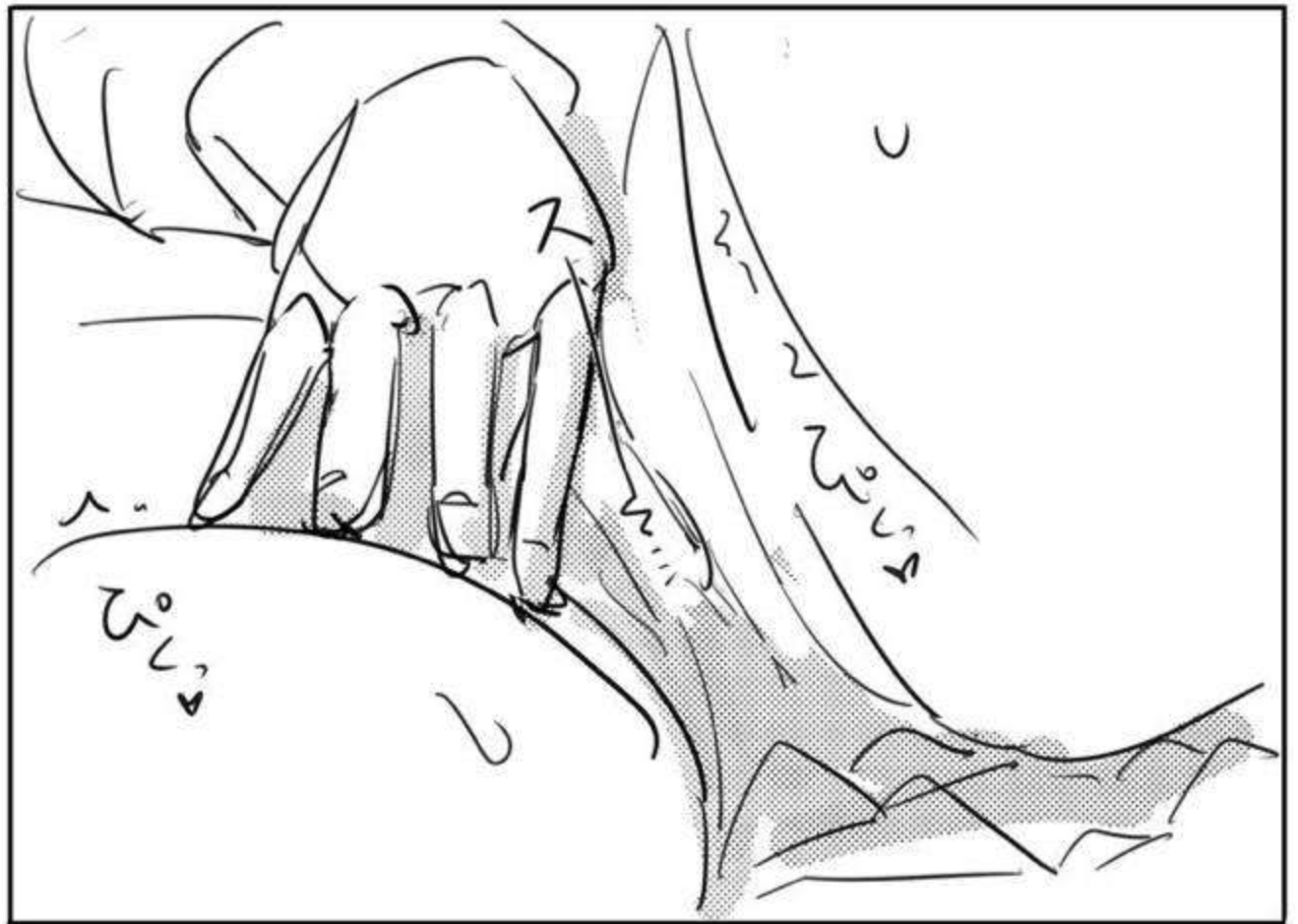
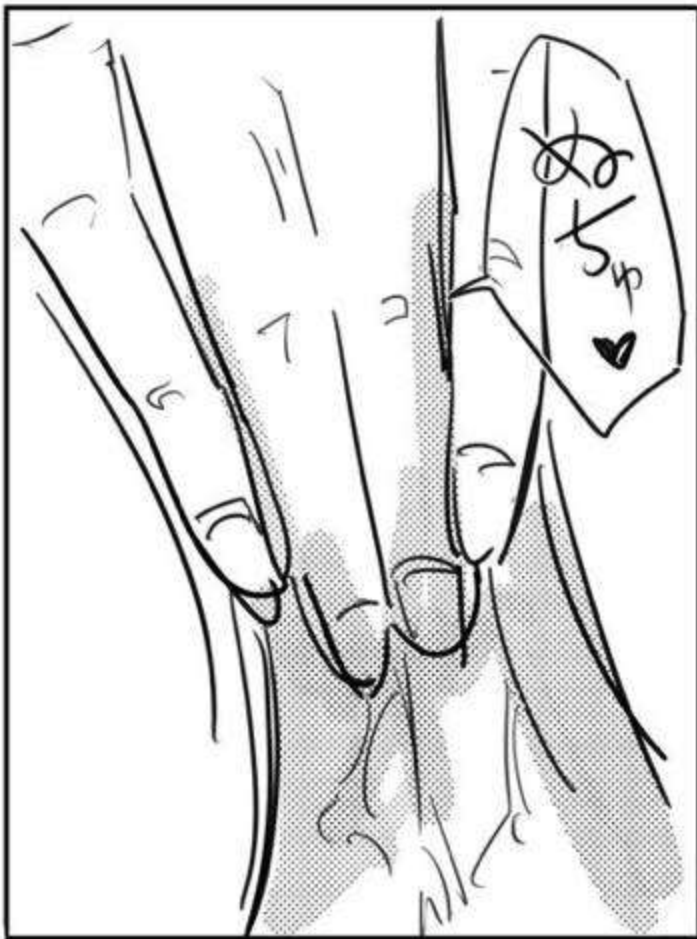
その全てが君に向かう感情  
の中にあつたもので、その上で  
どうしようもなく惹かれる私があつて



そんな私に  
君はどこまでも  
わがままだから







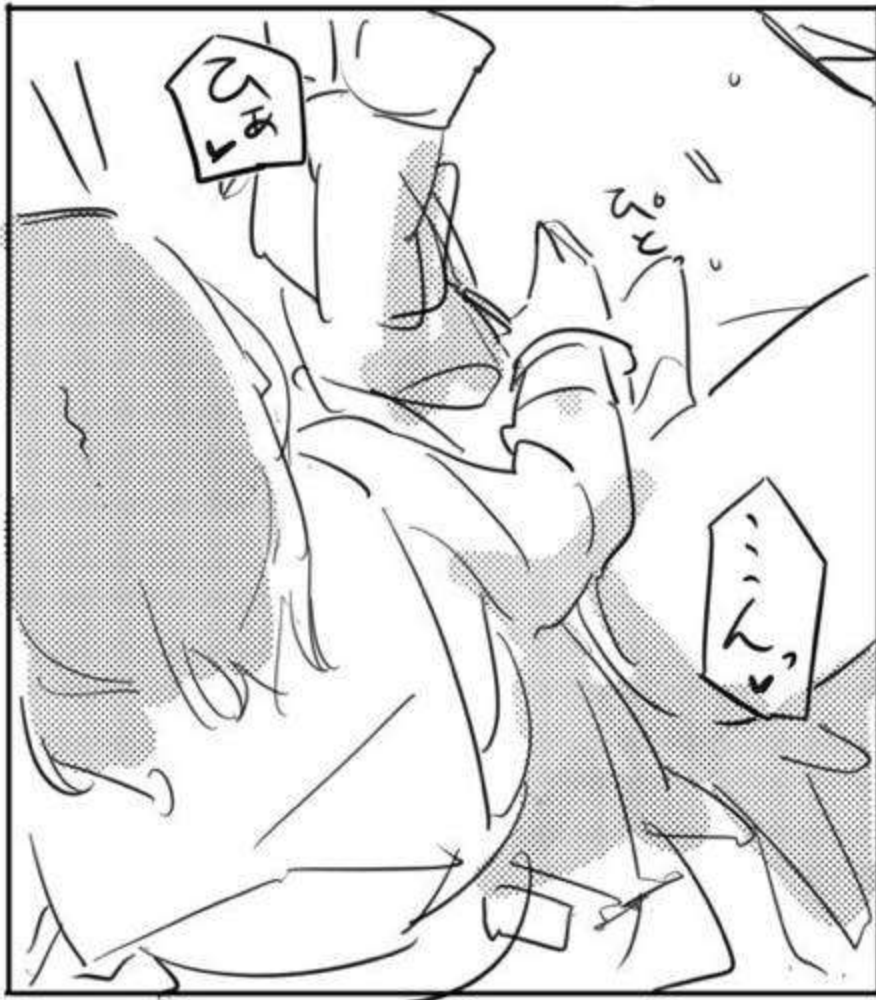


…美咲?

ん?

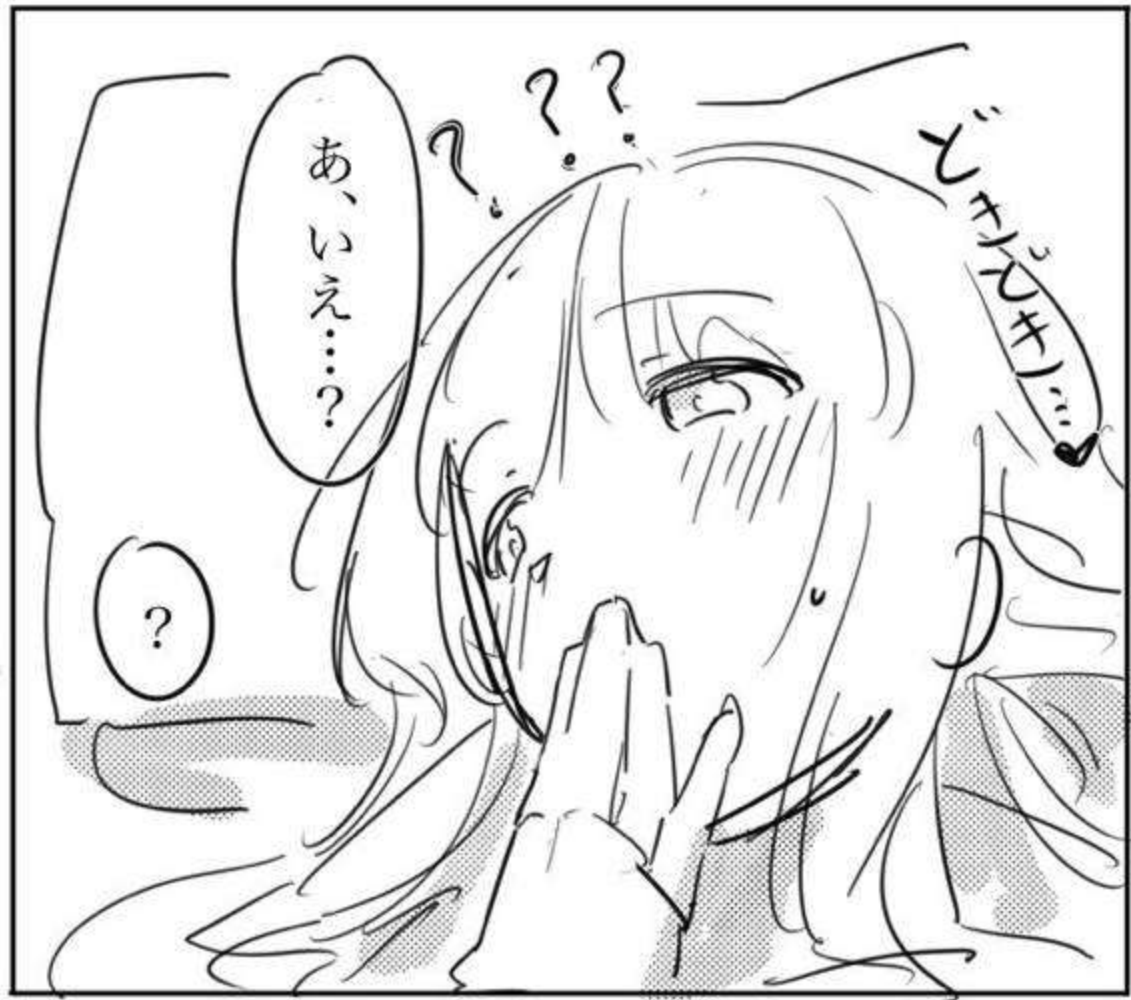


…変な味



ん?

ん?



あ、いえ…?

?

ん?



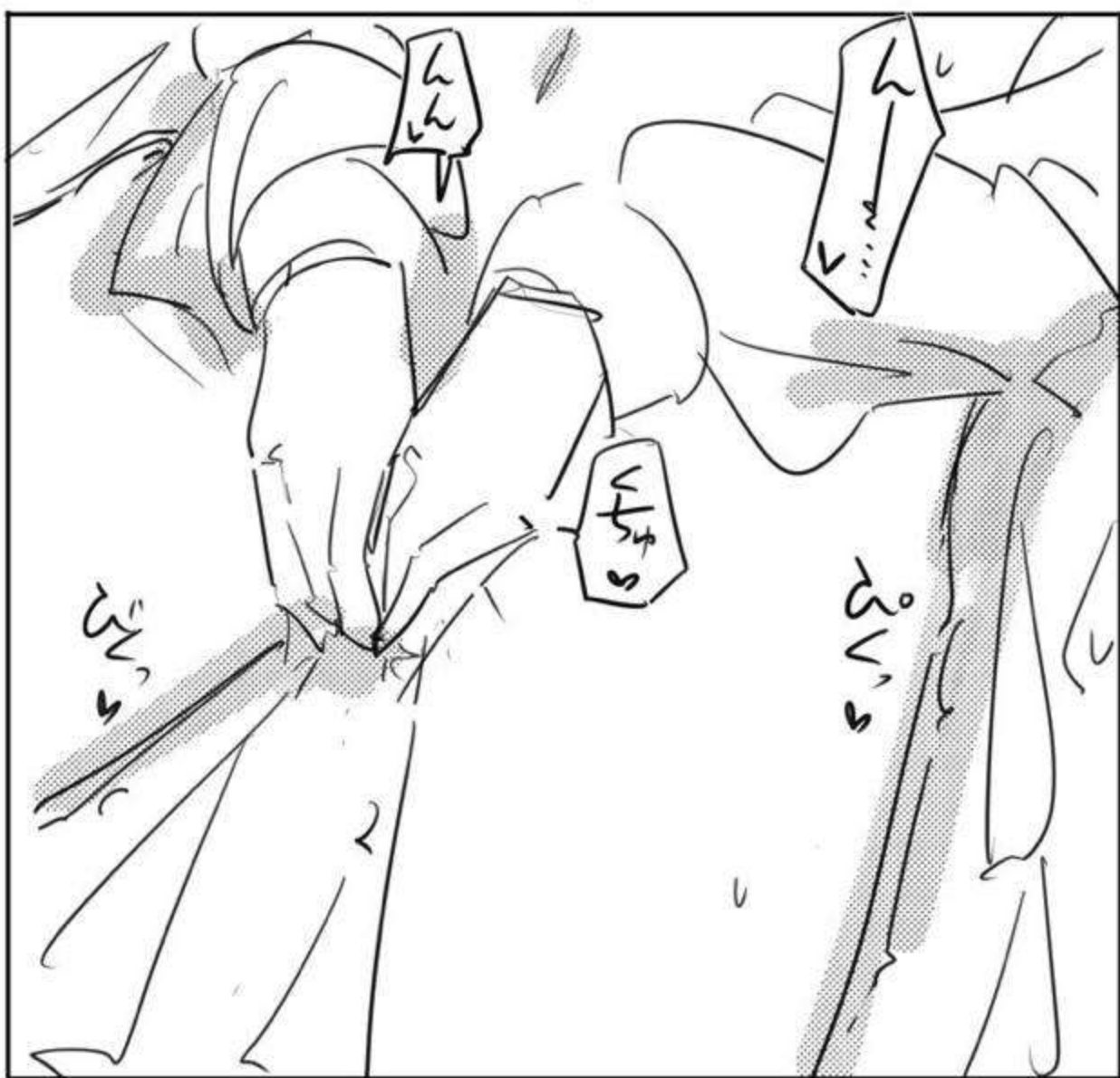
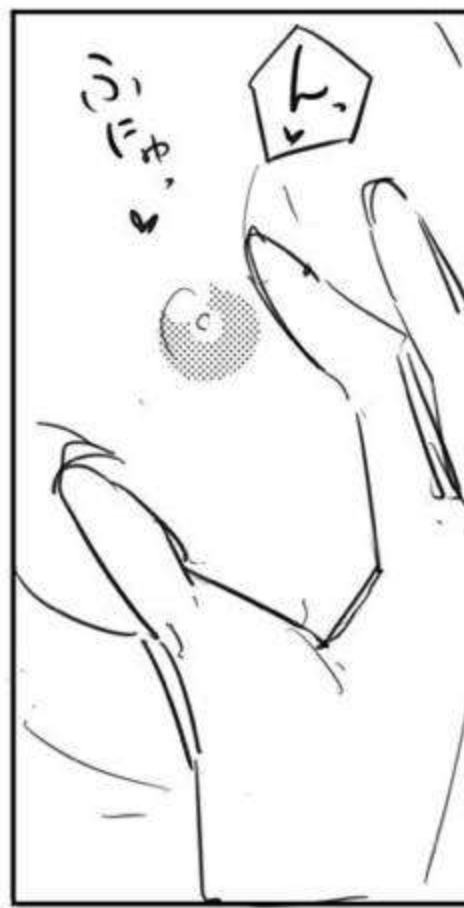
ん?

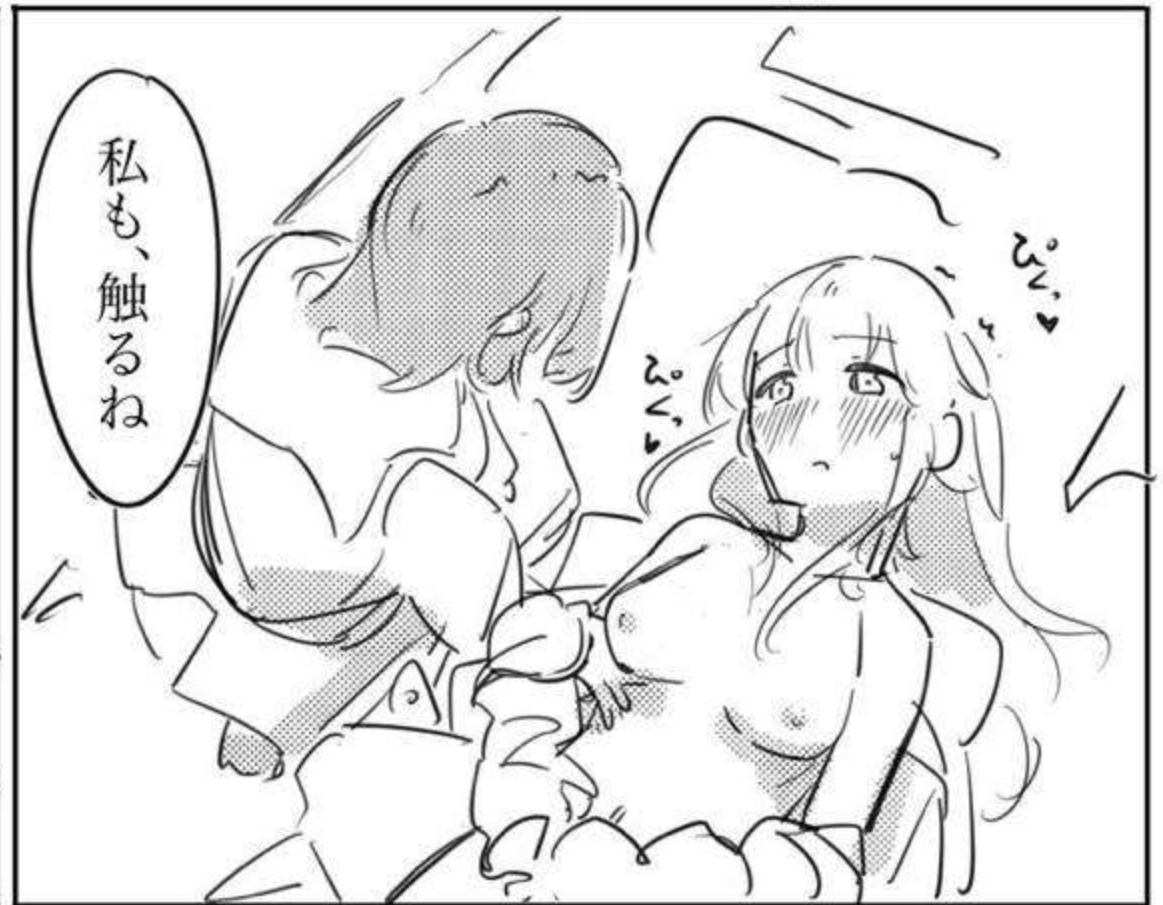
ん?

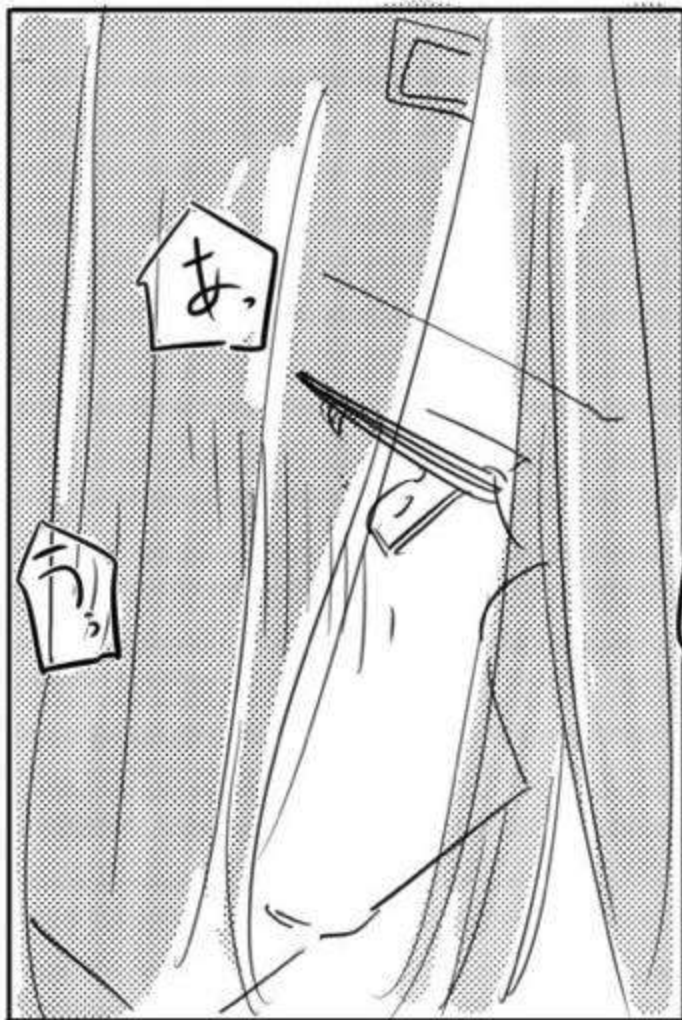
ん?

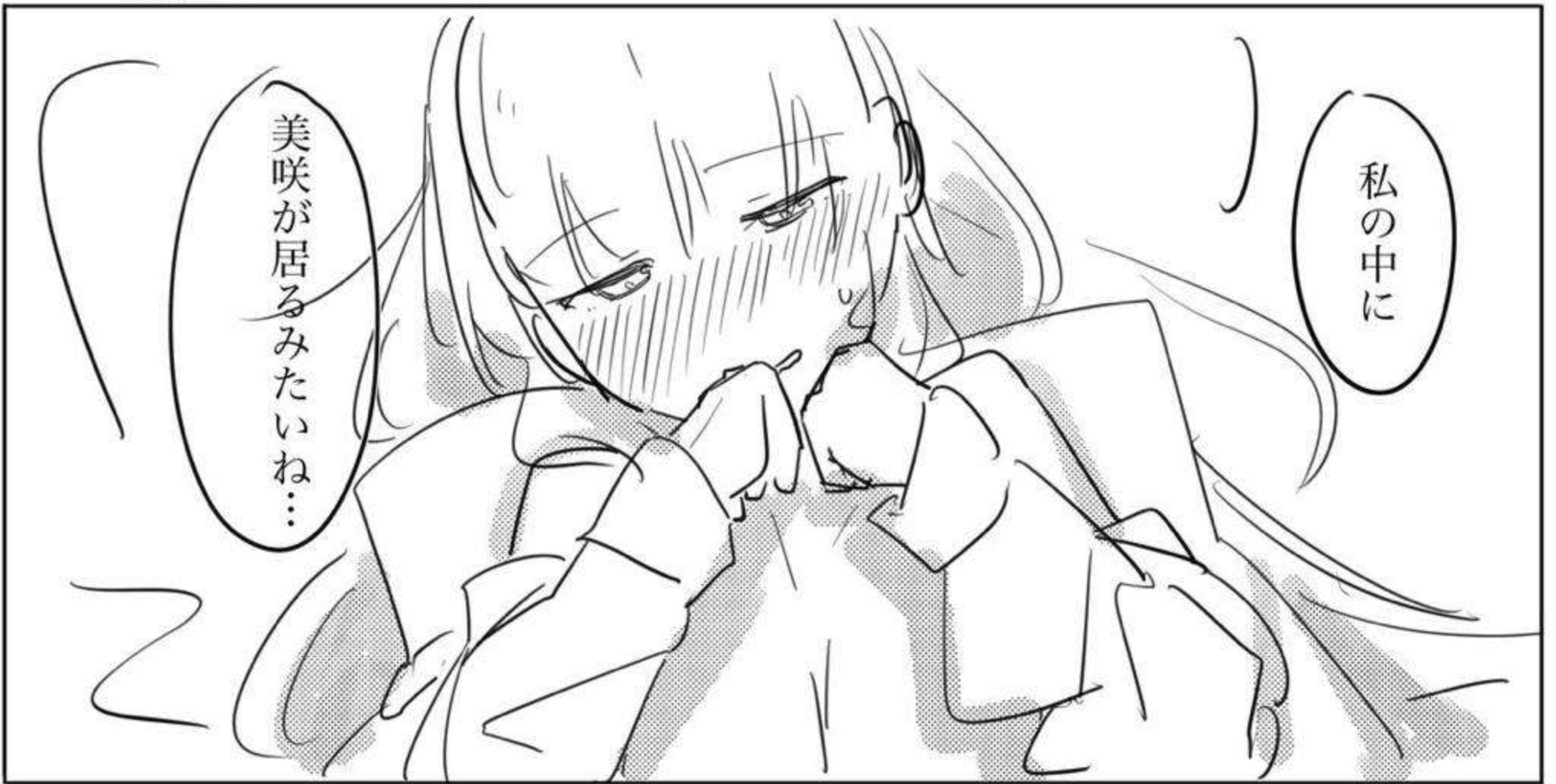
ん?

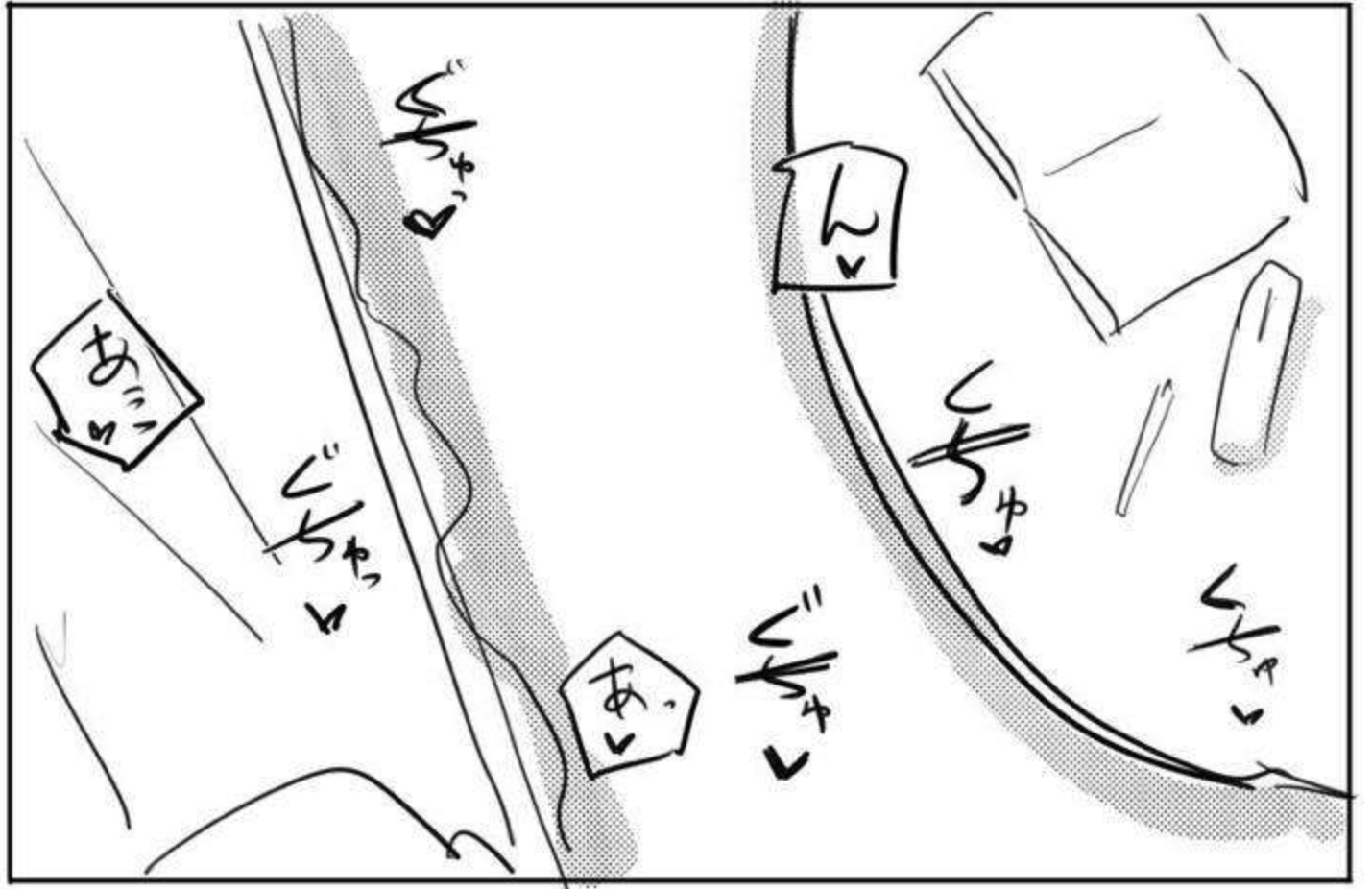








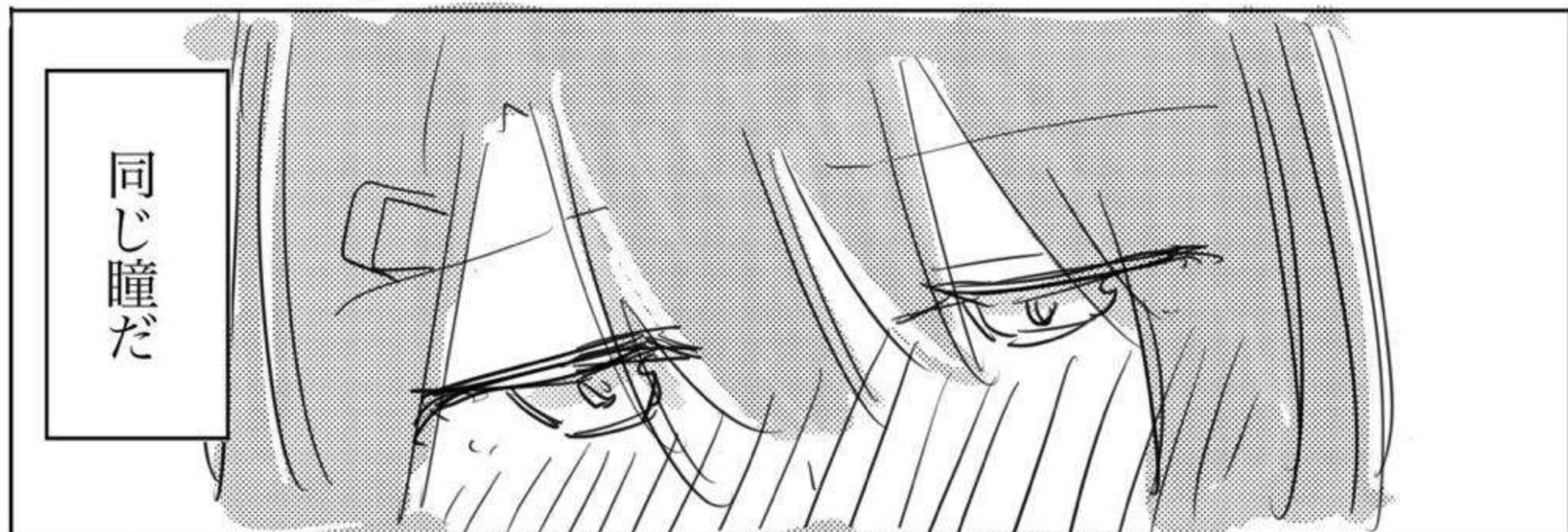




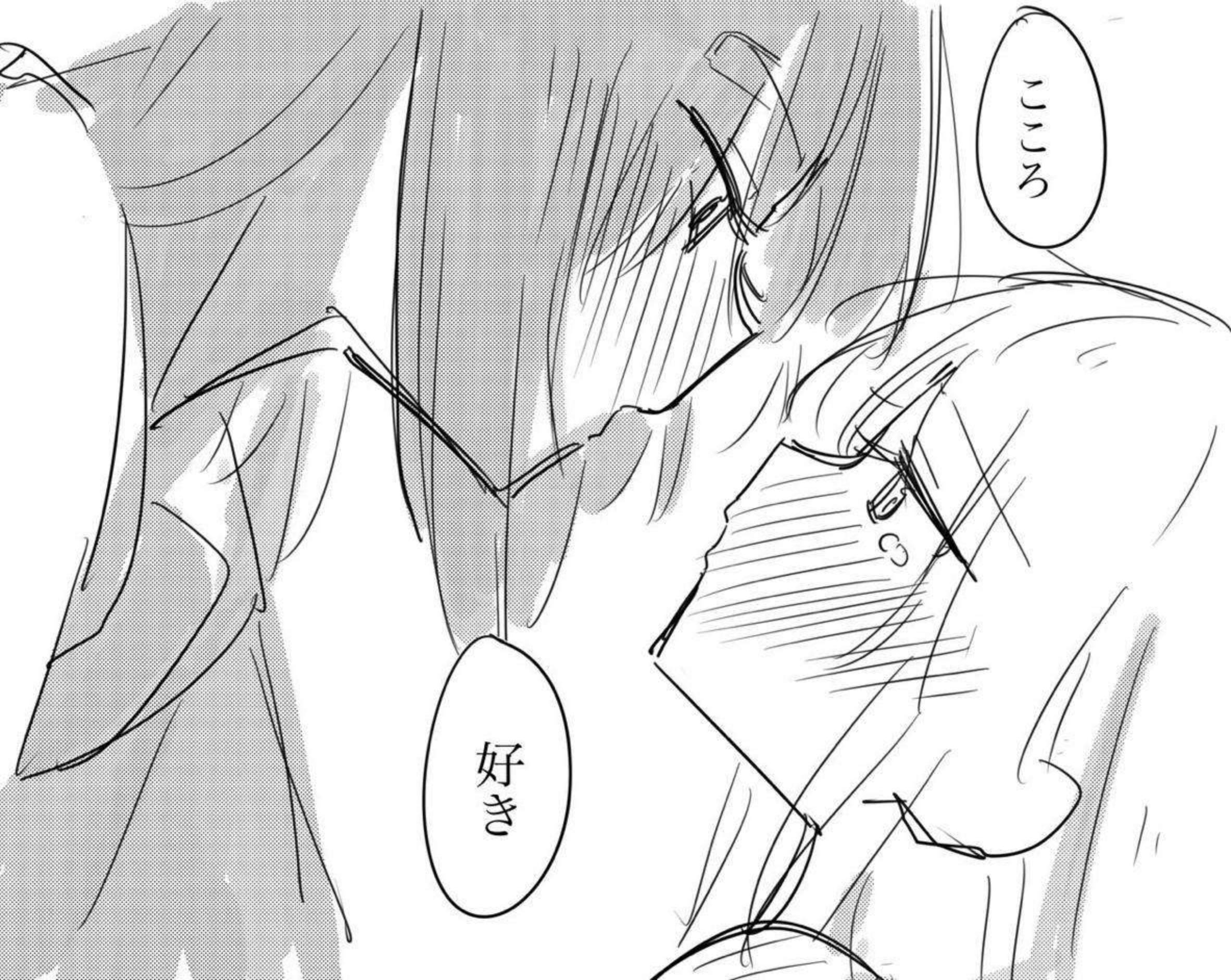




ああ、私と

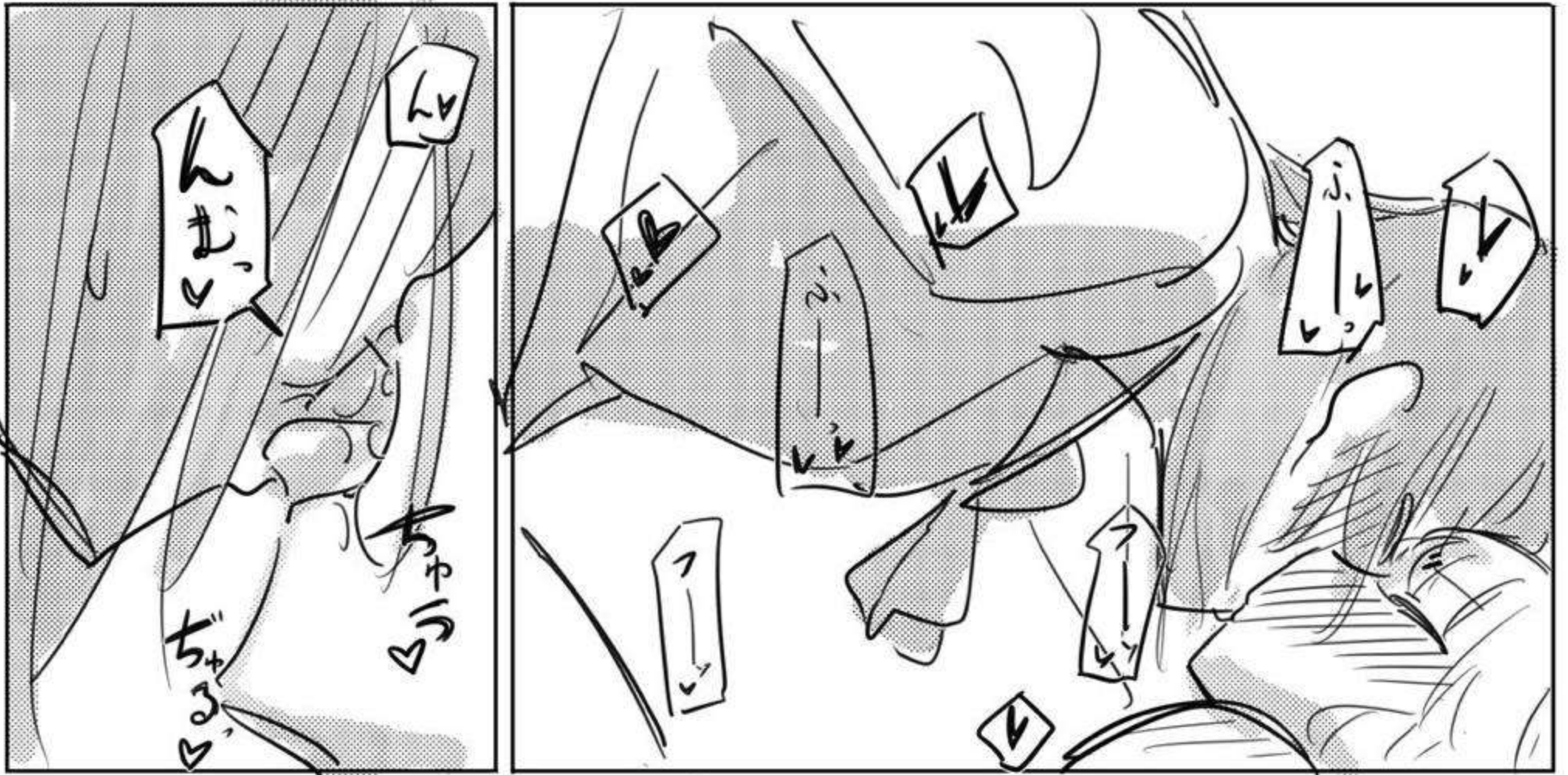
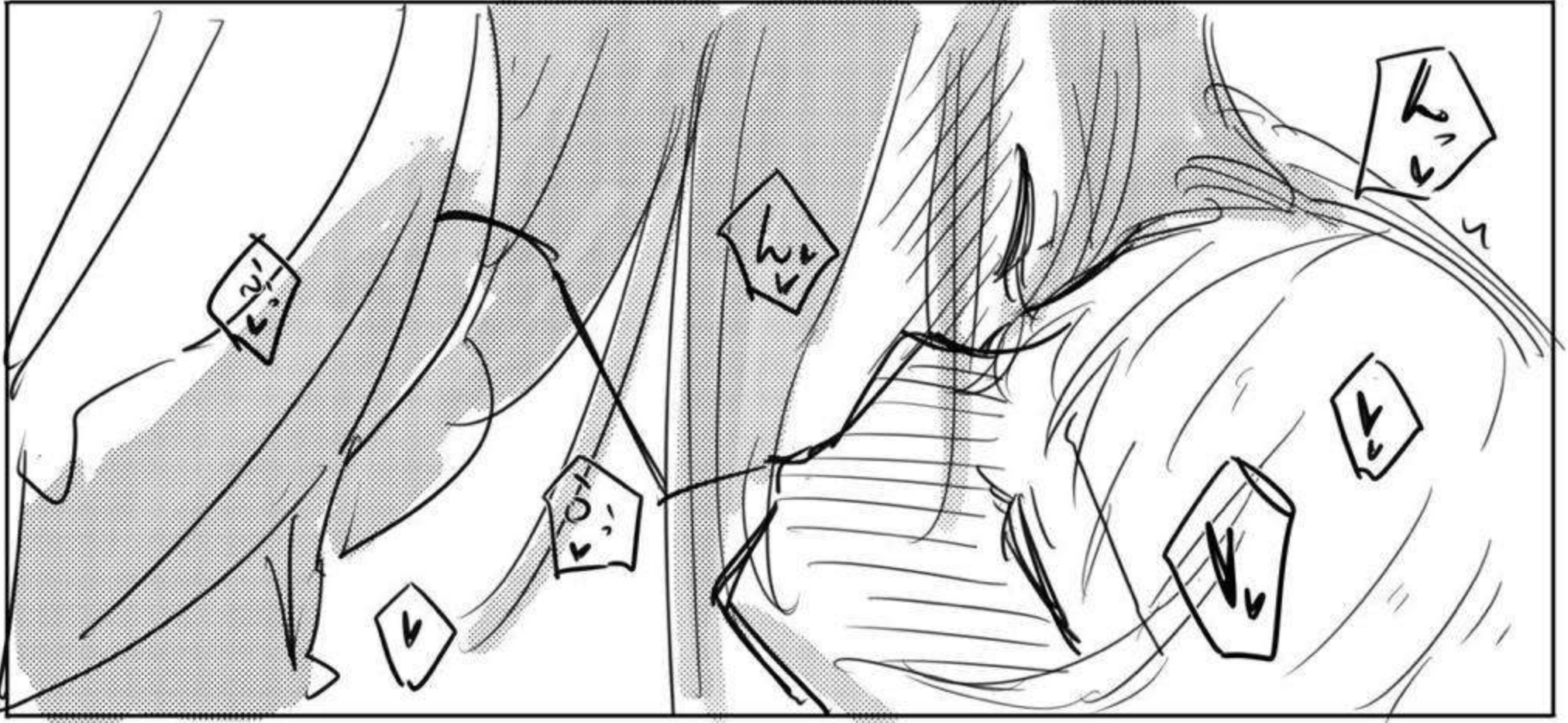
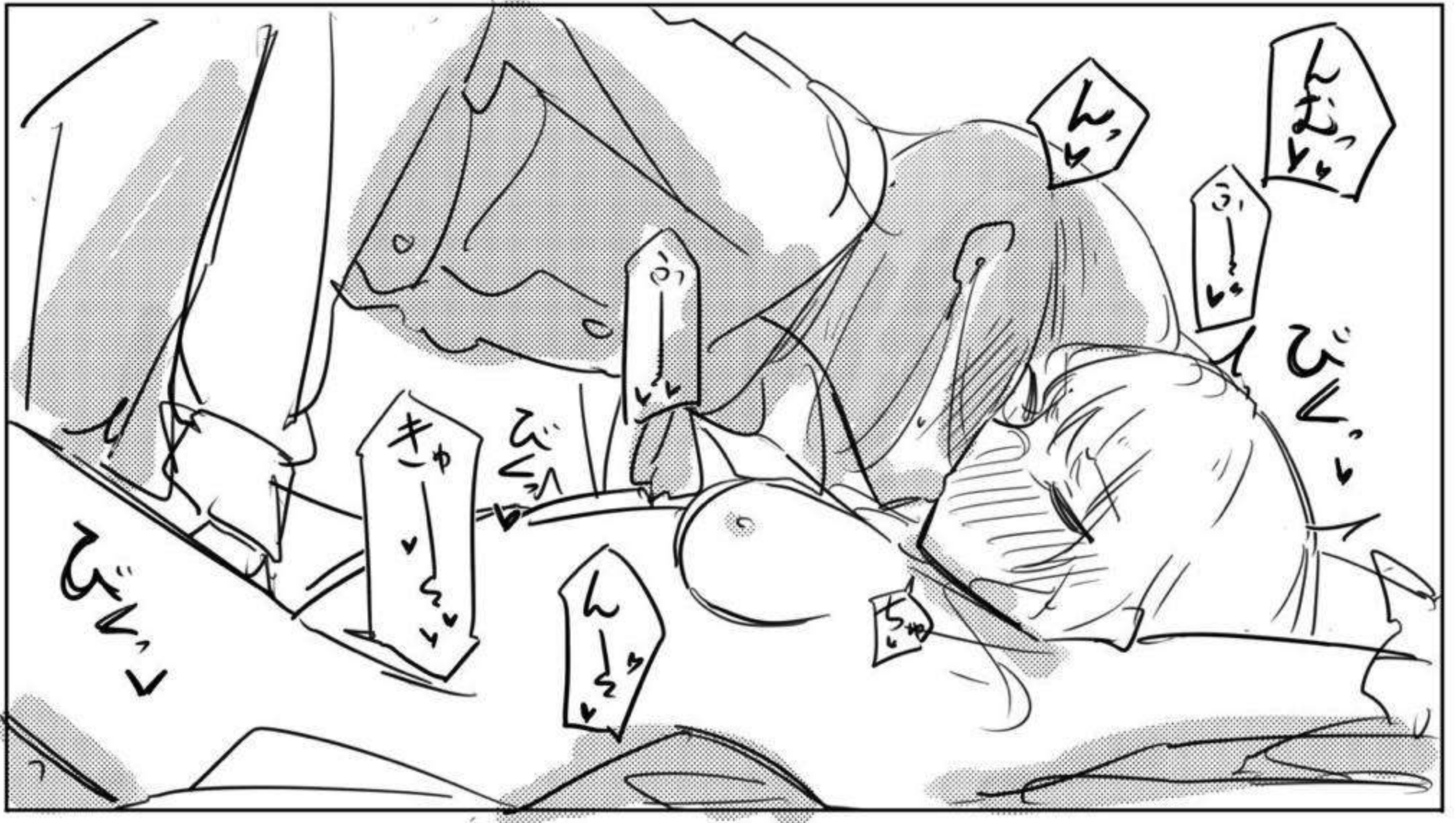


同じ瞳だ

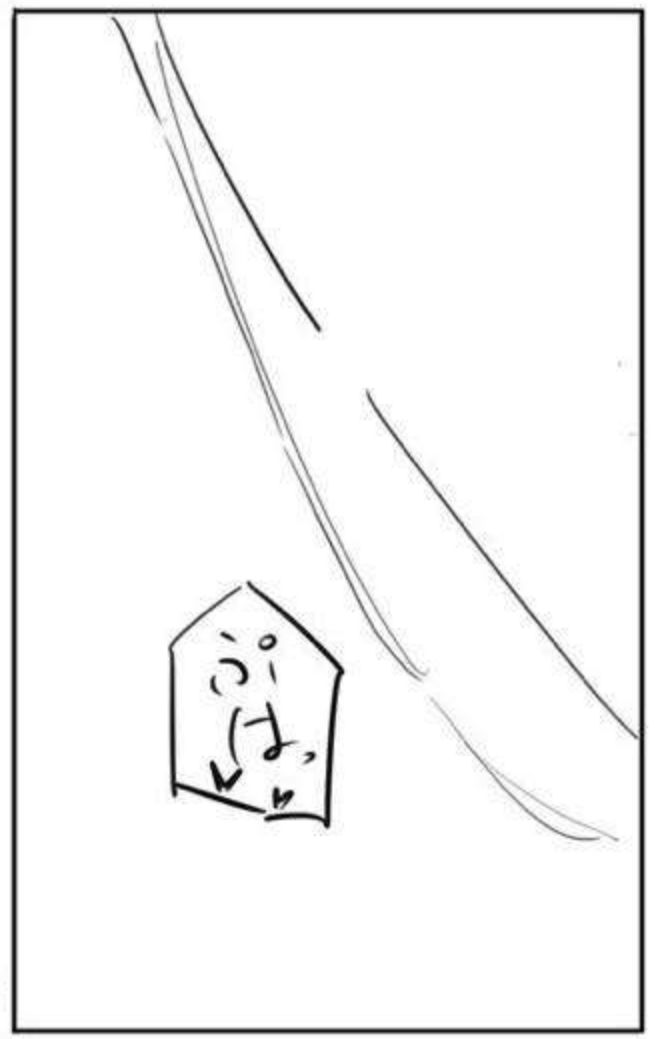


ひひひ

好き







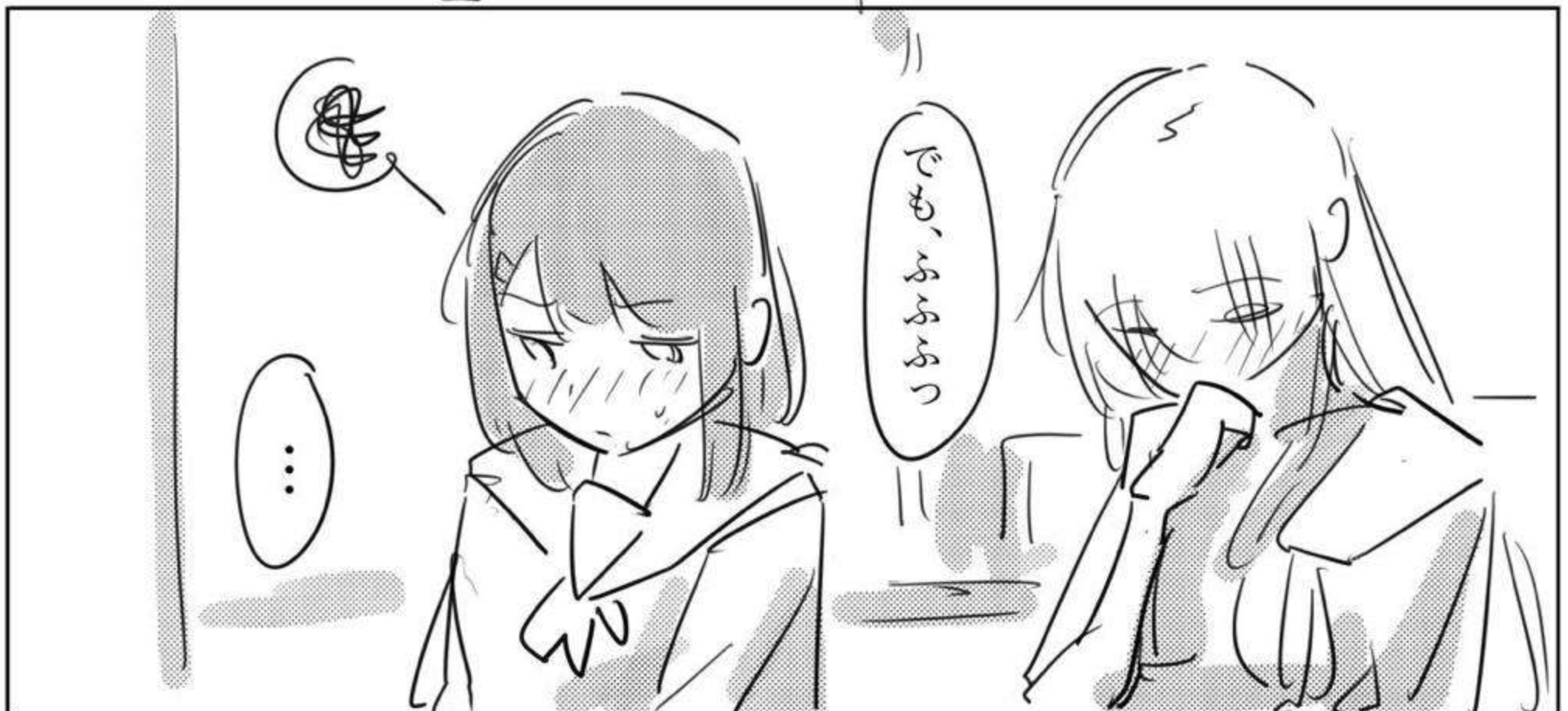


いつぱい好きって  
言われちゃったわ



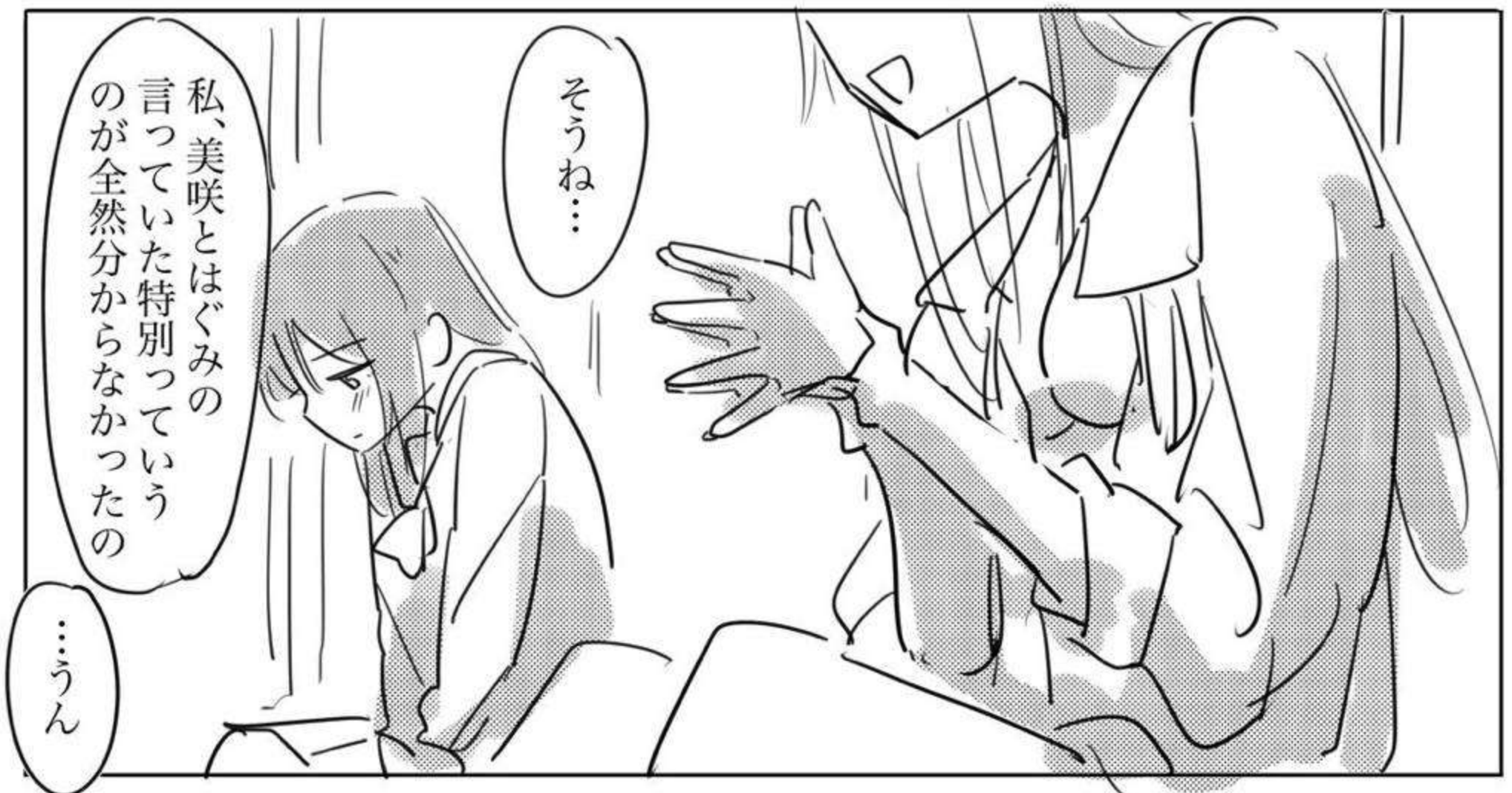
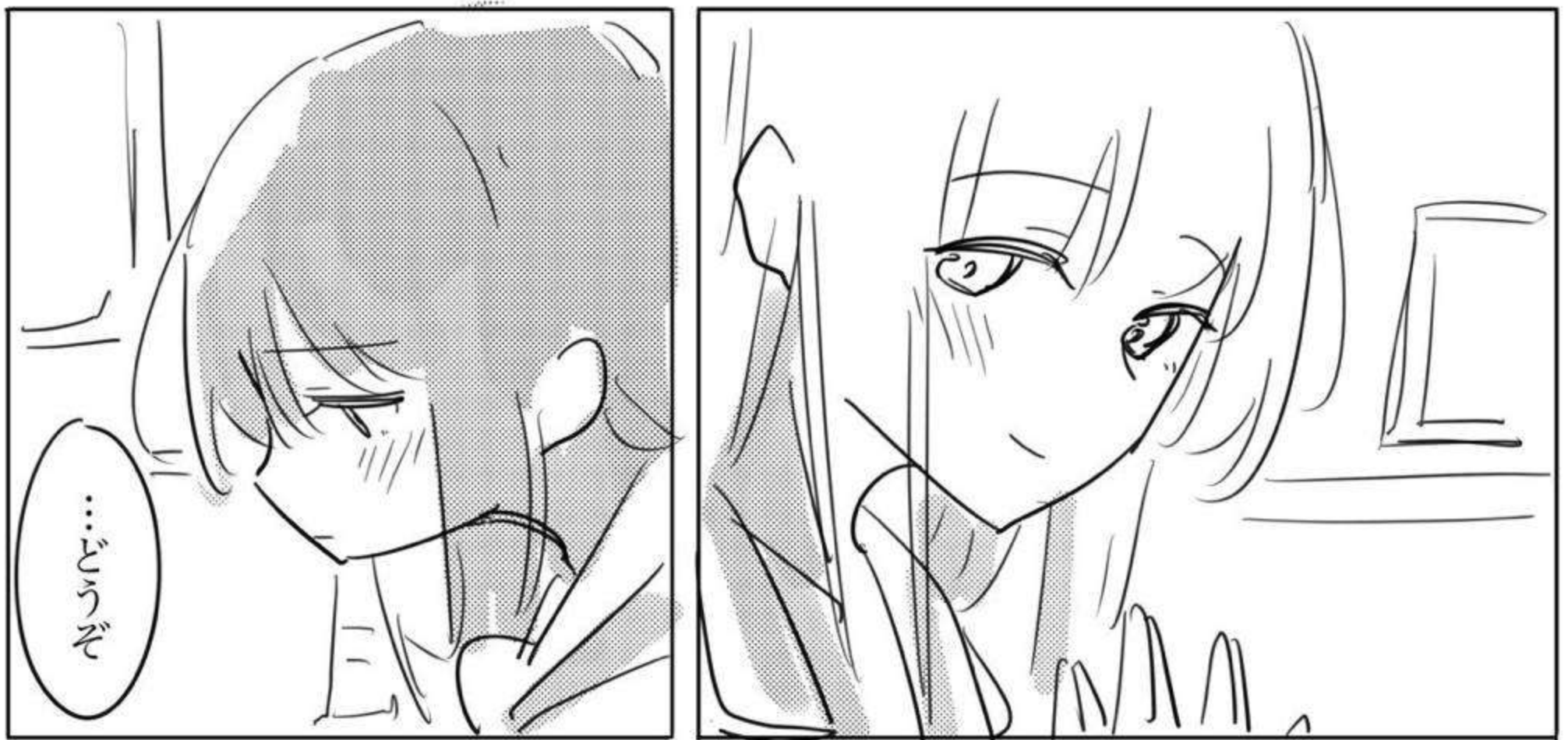
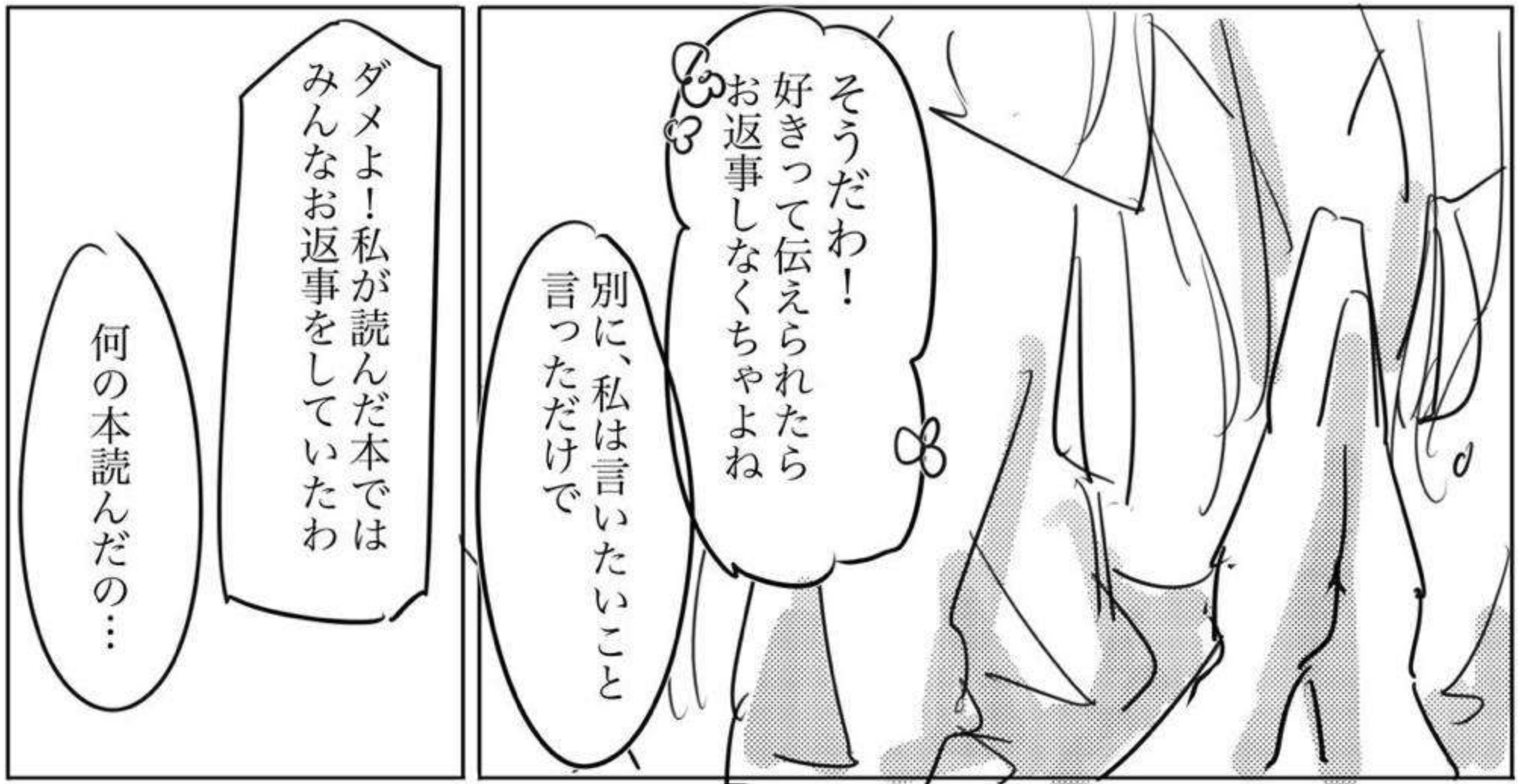
…何、嫌だった

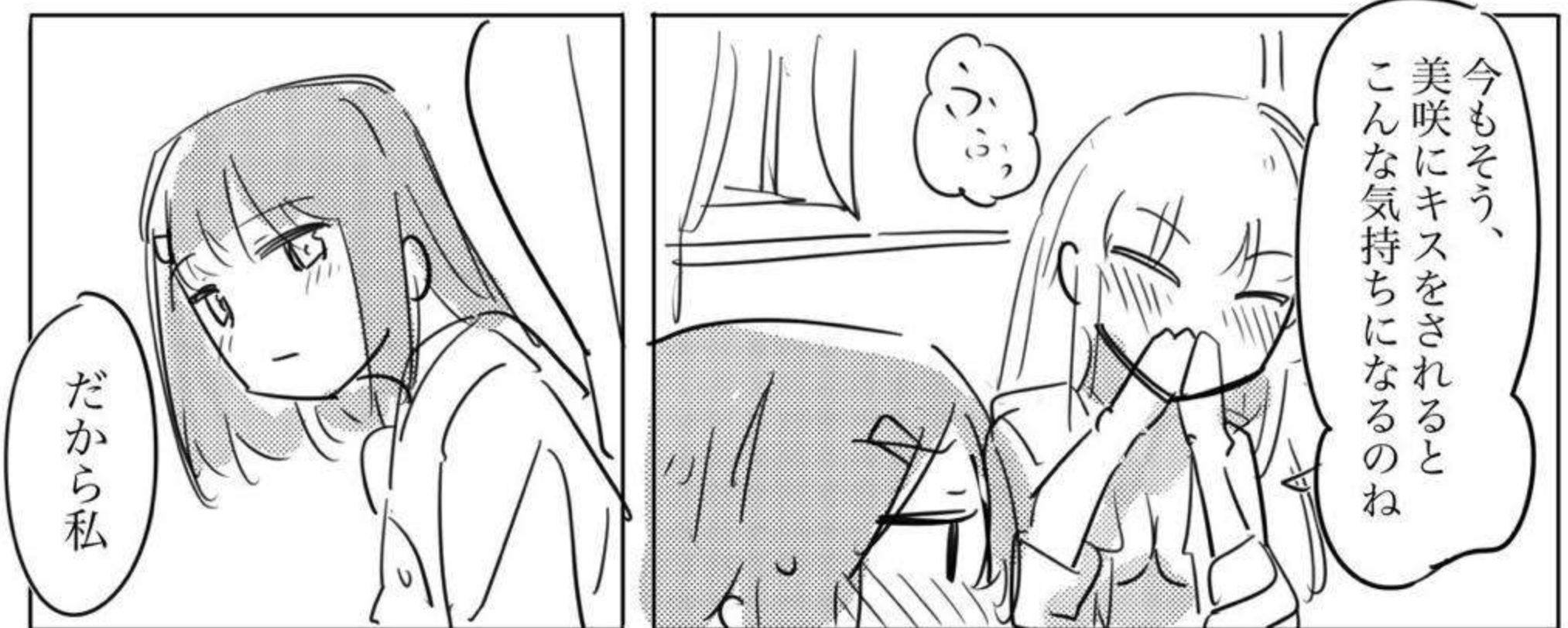
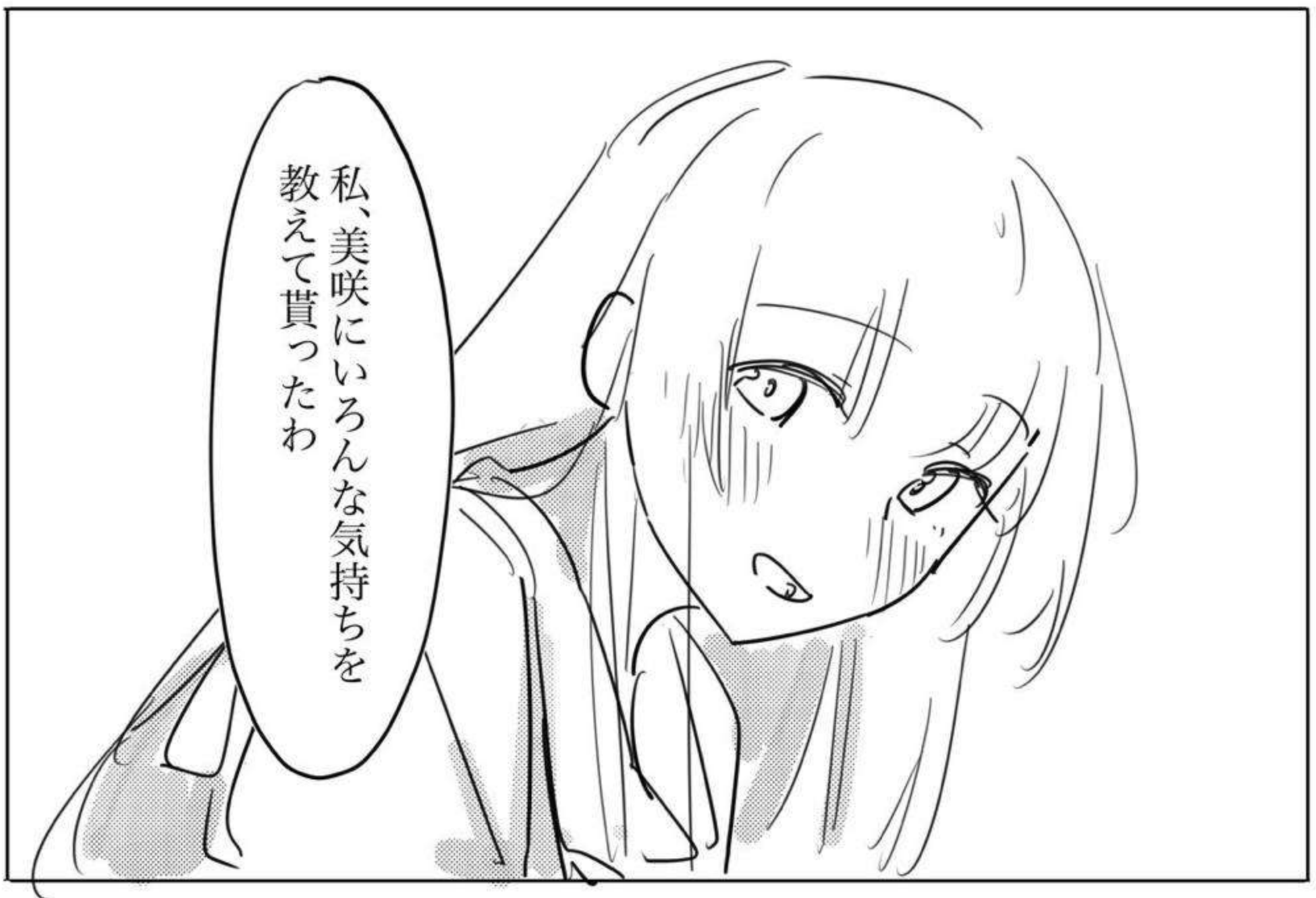
まさか!

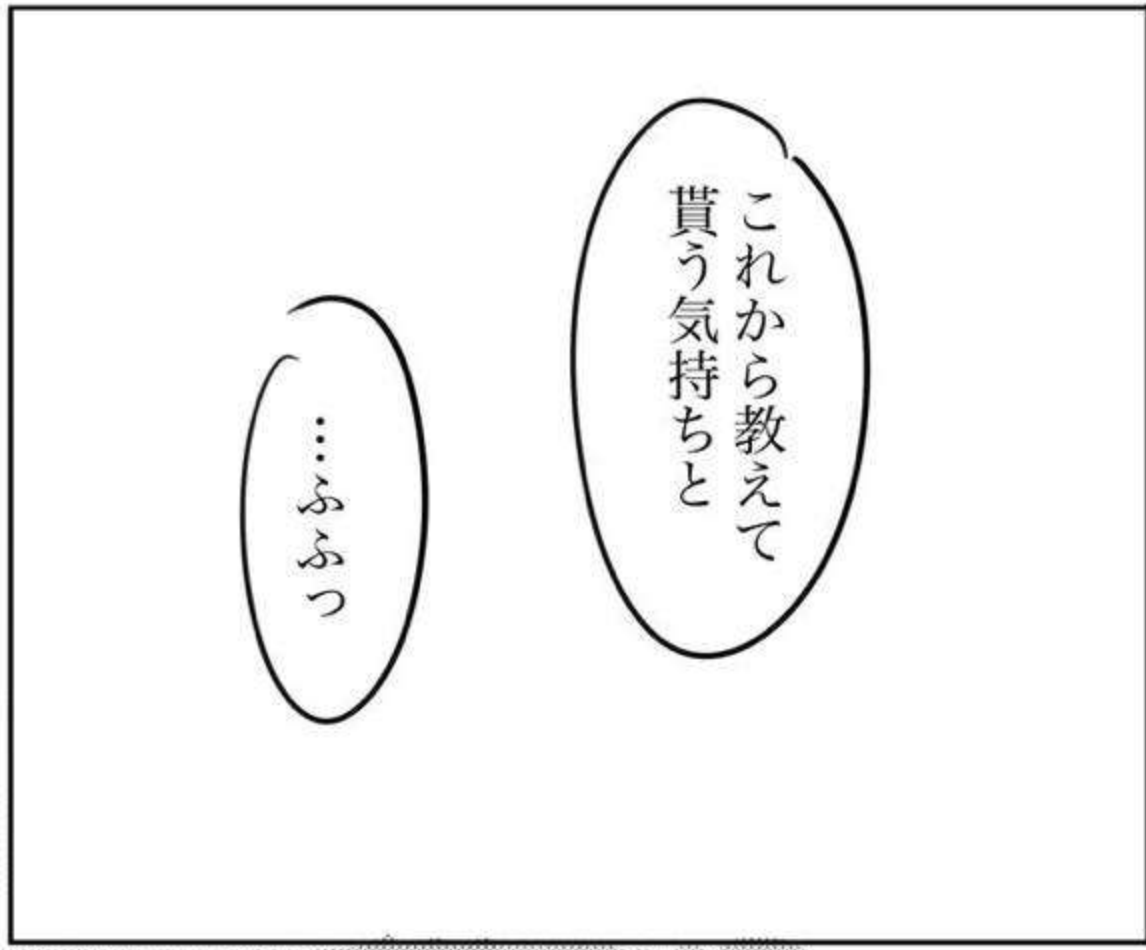


ふん、ふん、ふん

…







これから教えて  
貰う気持ちと

……ふふっ



あなたに教えて貰った  
全部の気持ちと

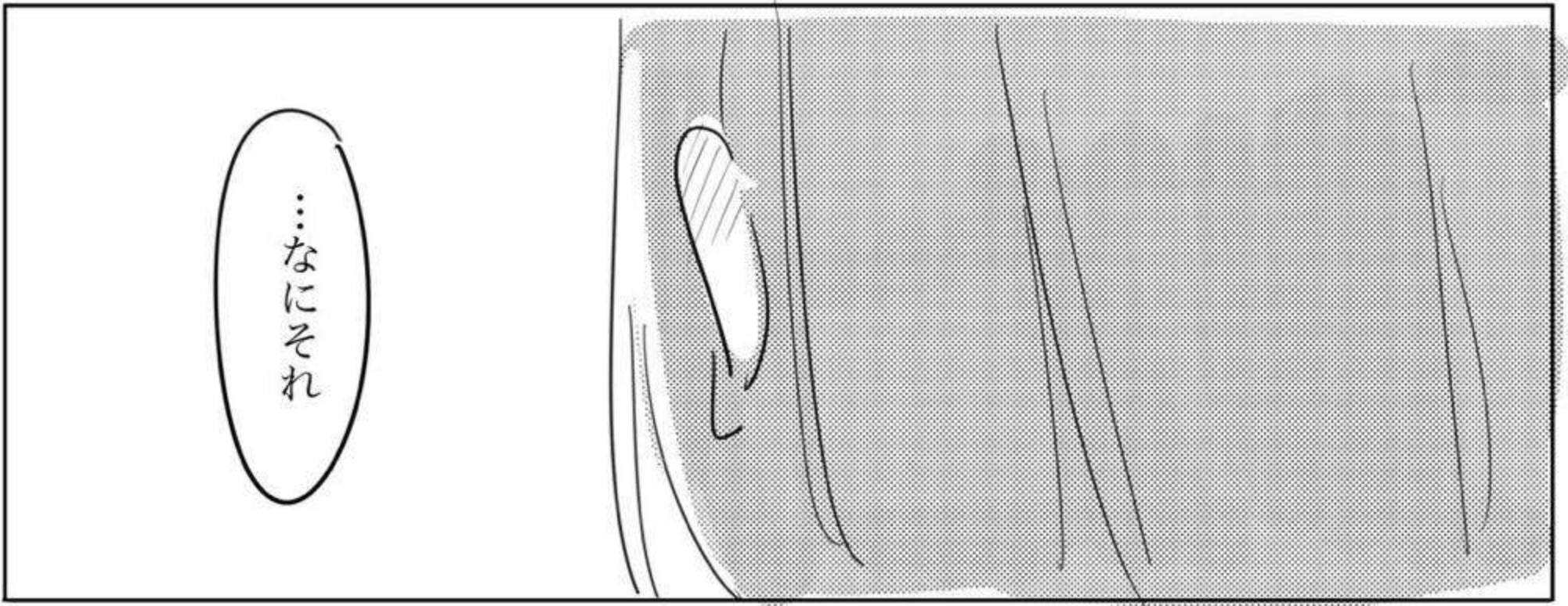


美咲にキスして  
欲しい気持ちに

ひとつだけの特別な  
大好き。って  
名前を付けるわ

だから美咲

大好きよ



…なにそれ



…分かんないけど



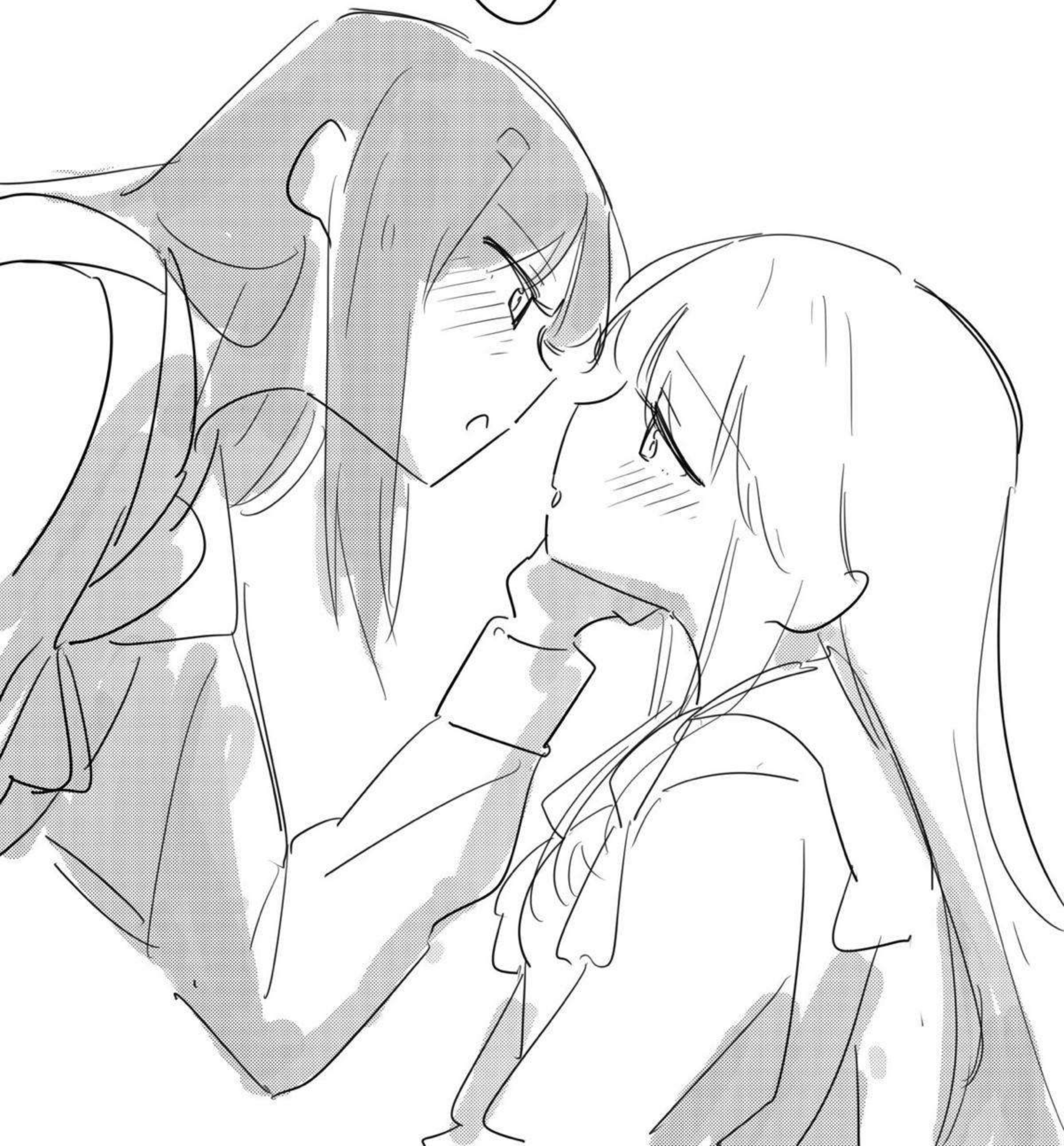
やっぱり私あんたのこと  
全然分かんないよ



ね、こころ

さっき好きって言ったけど  
…やっぱりやり直す

大好き



発行：2019/12/30  
サークル：ここは無記入